

---

## 介護業界および介護職に対する若者のイメージ調査報告書

---

社会福祉法人 神奈川県社会福祉協議会  
介護分野における人材不足に関する調査研究委員会

---

---

## はじめに

平成12年の介護保険導入以降、高齢者福祉事業を行う私たちは、まさに激動といえる様々な改革の波を乗り越えてきました。その中で介護人材難という課題が神奈川県内で最重要課題となってしばらくの時間がたちます。現場の危機意識の高まりを受け、平成18年頃より神奈川県社会福祉協議会では、老人福祉施設協議会・経営者部会のそれぞれで改善に向けた取り組みが行われてきました。

平成20年末によく国レベルで介護人材待遇改善に関する施策が実施され、さらにリーマンショック以降の不況により一般産業の雇用が急減したために、介護人材難も一息をつく感があります。しかし、再度景気が好転すれば、今まで以上に厳しい人材難が訪れるであろうという予感は我々が等しく抱えるところです。また次々と行政から打ち出される施策についても、現場から見たとき決定的な有効打にはなり得ていないという実感もあります。

なぜ人のためになるこのような素晴らしい仕事の扱い手が限られていくのか、なぜ介護保険導入時にあれほど熱狂的に将来性ある仕事とされていたものが今や若者や親たちから将来性のない仕事とされてしまったのか、これらのことについては様々な意見が出るまま平行線をたどり、議論を繰り返しても収束に至りません。しかし、この問いに何らかの解を見いだし、高齢介護の場に優れた扱い手を継続的に獲得していくことは、高齢者とそのご家族そして地域を守る我々の責務だと感じています。

今回の調査はそのような認識のもと、原点に戻って全国の20歳前後の若者802名が介護という仕事を職業としてどのようにとらえているかを広範囲に調査し、一人でも多くの若者たちに介護の仕事に魅力を感じてもらうためにどうすべきかを見いだすことに目的を置いています。

また調査に当たっては神奈川県介護福祉士養成校連絡協議会の参画を得るとともに、若者の就労について多年にわたって研究活動を行っている（独）労働政策研究・研修機構の下村英雄氏の参加を得て、福祉介護分野という先入観なしに「若者から見た仕事の一つ」という観点で、調査項目を定めるとともにその分析を行ってもらいました。

今回の調査結果が告げることは、残念ながら現状の改善が容易ではないということです。しかしそく読み込んでいただければ、国や県の行政レベルで行うべき施策から、法人さらには施設のレベルで行う人材採用活動まで、様々なヒントが得られるものと確信を持っていています。委員会ではこの調査結果を踏まえ、団体としての今後の活動の方向付けを行っていきますが、同時にこのレポートが会員施設・法人の人材確保に役立つことを期待いたします。

**社会福祉法人 神奈川県社会福祉協議会  
介護分野における人材不足に関する調査研究委員会 委員長 竹田一雄**

---

## 目 次

### はじめに

### 目 次

<b>調査結果の要約</b>	· · · ·	<b>3～8</b>
<b>調査目的と調査対象者・調査内容</b>	· · · ·	<b>9～10</b>
<b>調査の経緯</b>	· · · ·	<b>11～12</b>
<b>調査分析Ⅰ（全般的分析）</b>	· · · ·	<b>13～26</b>
<b>調査分析Ⅱ（詳細分析）</b>	· · · ·	<b>27～60</b>
<b>調査考察（養成校の視点から）</b>	· · · ·	<b>61～62</b>
<b>調査票（介護についてのアンケート）</b>	· · · ·	<b>63～67</b>
<b>調査結果（単純集計データ）</b>	· · · ·	<b>68～72</b>
<b>調査結果（自由記述）</b>	· · · ·	<b>73～87</b>
<b>調査研究委員会委員名簿</b>	· · · ·	<b>88</b>

<調査用語解説>

1. 「相関」

2つのものが規則性、関連性を持って同時に変化していく性質を意味します。

2. 「相関係数」

変数間の関連の強さを示す指標です。-1.0～+1.0 の値で示されます。変数間は正比例の関係にあり、+1.0 の場合、一方の値が大きくなるともう一方の値も大きくなります。-1.0 の場合、逆に一方の値が大きくなるともう一方の値は小さくなります。

3. 「N」

サンプル数（Number の略）を指します。

## 調査結果の要約

## 調査目的および対象 報告書の構成

### 1. 調査目的および対象者

今回の調査は、20歳前後の若者たちが介護と介護就労にどのようなイメージを持っているかを調べ、若者たちに介護の仕事を積極的に選んでもらうために、我々は、何をなすべきかを見つけ出すことに目的を置いた。調査対象者は以下とした。

- ・介護就労希望者に限定せず、広く一般的な若者の考えを調べた。
- ・回収回答数は、全国42都道府県在住の18歳から22歳の男女、計802名。
- ・男女別、就労有無・未就労（学位）、配偶者の有無、家族との同居など、平均的な若者の数で分散した。

### 2. 本報告書の構成

報告書は次の4部で構成されている。

調査分析I（全般的分析、P13～P26）、分析II（相関分析、P27～P60）、介護福祉士養成校の視点による考察（P61～P62）、調査票と調査結果（自由記述含む、P63～P87）

## 調査結果の要約 全般的分析編

### 1. 今、若者たちは介護で働くことを希望するか（P15）

友人が介護に就きたいと言ったら（否定14%）、親が介護の仕事に魅力を感じているか（否定52%）、両親はあなたに介護の仕事を勧めるか（否定69%）、あなたにとって介護の仕事は就職先として魅力があるか（否定68%）、あなたは介護の仕事に就きたいか（否定77%）

自らの職業選択として、より身近な問い合わせになるにつれ否定的な回答が増え、最終的に自らつづきたいか？の間に、否と回答する者が3/4いることが分かった。

### 2. 最近の不況や処遇改善施策で介護の仕事の評価は上がったか（P15）

どちらとも言えない（75%）、改善（16%）、悪化（8%）で、期待に反して評価の改善はわずかであることが分かった。

### 3. 若者たちは何が良くなれば、介護の仕事に就きたいと考えるか（P16）

回答者数の上位から

仕事内容に対し給与が高ければ（59%）・介護の仕事が自分に合うなら（43%）・精神的・体力的にきつくななければ（43%）・人間関係や職場の雰囲気が良ければ（38%）・休日が取りやすければ（35%）・将来の見通しが良ければ（25%）・夜勤が少ないなら（20%）

### 4. 給与がいくらなら介護で働いても良いと考えるか（P16）

平均値は31万円／月。この程度はもらわないと介護で働くことは割に合わないと考えている。

### 5. 若者は将来何のために働きたいと思っているか（P17）

- ・「暮らすためのお金を得る」「貧乏にならないため」「働くのは当然だから」など、職業にはまず自らの生活を確保する拠り所という期待が強いことが分かった。
- ・「やりたいことをやる」「自分の得意なことを生かす」という自己完結型の項目が、「人のために役に立つ」や「世の中をよくする」等の社会貢献型よりも上位に位置づけられた。福祉職なら自己犠牲で人のためという価値観だけで、多数の若者を誘導することに無理が出ることが分かった。

## 6. 若者たちは介護業界に、どのようなイメージを持っているか (P19)

全質問項目15項目中で半分以上が否定的印象を持っているものが9項目。否定数順

人が足りない(95%)・難しい仕事(91%)・地味(87%)・資格が必要(86%)・重い仕事(85%)、報われない(83%)・厳しい(81%)・汚い(63%)・暗い(54%)

過半数が肯定的な印象を持っている項目は2項目、肯定数順

女性が多い(63%)、温かい(63%)

## 7. 若者たちは介護で働くことに、どのようなイメージを持っているか (P21)

(項目横の%は、「そう思う」と「どちらかというとそう思う」と答えた者の和)

半分を超える若者は、介護の仕事が人に感謝され(80%)、資格や専門知識も活かせ(70%)、仕事にやりがいがあり(62%)、さらに一緒に働く仲間とも協力できる(61%)と、我々が伝えたい介護の仕事の魅力を十分理解している。

これらのことを見ながら介護の仕事をほとんどの若者が選ばない原因は、若者が介護の仕事を、体力的にきつそう(91%)、給与が満足のいく水準ではなさそう(84%)、休みがきちんと取れなさそう(84%)、夜勤などがあって勤務時間が不規則そう(82%)、家庭生活と両立出来なさそう(63%)、良いところがあってもマイナスと差し引いたときマイナスの方が大きいと判断しているからと考えられる。「労働条件の課題」に配置人員等の制度まで踏み込んで取り組み改善しない限り、若者は介護就労を敬遠すると考えられる。また一部にある「介護の仕事は良い仕事」が伝わりさえすれば人は集まる」という楽観論では、すでに良い仕事であることを過半が知っているながら勤めないとという事実で、本質的な問題解決につながらないことが証明された。

## 8. 若者たちは介護に関わる代表的な言葉に対し、どのような印象を持っているか (P23)

介護に関わる言葉として「介護」「老人ホーム」「お年寄り」の三つを選び、それぞれのイメージをたずねたが、若者にとって、介護(否定的回答49%)・老人ホーム(否定的回答47%)・お年寄り(否定的回答24%)の順で言葉のイメージが悪いことが分かった。

一般的に「老人ホーム」という言葉は、若者から否定的なイメージを持たれがちなことが知られている。しかしその、「老人ホーム」という言葉以上に「介護」という言葉のイメージが悪いという結果から、我々の抱えている問題の深刻さが分かった。

## 9. 若者たちは、介護に関してどの程度の知識と関心を持っているか (P24)

若者の半分程度が介護の仕事を知らず(48%)、関心もなく(56%)、勉強したいとも思ってはいない(42%)ことがわかった。しかし、逆に3人に1人前後が知っていると答え、関心もあり学校で勉強したかったと回答している。すべての仕事が誰にでも好まれるわけではないことを考えれば、これは今回の調査で始めて将来に光がさす数値と言える。

我々の活動の成否は、この3割からさらに絞り込まれてその1/6(全体からは5%)しか、最終的に職業として選びたいと思ってくれない現状の、何をどう改善するかにかかっている。

## 10. どのような情報から介護に関するイメージを定めているか (P25)

身の回りに介護従事者や介護を受けている人がいる割合(31%、35%)は、周辺にいない者(61%、55%)に比べて今は少ないが、将来的には要介護高齢者の増加に伴い両方の数値が伸び、結果として若者に介護の仕事がもっと身近なものになることが期待される。

介護の仕事についての情報源は、本・映画・テレビなどのメディア情報が2/3を占め最上位。一方、

先生や親がそれぞれ4人に1人の割合であり、これらの人々に対する働きかけが大切で、近年言われるような「本人が介護に進みたくても、親や先生が反対する」という現象はなんとしても防ぐ必要がある。また親のうちでも日頃話をする相手をみると、母親が父親の3倍で、**母親がかなりの影響力を持っている**可能性がある。今後の活動では、**当事者である若者だけでなく、親とりわけ母親への啓蒙活動が重要**であることが分かった。

介護に関する職場体験やインターンシップ、ボランティアなどの経験がある者が25%、その時期は中学生時代がもっとも多い。小中学生時期の啓蒙活動はもちろん大切だが、**職業選択時期ともぶつかる高校大学時期に介護現場に触れる経験を持った者は、全体の12.5%しかいない**。この割合を高める努力もきわめて有効な施策だと考えられる。

## 調査結果の要約 詳細分析編

今回の調査データに関する相関分析の結果から、介護の業界や介護の仕事に対する若者の意識がどのようなものであるか、また、介護業界および介護の仕事は若者にどのようなイメージをもたれているかについて、詳しく分析を行った。

分析結果をもとに、介護業界を若者によりアピールするための方策としてどのようなことが考えられるのかについて、以下8つの点について触れる。

### 1. 介護の仕事の必要性は十分に理解されているが、(ア)友達が就職する際に賛成するか、(イ)自分の就職先として魅力があるかとなると、極端に肯定的な回答が低まる。(P28)

介護の仕事が若者の間で魅力があるものと映る対策の必要性が再確認された。

⇒若者に対する介護の仕事内容のよりいっそうの啓発活動の充実。

### 2. 介護の仕事に対する就職したいという希望は、介護に対する関心と密接と関連していた。(P46)

職場体験・インターンシップ・ボランティアの形にかかわらず、また、直接、介護の実習を行うのみならず、掃除やお年寄りの話し相手になるという補助的な業務でも、ともかく何らかの介護体験をすることが介護に対する就職意欲および関心と結びついていた。学校段階の若者の職場体験等の重要性が改めて示された。

⇒学校段階での職場体験・インターンシップ・ボランティア等の積極的な受け入れの拡充。

### 3. 介護の仕事に対する興味は、性別によって異なり、女性が関心をもつ割合が高かった。(P32)

特に、友人が介護の仕事に就いている女性や家族が介護を受けていたという女性が、関心をもつ割合が高かった。この人達は収入面の関心は低く、むしろ資格取得および専門知識を発揮する機会、仕事のやりがいを求めていた。精神的・体力的なきつさを懸念しており、職場の人間関係も重視していた。改めて、女性が関心をもつ職場としての自覚や対策の必要性が確認される結果となった。

⇒女性が働きやすい職場、女性が関心を高めるような仕組みの充実。

### 4. 介護の仕事に就きたいと考える若者の特徴として、(P39)

(ア)身近に介護の仕事で働いているか介護を受けていた人がいる、(イ)本・映画・テレビなどからの影響よりも親や学校からの影響が大きい、(ウ)祖父母と同居しており、よく話をしている、(エ)日常生活でも話をする人数が多い、(オ)介護に関する職場体験・インターンシップ・ボランティアの経験があり、学校時

代にもっと勉強したかったと考えている。

⇒もともと介護に関心をもつ若者は一定数いそうなので、そうした若者へのアピールの検討（若者自身の介護体験・お年寄りと接した経験に訴える等）

**5. 厳しい就職状況下で介護の仕事に良いイメージをもつようになった若者は、もともと介護に良いイメージをもっている若者であった。（P50）**

「お年寄り」や「介護」に良いイメージがあり、「人と仲良くするため」「人の役に立つため」に働きたいと考える若者が、介護業界に関心を向けていた。

⇒人と協力し、人の役に立つために働きたいと考える若者は、常に一定数いると考えられるところから、こうした就労観をもつ若者にこそ介護業界や介護の仕事が向いていることを示し、介護の仕事をアピールする。

**6. もともと介護に興味をもつ若者は、お金のために働きたいとは考えておらず、むしろ、資格取得や仕事のやりがいに 관심をもっており、自分の将来イメージが描けるかを重視している。（P52）**

介護の仕事が自分に合うかどうか（周りの人間とうまくやつていけるかを含めて）、職場に入ってからの研修や指導があるかどうか、ケガの心配はないかを気にしている。

⇒資格取得のプロセスやキャリアパスの明確化、何歳でどうなるというルートの明確化。

**7. 本来、介護に関心があるのに介護の仕事に就職しようとしない若者は、友人や家族の影響が強そうであった。（P56）**

⇒若者の友人関係や家族を巻き込んだ取り組みの発案・推進。

**8. 首都圏か首都圏以外かで介護業界および介護の仕事の相対的な位置づけはかなり異なるようであり、地域性（ローカル性）を考慮した、介護の仕事に向けた土壤づくりが必要となる。（P35）**

⇒地域の実情にあつた、また、地域の特徴を活かした介護の仕事の重要性や有用性、就職先としての魅力などのアピール

\* \* \*

調査全般を通して介護業界および介護の仕事の特徴は、若者に十分に知られないまま、本や映画・テレビなどの情報から、漠然とステレオタイプ的に偏った見方をされているという面が強いことが改めて明らかになった。

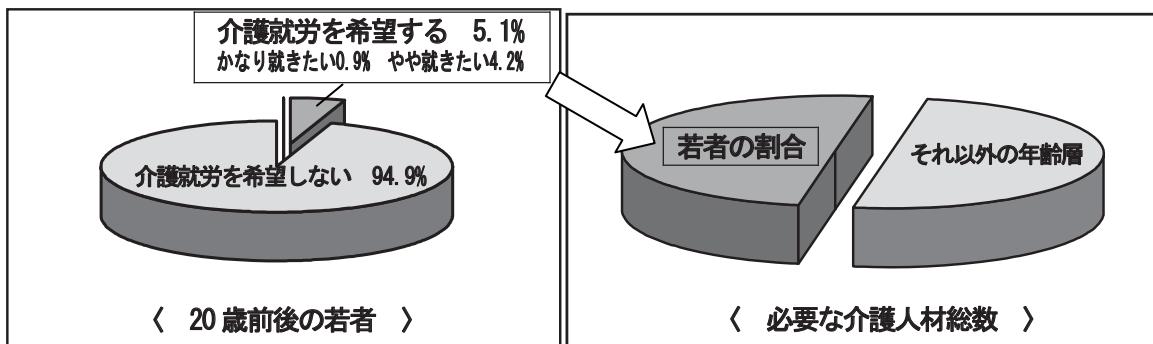
今回の調査結果からは、実際に身近に介護の仕事に就いている人や介護を受けている人と接したり、また、こうした人がいない場合でも、職場体験・インターンシップ・ボランティア等の体験をすることの重要性が示された。こうした事柄を通じて、何らかの形で介護の仕事を深く詳しく知ることができればできるほど、若者は、むしろ介護の仕事に対するイメージを高め、介護の仕事に対する就労希望を高めていく可能性が高い。

介護の仕事の必要性・重要性は、若者の間でも十分に理解されており、この仕事が実際に人の役に立つ様を目の当たりにすることによって、介護の仕事に興味や関心をもつ若者はこれまで以上に増やすことができるものと思われる。今後の介護人材の確保に向けた地道な取り組みの一環として、学校段階の若者を対象とした啓発普及にはよりいっそうの注力がなされるべきであろうと考えられる。

## 介護に進んでも良いと考える若者5. 1%の評価 何パーセントの若者に介護就労を希望し、就労してもらえば、 介護現場は支えられると考えるか

どのような職種でもすべての若者がその職種に就労希望するはずではなく、またその職種を維持するためにもその必要はない。要は有効求人倍率と同様に、必要とされる人数と勤めようとする人数の間で均衡がとれればその職種は健全な事業維持ができることになる。

今回の調査で、20歳前後の全国の若者の約5. 1%（内訳「かなり就きたい」0. 9%、「やや就きたい」4. 2%）が介護に進んでもよいと考えていることが判明した（Q4）。この5. 1%から、最終的にどれだけ若者が介護に就労するかについて今回の調査では把握できていないが、必要とされる介護人材の総数に対し、この若者5. 1%の数値がどのような割合になるかで、今後の我々の活動の今後のあるべき方向が決まると考えられる。



具体的には、

- (1) 若者のうちで5. 1%が介護に就労してくれれば、必要な介護人材のうちで若者に占めてもらいたい割合を満たす時

（るべき主の活動）

この5. 1%に焦点を据え、とりわけ「やや就きたい」4. 2%の人材をしっかりとつかみ、最終的に過半数を介護就労につなげる。

- (2) 介護就労を希望する5. 1%のすべての人が最終的に介護に就労したとしても、必要とされる介護人材の全体に占める割合が少なすぎる時

（るべき主の活動）

この5. 1%のすべてを極力介護就労につなげることはもちろんだが、活動の中心は5. 1%をさらに拡大し、より多くの若者に介護就労を希望してもらうことに主眼がおかれる。

今回調べた範囲でこれらを検証するための直接的データが見いだせないため、厚生労働省などの類似の公式資料から次の手順で両者の関係を推察する。

1. 厚生労働省資料<sup>(\*)</sup>、の資料3「介護労働の現状及び介護雇用管理改善等計画について」によれば、

※ 平成21年2月23日 第39回労働政策審議会職業安定分科会雇用対策基本問題部会

平成17年度の介護総職員は112.5万人、同じく平成18年度の介護職員は117.2万人であるが、この数値はそれぞれ常勤・非常勤を含んでいる。

2. 20歳前後の若者の介護就労に我々が期待するのは常勤職であることから、これらの数値で常勤職に注目すると、平成17年度常勤介護職65.7万人（a）、平成18年度常勤介護職69.2万人、常勤介護職は3.5万人（b）の増である。また、同時に離職者が常勤職で16.1万人発生しているがこのうちから同一介護業界内での転職が5.2万人（常勤非常勤の業界内転職率を同数と仮定）いるので、業界外への離職による純減は10.9万人（c）となり、業界外への離職率は、（c）／（a）で16.5%になる。
3. 17年度→18年度に、新たに必要とされた常勤新規介護人材は、（b）+（c）で14.4万人（d）となる。
4. 平成17年度の国勢調査によれば、20歳の人口は144万人である。
5. この144万人のうち、「かなり就きたい」0.9%に相当する人数は13万人（e）、「やや就きたい」4.2%に相当する人数は6.0万人（f）、あわせた5.1%に相当する人数は7.3万人（g）となる。
6. これらの数値を、同一年度で必要とされた、新規常勤介護職の総数14.4万人（d）と比較する。

平成17年度で考えたとき、

- A. 若者のうちの「介護の仕事にかなり就きたい」と回答した0.9%のみが、最終的に介護の仕事に就職すれば、新規に必要とする常勤介護職のうち20歳前後の若者が占める率は、  
1. 3万人（e）／14.4万人（d） =
- 新規採用常勤介護職員のうちで20歳前後の若者が占める割合は9.0%となる。**
- B. 若者のうちの「介護の仕事にかなり就きたい」と回答した0.9%に加え、「やや就きたい」と回答した4.2%を合わせた5.1%の全員が介護の仕事に最終的に就いたとした時  
7.3万人（g）／14.4万人（d） =
- 新規採用常勤介護職員のうちで20歳前後の若者が占める割合は50.7%となる。**

今回の試算は、地域的な偏在などを無視しやや強引に行ったものである。しかし上記AおよびBの値を持って、我々は下記(1)または(2)の施策のどちらかを取るかは今後の議論に委ねたいが、本試算の数値を参考に、読者なりの視点を持って今回の調査結果を読み取っていただきたい。

(1) この5.1%に焦点を据え、とりわけ「やや就きたい」4.2%の人材をしっかりとつかんで最終的に過半を介護就労につなげる。

または、

(2) この5.1%の極力すべてを介護就労につなげることはもちろんだが、活動の中心は5.1%をさらに拡大し、より多くの若者に介護就労を希望してもらえるようにすることに主眼がおかれる。

なお、参考のため、5.1%について首都圏とそれ以外の地域との違いについて触れておく。

首都圏 介護の仕事にかなり就きたい0.9% やや就きたい3.9% 計4.8%

それ以外 介護の仕事にかなり就きたい0.9% やや就きたい4.5% 計5.4%

---

## 調査目的と調査対象者・調査内容

### 1. 調査活動の目的

介護人材難が高齢介護事業の重要な課題になって以降、対策のために、様々な場で様々な人たちにより様々な議論が行われるとともに、数多くの対策も打ち出されてきました。

しかしながら例えば、介護人材難の深刻さを社会に伝えて国民的な課題とするべきという意見に対しては、大変だと伝えれば伝えるほど逆効果だから介護は素晴らしいとだけ伝えればよいと言う意見、介護人材の処遇を改善するため賃金問題をしっかり議論しなければいけないという意見に対しては、介護福祉は崇高な仕事だから賃金ではなく働きがいを目的に集まつてもらえる人だけでよいという意見など、団体として対策の方向を決めるにもそれぞれの立場や見解によって議論が平行線をたどって収束することがなく、その結果、打たれる対策も一貫性を欠き効果が得られないという問題が発生してきました。

さらに介護人材難に対して国レベルの予算が出されるようになると、多数の方々の協力が得やすくなった反面、複数の行政セクションが関与しそれぞれが思いつくことを重複して行うなど、結果として関係者の一本化をさらに難しくする環境さえ生まれています。また、我々の団体内でも、それぞれの法人・施設が自らを守ることで精一杯といった状況で、加えて限られた人材を隣近所で給与額を競り合って獲得するなど、協働団体の存続さえ揺るがしかねない状況に追い込まれてきました。

そのような環境下で、神奈川県社会福祉協議会内の経営者部会・老人福祉施設協議会および神奈川県介護福祉士養成校連絡協議会は危機意識を共有し、協働で「介護分野における人材不足に関わる調査委員会」を設置し、今回の調査に着手しました。

本委員会の議論を経て、調査活動の基本的な目的を次の3項としました。

- (1) 団体として行う介護人材確保活動について、会員間で中長期にわたり揺るがない共通認識を得るものとする
- (2) 国や県の施策作りに対して根拠のある提案を行うための拠り所とする
- (3) 会員の法人・施設の人材採用と人材育成に対して有効な方向付けを与えるものとする

また特に今回の調査は、20歳前後の若者を対象に、

- (1) 介護の業界や介護の仕事に対する若者の意識はどのようなものであるか
  - (2) 介護業界および介護の仕事は若者にどのようなイメージをもたれているか
  - (3) 介護業界を若者にもっとアピールするためにはどのようなことが考えられるか
- の3点を調べることを目的として、調査内容を次のように企画しました。

- 
- ・18歳から22歳の範囲の若者の、介護と言う職業に関する意識調査とした
  - ・神奈川県内などに地域を絞らず、調査範囲を全国に広げ地域差も比較した
  - ・対象者は、介護職を希望する者等に限定せず一般の若者がどう考えているかを調べた
  - ・就学中や就職済みなどの制限もせず、18歳～22歳を代表する平均的な若者とした
  - ・家族と同居か、結婚しているか、子供がいるかなども、同様に制限しないこととした

## 2. 調査対象（郵送調査）

調査会社にモニター登録されている方（全国） 1,000名

※調査会社に登録されている20歳前後（18歳～22歳）の方をランダムに抽出し、各人への郵送配布、回答者個人から直接、調査会社あてで郵送回収

## 3. 調査の実施時期等

調査時点 平成21年11月 1日 回収期限 平成21年11月24日

## 4. 調査内容

- ・介護や介護の仕事について
- ・介護や介護の仕事への知識、関心、就職希望
- ・身のまわりの方の介護の仕事への就労状況
- ・身のまわりの方の介護経験
- ・介護の仕事への魅力、専門知識の必要性、社会での必要性
- ・介護業界へのイメージ、介護の仕事へのイメージ
- ・介護業界や介護の仕事を知る手段
- ・介護業界での働くということへの考え方
- ・介護の仕事の給料イメージ
- ・介護に関する経験
- ・職業や仕事についての考え方について
- ・将来の目標の明確度
- ・働くことの目的
- ・家族や友達のことについて
- ・同居家族の状況
- ・日頃よく話をする人
- ・両親の介護業界や介護の仕事への魅力度
- ・ご自身のことについて
- ・在学の有無
- ・学校を卒業してから就職までの期間
- ・現在の就労状況、転職状況
- ・所在地、性別、年齢

## 5. 回収結果

郵送数	回収数	回収率
1,000件	802件	80.2%

---

## 調査の経緯

### 1 事業提案までの動き

〈老人福祉施設協議会〉

⇒平成15年度、「かながわ高齢者福祉研究大会（第2回大会）」より介護福祉士養成校の協力を得て、学生の参加が始まる

⇒平成16年度、「かながわ高齢者福祉研究大会（第3回大会）」より就職相談コーナー併設  
〈経営者部会〉

⇒平成18年度、「社会福祉施設従事者等人材確保対策検討委員会」発足

⇒平成19年度、県へ「福祉人材確保に関する緊急要望」をまとめ、提出

### 2 事業の提案について

老人福祉施設協議会委員会では、介護分野の人手不足の原因について、介護従事者を対象とした実態調査結果や、関係者の憶測から、「低賃金」「重労働」「マスコミ報道等のイメージ」等が挙げられているものの、国内の若者・求職者たちが「介護の仕事を選ばない理由」を推察する範疇をこえず、実際に起きている介護職離れの理由は明らかになっていないと考えた。少子高齢化のなか、介護分野における人材確保は更に厳しさを増すことも予測され、抜本的な対策の根拠となる基礎データの収集及び研究の必要性が提案された。

⇒平成20年度 老人福祉施設協議会事業計画（平成20年3月総会）に盛り込まれる。

⇒平成20年6月19日 老人福祉施設協議会・人材確保プロジェクト打合せ会

### 3 実施体制について

調査研究を始めるにあたって、老人福祉施設協議会に設置された人材確保プロジェクト、経営者部会に設置された人材確保対策検討委員会の両チームの連携をはかり、さらに意欲的に取り組む経営者・施設長及び介護福祉士養成校を加え、労働関係・世論調査等の専門家等の協力も得た調査研究委員会を設け、実施方法・設問設計・集計解析方法等の検討ができる体制を作ることが提案され、各団体より委員を選出することが決まった。

⇒平成20年7月30日 経営者部会・老人福祉施設協議会・介護福祉士養成校連絡協議会の合同連絡会議にて決定。

### 4 準備会について

具体的な調査を設計する前段階として、各団体より選出した委員たちで「職業（進路）の選択（決定）」「若者の職業選択の動向等」を知るための学習等を、専門家を講師に招き開催。準備会として、学習を深めるとともに調査対象や実施方法等について検討を重ねた。

⇒平成20年9月～平成21年3月まで（計4回）

---

### ■第1回 平成20年9月26日

- ①調査の目的や視点について
- ②調査の配布範囲について
- ③学習会等の準備期間について

### ■第2回 平成20年12月17日【学習会】

[テーマ] 「ひとは職業（進路）をどうやって決定するのか」

～キャリアカウンセラーの立場から～

[講 師] 川合雅子氏（株式会社ウェコップ代表取締役、フェリス女学院大学講師）

### ■第3回 平成21年2月2日【学習会】

[テーマ] 「ひとは職業（進路）をどうやって決定するのか」

～労働政策にかかる研究者の立場から～

[講 師] 下村英雄氏（独立行政法人労働政策・研修機構キャリアガイダンス部門）

### ■第4回 平成21年3月2日

- ①調査目的等の整理について
- ②実施スケジュール等について

## 5 委員選出・構成について

経営者部会、老人福祉施設協議会、介護福祉士養成校連絡協議会より選出された委員（法人施設関係者5名、介護福祉士養成校3名）と、準備会の学習で招いた専門家1名（独立行政法人労働政策研究・研修機構）の9名で構成。

⇒委員の任期 平成21年9月1日～平成22年3月31日で「介護分野における人材不足に関する調査研究委員会」が正式に発足

## 6 介護分野における人材不足に関する調査研究委員会・調査の実施について

### ■第1回【委員会】 平成21年9月2日

- ①調査の目的について
- ②調査の対象者と必要な調査数、調査方法、調査スケジュールについて
- ③調査票について

### ■調査委託業者の決定 平成21年10月22日

### ■作業部会（第1回） 平成21年10月28日 調査委託業者との打合せ

### ■調査票の発送 平成21年11月12日

### ■調査票の回収 平成21年11月24日

### ■作業部会（第2回） 平成21年12月9日 調査結果の分析1

### ■作業部会（第3回） 平成22年1月19日 調査結果の分析2

### ■第2回【委員会】 平成22年2月12日

- ①調査結果検討
- ②調査報告書について

調查分析 I (全般的分析)

## 調査分析 I (全般的分析)

委員長 竹田一雄

### 1. 今回の調査は、どのような人たちに行ったのか

今回の調査対象者の属性を、調査結果に従って示す。

- ◇有効回答者数 802名
- ◇回答者年齢は、21歳をピークとする18歳から22歳 ・女性57%、男性43%
- ◇在学者 76%、うち大学生 80%、専門学校生 11%、短大高専生 5%
- ◇非在学者 24%、うち正社員 42%、パートアルバイト 38%、非就業 12%、派遣契約社員 8%
- ◇家族との同居状況 親 84%、兄弟姉妹 59%、祖父祖母 18%、配偶者 2%、子供 2%
- ◇同居者なし 13%
- ◇調査対象地域 全国 42都道府県
- ◇うち首都圏（東京・神奈川・埼玉・千葉） 41%、その他地域 59%

Q35 年齢		802	802
18歳	78	10%	
19歳	169	21%	
20歳	179	22%	
21歳	199	25%	
22歳	175	22%	
不 明	2	0%	

Q35 性別		802	802
男性	347	43%	
女性	454	57%	
不 明	1	0%	

Q35 都道府県		802	802					
北海道	42	5%	石川県	4	0%	岡山県	9	1%
青森県	4	0%	福井県	4	0%	広島県	10	1%
岩手県	2	0%	山梨県	5	1%	山口県	1	0%
宮城県	6	1%	長野県	2	0%	徳島県	2	0%
秋田県	1	0%	岐阜県	17	2%	香川県	-	-
山形県	-	-	静岡県	16	2%	愛媛県	-	-
福島県	3	0%	愛知県	65	8%	高知県	3	0%
茨城県	12	1%	三重県	14	2%	福岡県	16	2%
栃木県	10	1%	滋賀県	12	1%	佐賀県	1	0%
群馬県	12	1%	京都府	26	3%	長崎県	4	0%
首都圏 埼玉県	66	8%	大阪府	69	9%	熊本県	6	1%
首都圏 千葉県	57	7%	兵庫県	48	6%	大分県	2	0%
首都圏 東京都	139	17%	奈良県	18	2%	宮崎県	-	-
首都圏 神奈川県	73	9%	和歌山县	4	0%	鹿児島県	1	0%
新潟県	7	1%	鳥取県	3	0%	沖縄県	3	0%
富山県	-	-	島根県	3	0%			

<b>Q31 あなたは現在、学校に在学していますか。</b>	<b>802</b>	<b>802</b>	<b>Q32 あなたは学校を卒業(中退)</b>	<b>196</b>	<b>196</b>
在学している	606	76%	はい	120	61%
在学していない	196	24%	いいえ	76	39%
<b>Q31.1 現在、在学している学校は次のうちどれですか。</b>	<b>606</b>	<b>606</b>	<b>Q33 あなたは学校を卒業(中退)してから、どのように働いていましたか。</b>	<b>196</b>	<b>196</b>
大学	486	80%	主に正社員として	82	42%
専門学校(職業訓練校を含む)	69	11%	主にパート・アルバイトとして	74	38%
短期大学・高専	32	5%	仕事をしたことがない	23	12%
大学院	3	0%	主に派遣社員・契約社員として	16	8%
その他	16	3%	不明	1	1%
<b>Q24 現在、あなたが同居されているご家族はいらっしゃいますか。</b>	<b>802</b>	<b>802</b>	<b>Q34 あなたは学校を卒業(中退)してから、今までに何回職業を変えましたか。</b>	<b>173</b>	<b>173</b>
親(父、母)	672	84%	転職したことなし	102	59%
兄弟姉妹	476	59%	1回	31	18%
祖父、祖母	143	18%	2回	21	12%
同居人はいない	108	13%	3回以上	19	11%
配偶者(夫、妻)	20	2%			
子ども	19	2%			
その他	3	0%			
不明	1	0%			
<b>Q24 子どもの数(平均値)</b>	<b>19</b>				
平均(人)	平均	1.6			
回答数	全体	802			
1人	1人	12			
2人	2人	5			
3人	3人	1			
4人	4人	-			
5人以上	5人以上	1			
不明	不明	783			

## 2. 回答者たちの仕事選択に関する評価の信頼度

今回の調査では、調査対象者が介護を職業としてどう評価しているかを聞いている。回答の信頼度判断のため、回答者がどの程度自らの目標ややりたいことを明確に持っているかを次の質問で確認した。

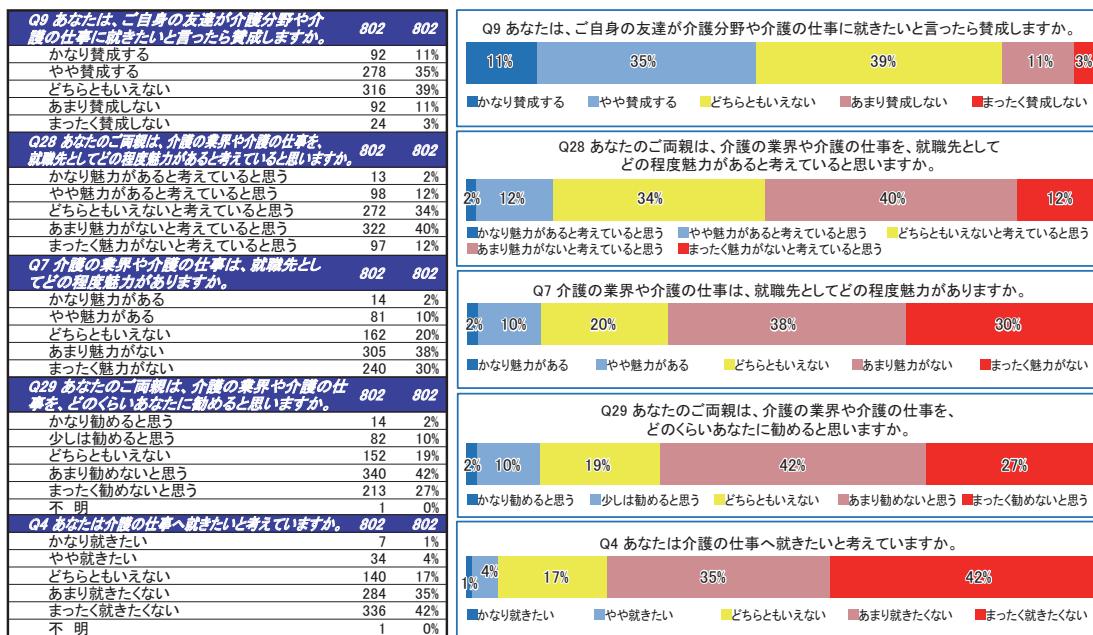
(Q22) あなたは、将来の目標や自分のやりたいことが、どの程度明確ですか？

将来の目標や自分のやりたいことについて「かなり明確 15%」「やや明確 38%」で合わせて 53%と半数を超えてることが確認された。以降の調査結果は、回答者の過半数が自分なりの職業に対する考え方を持ったうえでの回答であることが確認でき、結果に信頼がおけると判定した。



### 3. 今、若者たちは介護で働くことを希望するか

今回調査の全国の20歳前後の若者たち802名が、「介護職場に友人が勤めたいと言つたらどうか(Q9)」、「自分の親たちはどうとらえるか(Q28・Q29)」、「自分自身では就労を望むか(Q7・Q4)」という形で、順次掘り下げて整理した結果を示す。



グラフから分かるように、それぞれの質問に否定的な回答者の割合は

友人が就きたいと言つたら (否 14 %) < 親が魅力に感じているか (否 52 %)

< 就職先として魅力があるか (否 68 %) < 両親は勧めるか (否 69 %)

< 仕事に就きたいか (否 77 %)

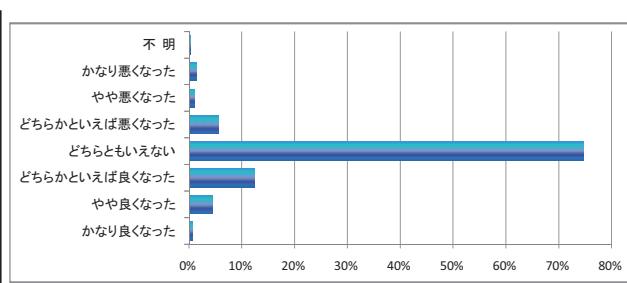
となり、自らの仕事としてより具体的になればなるほど、はっきり否定されていくことが分かる。

とりわけ、近年「本人が介護の仕事に就こうと思っても、親が反対する」という言葉を聞くが、約7割の若者は、自分の親は介護就労に賛成しないと受け止めていることが分かる。

### 4. 最近の不況や処遇改善施策で介護の仕事の評価は上がったか

近年の不況によって他の就職先が減少するとともに、介護人材処遇改善の施策の効果も期待されるが、残念ながらそれでも期待に反して介護の仕事に関わるイメージは全体としてはわずかしか好転していない。ただし、この結果は介護就業を望むグループとそうでないグループで異なるため、その分析は後段の詳細分析編を参照願いたい。

Q14 若者の就職が厳しくなっている現在の状況で、あなたの介護の仕事に対するイメージは変わりましたか。		802	802
かなり良くなった	4	0%	
やや良くなつた	35	4%	
どちらかといえば良くなつた	99	12%	
どちらともいえない	598	75%	
どちらかといえば悪くなつた	45	6%	
やや悪くなつた	8	1%	
かなり悪くなつた	11	1%	
不明	2	0%	



## 5. 若者たちは何が良くなれば介護の仕事に就きたいと考えるか

若者たちが、これが改善されれば介護で働いても良いと考えている項目である。

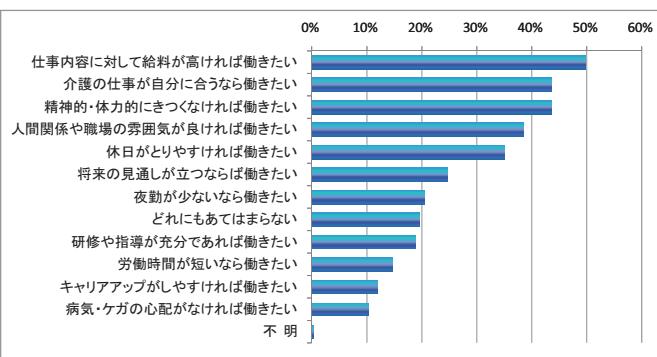
50%の若者は、給与の改善をあげているが、それ以外の労働条件（精神的体力的なきつさの改善、休日の取りやすさ、夜勤が少ない）が指摘されていることを見落とせない。

現在、国レベルで介護従事者を増やすための主たる施策として、「研修指導の充実」や「キャリアアップ」の取り組みが行われているが（介護福祉士資格制度の厳格化や、キャリアパス作り）、現場の実感通りこれらを主たる課題としてあげる若者は少ない。

よって今行われている施策の内で、給与改善は有効であるが、資格見直しやキャリアパスの効果は弱く、それに代わって労働条件の見直しに正面から取り組まない限り問題は解決できないことが明確になった。

また介護の仕事が自分に合うならと回答する若者も1/3いるので、彼らに介護の仕事が自分に合うかどうか判定させる情報と判断の機会（職場体験など）を与えることも、団体施設として今後重要な活動となってくる。

Q18 あなたは、介護関係の仕事や職場がどのようにして働きたいと願いますか。 802 802	
仕事内容に対して給料が高ければ働きたい	398 50%
介護の仕事が自分に合うなら働きたい	348 43%
精神的・体力的にきつくなれば働きたい	348 43%
人間関係や職場の雰囲気が良ければ働きたい	308 38%
休日がとりやすければ働きたい	279 35%
将来の見通しが立つならば働きたい	197 25%
夜勤が少ないなら働きたい	163 20%
どれにもあてはまらない	156 19%
研修や指導が充分であれば働きたい	151 19%
労働時間が短いなら働きたい	116 14%
キャリアアップがしやすければ働きたい	95 12%
病気・ケガの心配がなければ働きたい	82 10%
不 明	1 0%



## 6. 給与がいくらなら介護で働いても良いと考えるか

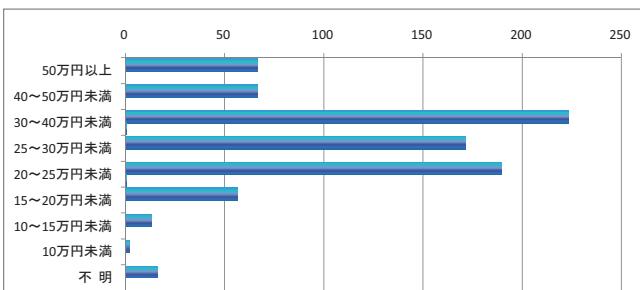
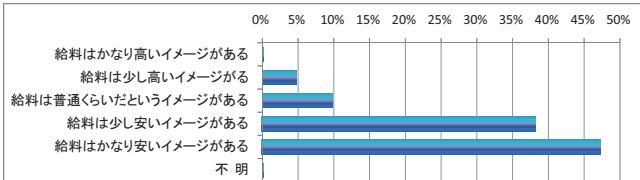
若者の85%が介護の給与は安いと思っている。ただし、それは現在支払われている給与額を実態より安く誤解して安いと言っているのではない。若者が考えているのは、介護と言うどちらかといえば避けたい仕事に見合う額に達していないという意味である。それが、次の質問の給与期待額が平均値31万円という数字で示されている。

これに対し期待する給与額が高過ぎ、そのような人は要らないと切り捨てる考え方もある。しかし人材難の改善には彼らを否定せず、「若者の多くが、この程度は貰わないと介護で働くことが割に合わない」と考えている現実を受け入れる必要がある。すなわち給与改善がここまで出来ないなら、他の課題項目（精神的体力的なきつさの改善、休日の取りやすさ、夜勤が少ない）を制度課題としてとらえて解決し、若者の割が合わない感のハードルを引き下げることが出来れば、「働いてもよい給与額」を引き下げることが出来ると考えられる。

Q19 あなたは、介護の仕事の給料はどうのよう にイメージしていますか。		802	802
給料はかなり高いイメージがある	1	0%	
給料は少し高いイメージがる	38	5%	
給料は普通くらいだといいうイメージがある	78	10%	
給料は少し安いイメージがある	305	38%	
給料はかなり安いイメージがある	379	47%	
不 明	1	0%	

Q20 あなたは、月にだいたい何万円くらいの給料をも らえれば、介護の仕事をしたいと思いますか。(平均値)		787	787
平均(万円)		31.0	31.0
50万円以上	66	8%	
40~50万円未満	66	8%	
30~40万円未満	223	28%	
25~30万円未満	171	21%	
20~25万円未満	189	24%	
15~20万円未満	56	7%	
10~15万円未満	13	2%	
10万円未満	2	0%	
不 明	16	2%	



## 7. 若者は、将来何のために働きたいと思っているか

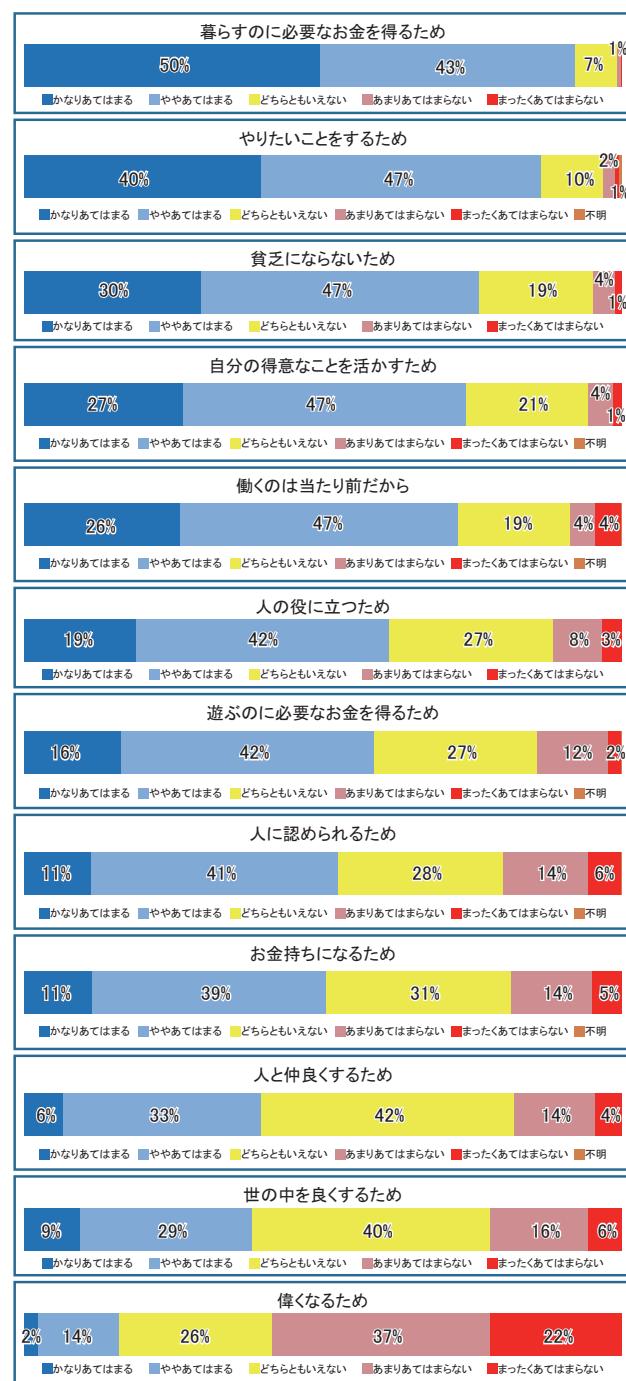
12項目を設定し、将来自分が働くときの目的としてあてはまるかどうかをたずね、働く目的として回答が多い順に整理した。各項目の%は、「かなりあてはまる」「ややあてはまるの」と回答した者の合計割合を示す。

回答結果から一般的な若者が職業に求めることは、

- ◇「暮らすためのお金を得る」「貧乏にならないため」「働くのは当然だから」など、職業にはまず自らの生活を確保する拠り所という期待が強いことが分かった。
- ◇また「やりたいことをやる」「自分の得意なことを生かす」という自己完結型の項目が、「人のために役に立つ」や「世の中をよくする」等の社会貢献型よりも上位に位置づけられた。福祉職なら自己犠牲で人のためという古い価値観だけで、多数の若者を誘導することに無理が出ることが分かる。
- ◇一方で、「人のために役立つため」ということを期待する者も61%を占めており、納得いくレベルの生活が確保されればその先では人の役に立つ仕事に就きたいという希望も、明確に存在していることが確認された。
- ◇さらに影響範囲を広げた「世の中をよくするため」については、支持が1／3近くに落ち、「偉くなるため」については2割以下と、かつての高度成長期男性型の価値観が通用しなくなっていることが分かる。
- ◇多少給与が上がっても責任ある立場につきたがらないということは、福祉に限らずどの産業分野でも近年言われることである。今回の調査結果でもそのことが裏付けられた。  
各法人施設におけるリーダー育成やキャリアパス作りにおいても、本人を評価してポジションにつけたが故に退職するなど想定外のことがたびたび起きるが、この点を念頭に指導と人事を行なうことが重要であることが分かる。

(1)	暮らすための必要なお金を得るため	9 3 %
(2)	やりたいことをするため	8 7 %
(3)	貧乏にならないため	7 7 %
(4)	自分の得意なことを活かすため	7 4 %
(5)	働くのは当たり前だから	7 3 %
(6)	人の役に立つため	6 1 %
(7)	遊ぶのに必要なお金を得るため	5 8 %
(8)	人に認められるため	5 2 %
(9)	お金持ちになるため	5 0 %
(10)	人と仲良くするため	3 9 %
(11)	世の中を良くするため	3 8 %
(12)	偉くなるため	1 6 %

1	暮らすのに必要なお金を得るため	802 802
	かなりあてはまる	397 50%
	ややあてはまる	342 43%
	どちらともいえない	56 7%
	あまりあてはまらない	5 1%
	まったくあてはまらない	2 0%
2	やりたいことをするため	802 802
	かなりあてはまる	317 40%
	ややあてはまる	376 47%
	どちらともいえない	84 10%
	あまりあてはまらない	16 2%
	まったくあてはまらない	5 1%
	不 明	4 0%
3	貧乏にならないため	802 802
	かなりあてはまる	237 30%
	ややあてはまる	373 47%
	どちらともいえない	153 19%
	あまりあてはまらない	29 4%
	まったくあてはまらない	10 1%
4	自分の得意なことを活かすため	802 802
	かなりあてはまる	213 27%
	ややあてはまる	379 47%
	どちらともいえない	165 21%
	あまりあてはまらない	33 4%
	まったくあてはまらない	11 1%
	不 明	1 0%
5	働くのは当たり前だから	802 802
Q	かなりあてはまる	208 26%
2	ややあてはまる	374 47%
3	どちらともいえない	150 19%
あなたたは得来、何のためで働きたいと思いませんか。	あまりあてはまらない	33 4%
	まったくあてはまらない	36 4%
	不 明	1 0%
6	人の役に立つため	802 802
	かなりあてはまる	149 19%
	ややあてはまる	340 42%
	どちらともいえない	220 27%
	あまりあてはまらない	66 8%
	まったくあてはまらない	27 3%
7	遊ぶのに必要なお金を得るため	802 802
	かなりあてはまる	130 16%
	ややあてはまる	339 42%
	どちらともいえない	219 27%
	あまりあてはまらない	95 12%
	まったくあてはまらない	17 2%
	不 明	2 0%
8	人に認められるため	802 802
ますか。	かなりあてはまる	89 11%
	ややあてはまる	332 41%
	どちらともいえない	221 28%
	あまりあてはまらない	114 14%
	まったくあてはまらない	45 6%
	不 明	1 0%
9	お金持ちになるため	802 802
	かなりあてはまる	90 11%
	ややあてはまる	315 39%
	どちらともいえない	247 31%
	あまりあてはまらない	110 14%
	まったくあてはまらない	39 5%
	不 明	1 0%
10	人と仲良くするため	802 802
	かなりあてはまる	52 6%
	ややあてはまる	266 33%
	どちらともいえない	339 42%
	あまりあてはまらない	109 14%
	まったくあてはまらない	35 4%
	不 明	1 0%
11	世の中を良くするため	802 802
	かなりあてはまる	74 9%
	ややあてはまる	231 29%
	どちらともいえない	320 40%
	あまりあてはまらない	131 16%
	まったくあてはまらない	46 6%
12	偉くなるため	802 802
	かなりあてはまる	18 2%
	ややあてはまる	109 14%
	どちらともいえない	205 26%
	あまりあてはまらない	293 37%
	まったくあてはまらない	177 22%



## **8. 若者たちは介護業界に、どのようなマイナスやプラスのイメージを持っているか**

若者が介護業界にどのようなイメージを持っているかを、15項目の質問でたずねた。質問は肯定的否定的を織り交ぜて聞いている。ここでは理解しやすいように職業選択上で肯定的な印象を与えるイメージをA、否定的な印象を与えるイメージをBに置き換え、否定的な印象を持った者が多い項目の順に並べ替えている。

すなわち、ここであげられた上位の否定的印象を与える項目の真の原因を探るとともに、それを改善することが、介護に人を集める対策としてきわめて有効となる。

介護について、否定的な印象を半数以上の若者が持っている項目

(項目横の%は、「Bに近い」と「どちらかというとBに近い」と答えた者の和)

1. 人が足りていない	9.5%
2. 難しい仕事である	9.1%
3. 地味な仕事である	8.7%
4. 資格が必要である	8.6%
5. 重い仕事である	8.5%
6. 仕事の割に報われない	8.3%
7. 厳しい	8.1%
8. 汚い	6.3%
9. 暗い	5.4%

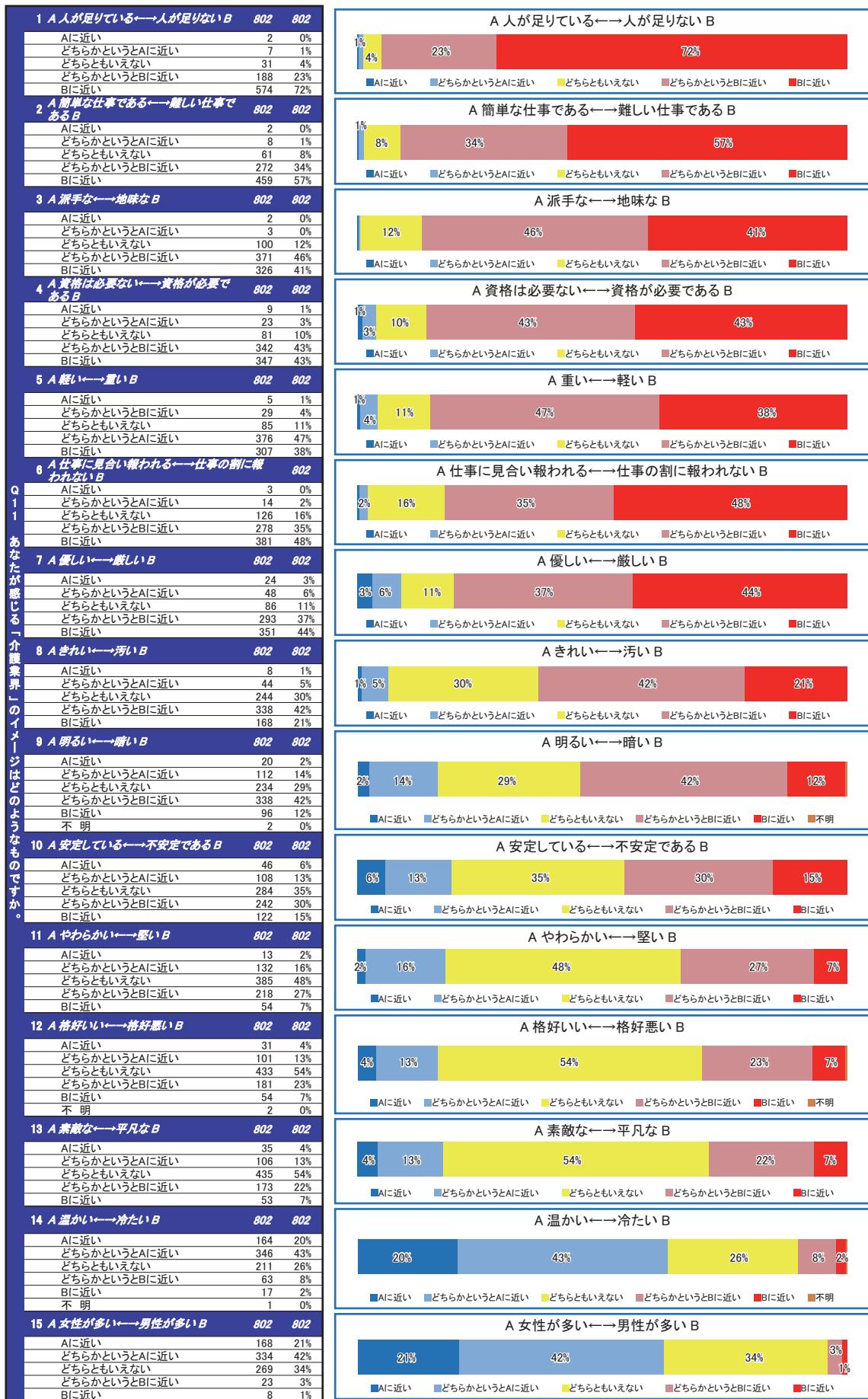
一方で次の項目については、過半の者が職業選択として肯定的な印象を持っている

1. 女性が多い	6.3%
2. 温かい	6.3%

総じて、介護の仕事は職場に人が足りず、仕事は難しく、地味で重く厳しく汚く暗く、仕事の割に報われないと半数以上の若者が見ているという、きわめて厳しい結果が出た。

否定的な印象を持つ者の方が半数を超える項目が15項目のうち9項目、一方で肯定的な印象を持つ者が半分を超える項目は「女性が多い職場」を加えてもわずかに2項目と、職業選択として若者が持つ介護の仕事のマイナス印象はかなり強く、若者にとって勤めたい仕事に好転させることは生半可な取り組みではすまないことが想像される。

また現在は必ずしも資格がなくても勤められるにもかかわらず、資格が必要（就労の障壁が高い）と誤解されている。さらに今後介護福祉士の資格制度改定（受験資格600時間増加）により、ますます資格が取りにくくなったりときに、一層若者に敬遠されるリスクもきわめて強く懸念される。



## 9. 若者たちは介護で働くことに、どのようなイメージを持っているか

引き続いて、若者たちが「介護関係の業界で働くこと」に対してどのようにイメージを持っているかを15項目たずねた。

前項の質問と同様に、質問は肯定的否定的を織り交ぜて聞いている。ここでは改善課題を見出すために職業選択上で否定的な印象を与えるイメージに質問を書き直し、前問と同様に否定的な印象を持った者が多い項目の順に並べ替えている。

ここであげられた上位の項目が、若者から問われている介護業界が改善すべき項目である。また会員の法人・施設においては、これらの項目について「私たちの法人施設は改善の努力を行っている、他に比べて良い」ということを具体的に示すことが出来れば、相対的に人材獲得で優位になると想定される。

介護関係の業界で働くことについて、否定的な印象を半数以上の若者が持っている項目

(項目横の%は、「そう思う」と「どちらかというとそう思う」と答えた者の和)

- |                          |                            |
|--------------------------|----------------------------|
| 1. 仕事が体力的にきつそうだ 91%      | 4. 夜勤などがあつて勤務時間が不規則そうだ 82% |
| 2. 給料が満足のいく水準ではなさそうだ 84% | 5. 家庭生活と両立出来なさそうだ 63%      |
| 3. 休みがきちんと取れなさそうだ 84%    | 6. 自分の将来のイメージが描けなさそうだ 48%  |

一方で次の項目については、過半の者が肯定的な印象を持っている

- |                           |                        |
|---------------------------|------------------------|
| 1. 仕事を通じて社会に貢献できそう 86%    | 4. 仕事にやりがいがありそう 62%    |
| 2. 自分の仕事が人に感謝されそう 80%     | 5. 一緒に働く仲間と協力し合えそう 61% |
| 3. 資格や専門知識を活かすことができそう 70% |                        |

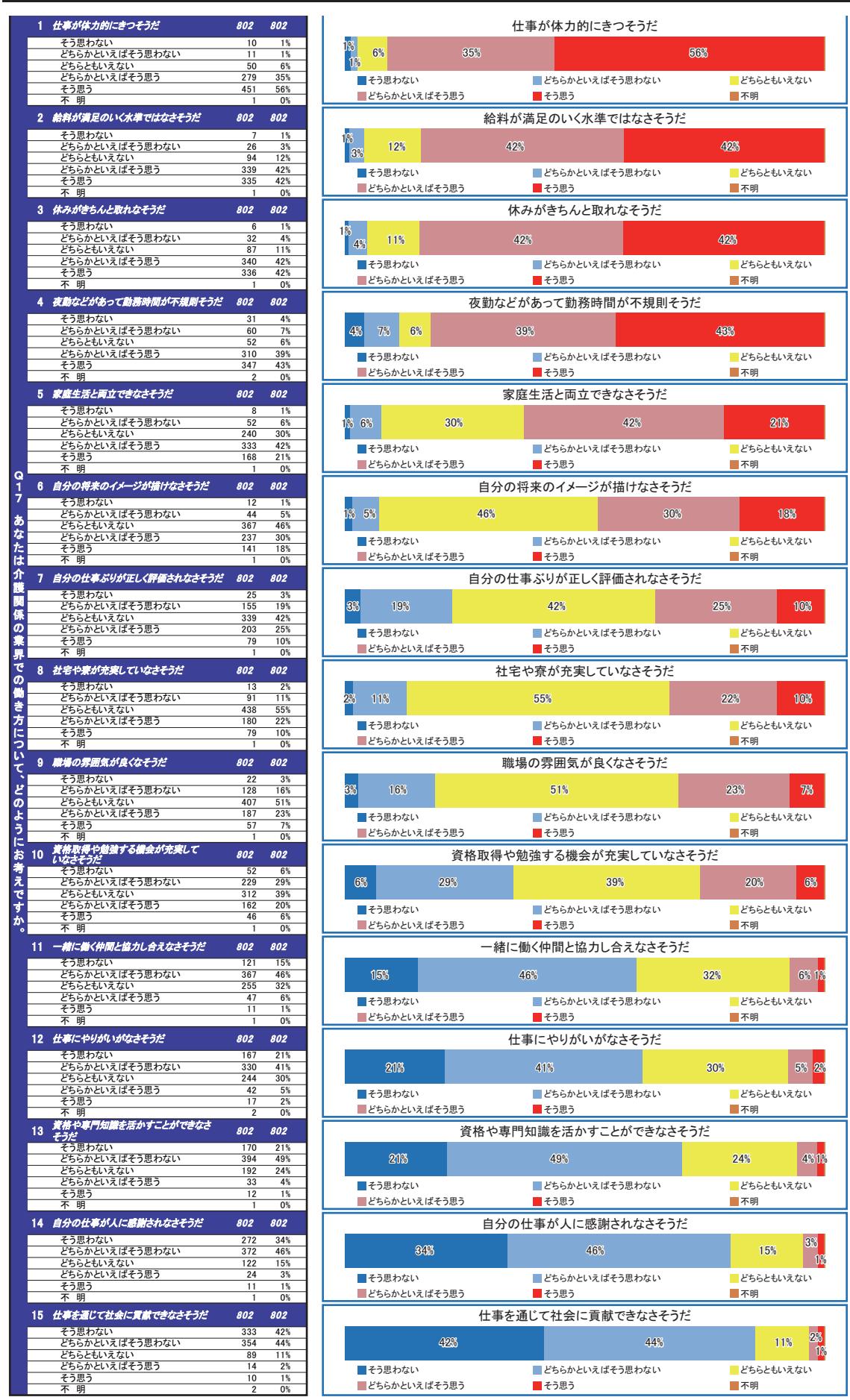
半分を超える若者は、介護の仕事が社会的に役に立ち、社会に感謝され、資格も活かせ仕事にやりがいがあり、さらに一緒に働く仲間とも協力できると、**我々が伝えたい介護の仕事の魅力をすでに十分理解していることが分かる。**

しかしながら我々が抱えている本質的な問題点は、前項の質問と重ね合わせたとき、そのようなことが十分分かっていながら、それでも介護の仕事を若者が選ばないと言うことである。

若者たちから敬遠される原因となっている、体力的にきつそう、給与が満足のいく水準ではなさそう、休みがきちんと取れなさそう、夜勤などがあつて勤務時間が不規則そう、家庭生活と両立出来なさなどの「労働条件の課題」に配置人員等の制度まで踏み込んで取り組み改善しない限り、若者は介護就労を敬遠すると考えられる。また一部にある「介護の仕事は良い仕事」が伝わりさえすれば人は集まる」という楽観論では、問題解決につながらないことも分かる。

給与問題については、ようやく光が当たり対策が行われつつあるが、実はそれと同等あるいはそれ以上に、体力的にきつく休みが取れず夜勤などで勤務が不規則で家庭生活と両立出来なさそうという問題が、就労のうえで重要課題であることが今回初めて確認された。

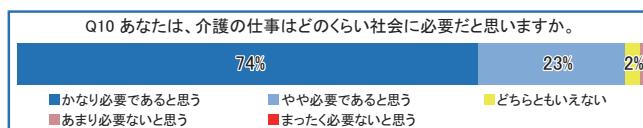
7項「若者は、将来何のために働きたいと思っているか」で判明したとおり、現代の若者が職業に求める者は社会的な価値よりも私生活の確保であることを会わせて考えれば、**労働**



条件の改善に背を向ける限り、介護に必要な人材を量的に確保することは困難であることを再認識する必要がある。

各法人・施設の人材採用に当たって、若者たちがすでに介護は人のためになる良い仕事と認識したうえで給与を含めた労働条件が厳しいことを心配し職業として選択をしないことを、十分認識する必要がある。言い換えれば、「仕事は多少厳しいけれども、人々の役に立つ仕事」という従来の福祉的アピールだけで引きつけようとする、人材募集面では逆効果に成る恐れもある。

Q10 あなたは、介護の仕事はどのくらい社会に必要だと思いますか。		802	802
かなり必要であると思う		590	74%
やや必要であると思う		188	23%
どちらともいえない		20	2%
あまり必要ないと思う		4	0%
まったく必要ないと思う		-	0%



Q8 介護の業界や介護の仕事は、どのくらい資格や専門知識が必要だと思いますか。		802	802
まったく必要がないと思う		2	0%
あまり必要がないと思う		29	4%
どちらともいえない		29	4%
やや必要があると思う		388	48%
かなり必要があると思う		354	44%



## 10. 若者たちは介護に関わる代表的な言葉に対し、どのような印象を持っているか

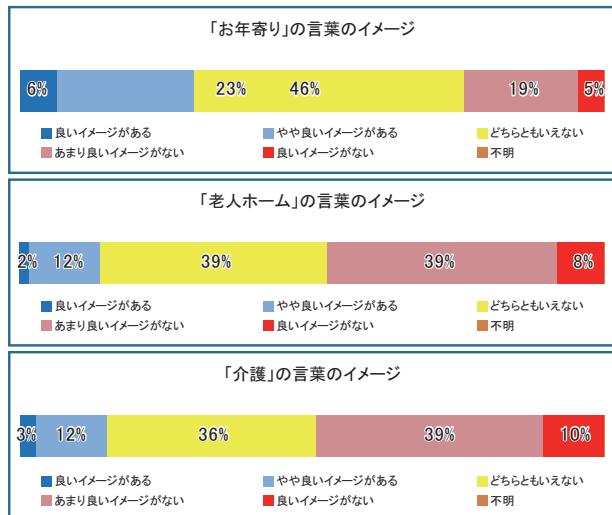
介護に関わる言葉として「介護」「老人ホーム」「お年寄り」の三つを選び、それぞれのイメージをたずねた。

- |                |            |            |
|----------------|------------|------------|
| 1. 「お年寄り」に対して  | 肯定的回答 29 % | 否定的回答 24 % |
| 2. 「老人ホーム」に対して | 肯定的回答 14 % | 否定的回答 47 % |
| 3. 「介護」に対して    | 肯定的回答 15 % | 否定的回答 49 % |

若者にとって、介護・老人ホーム、お年寄りの順で言葉のイメージが悪いことが分かった。我々の努力とは別に一般的に「老人ホーム」という言葉は、若者から否定的なイメージを持たれがちなことが知られている。しかしその、「老人ホーム」という言葉以上に「介護」という言葉のイメージが悪いという結果から、我々の抱えている問題の深刻さが分かる。

一方で、「お年寄り」の言葉に関して、核家族化の中で若者が高齢者になじみがなくなり多くが否定的な印象を持っているのではないかと恐れたが、是非相半ばしたことは救われる要素である。

Q1 あなたは次に挙げる語句にどのようないメージを抱きますか		お年寄り	802	802
あなたは次に挙げる語句にどのようないメージを抱きますか	良いイメージがある	51	6%	
	やや良いイメージがある	188	23%	
	どちらともいえない	369	46%	
	あまり良いイメージがない	156	19%	
	良いイメージがない	37	5%	
	不明	1	0%	
老人ホーム		老人ホーム	802	802
老人ホーム	良いイメージがある	13	2%	
	やや良いイメージがある	97	12%	
	どちらともいえない	311	39%	
	あまり良いイメージがない	316	39%	
	良いイメージがない	64	8%	
	不明	1	0%	
介護		介護	802	802
介護	良いイメージがある	23	3%	
	やや良いイメージがある	97	12%	
	どちらともいえない	286	36%	
	あまり良いイメージがない	311	39%	
	良いイメージがない	84	10%	
	不明	1	0%	



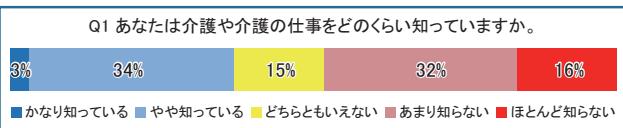
## 1.1. 若者たちは、介護に関してどの程度の知識と関心を持っているか

- 介護の仕事を知っていると回答した者 37% 知らない 48%
- 介護の仕事に関心があると回答した者 27% 関心がない 56%
- 学校で勉強したかったと回答した者 33% したくなかった 42%

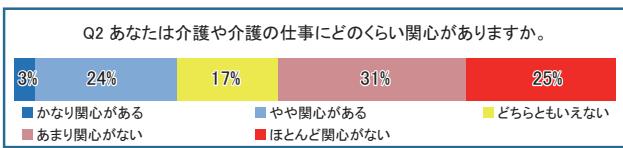
以上から、若者の半分程度が介護の仕事を知らず関心もなく勉強したいとも思ってはいないことがわかる。しかし、逆に3人に1人前後が知っていると答え、関心もあり学校で勉強したかったと回答しているが、すべての仕事が誰にでも好まれるわけでないことを考えれば、これは今回の調査で始めて将来に光がさす数値と言える。

我々の活動の成否は、この3割からさらに絞り込まれてその1／6（全体からは5%）しか最終的に職業として選びたいと思ってくれない現状の、何をどう改善するかにかかっている。

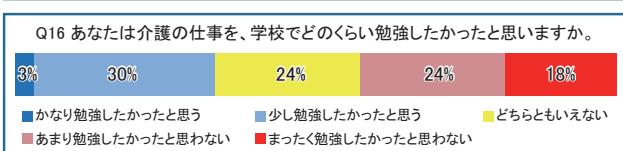
Q1 あなたは介護や介護の仕事をどのくらい知っていますか。		802	802
かなり知っている	25	3%	
やや知っている	271	34%	
どちらともいえない	120	15%	
あまり知らない	255	32%	
ほとんど知らない	131	16%	



Q2 あなたは介護や介護の仕事をどのくらい関心がありますか。		802	802
かなり関心がある	27	3%	
やや関心がある	190	24%	
どちらともいえない	134	17%	
あまり関心がない	252	31%	
ほとんど関心がない	199	25%	



Q16 あなたは介護の仕事を、学校でどのくらい勉強したかったと思いますか。		802	802
かなり勉強したかったと思う	26	3%	
少し勉強したかったと思う	241	30%	
どちらともいえない	194	24%	
あまり勉強したかったと思わない	193	24%	
まったく勉強したかったと思わない	148	18%	



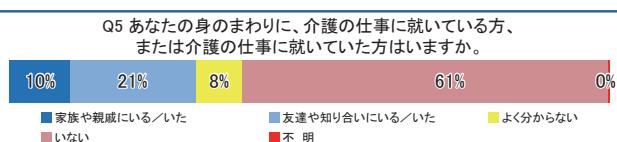
## 12. どのような情報から介護に関するイメージを定めているか

周辺に介護の仕事をしている人がいる者 31% いない者 61%

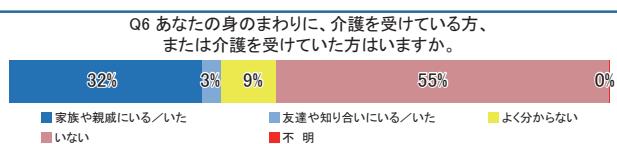
周辺に介護を受けている人がいる者 35% いない者 55%

身の回りに介護従事者や介護を受けている人がいる割合は、周辺にいない者に比べて今は少ないが、将来的には要介護高齢者の増加に伴い両方の数値が伸び、結果として若者に介護の仕事がもっと身近なものになることが期待される。

Q5 あなたの身のまわりに、介護の仕事に就いている方、または介護の仕事に就いていた方はいますか。		
	802	802
家族や親戚にいる／いた	81	10%
友達や知り合いにいる／いた	169	21%
よく分からぬ	62	8%
いない	488	61%
不明	2	0%



Q6 あなたの身のまわりに、介護を受けている方、または介護を受けた方はいますか。		
	802	802
家族や親戚にいる／いた	258	32%
友達や知り合いにいる／いた	25	3%
よく分からぬ	73	9%
いない	455	55%
不明	1	0%

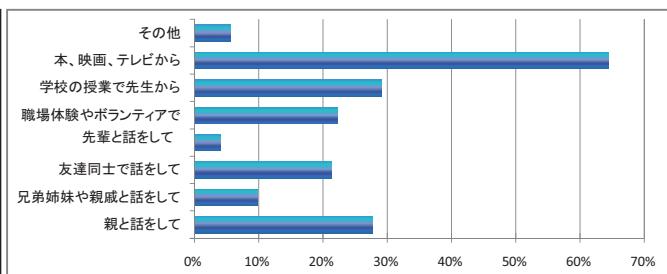


介護の仕事についての情報源は、本・映画・テレビなどのメディア情報が2／3を占める。これらについては事実の一部を大げさに強調する要素が強く、そもそも介護の仕事が社会にどう思われているかを反映する色彩が強い。

一方、先生や親がそれぞれ4人に1人の割合であり、これらの人々に対する働きかけが大切で、近年言われるような「本人が介護に進みたくても、親や先生が反対する」という現象はなんとしても防ぐ必要がある。また親のうちでも日頃話をする相手をみると、母親が父親の3倍で、母親がかなりの影響力を持っている可能性がある。

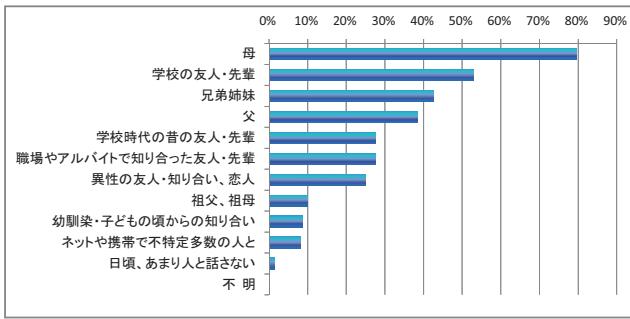
今後の活動では、当事者である若者だけでなく、親とりわけ母親への啓蒙活動が重要であると考えられる。また人材採用活動でも、親や家族も含めた就職説明会や施設見学会の実施が有効な対策と想定される。

Q15 あなたは介護の業界や介護の仕事を、主にどのように知りましたか。		
	802	802
親と話をして	222	28%
兄弟姉妹や親戚と話をして	78	10%
友達同士で話をして	171	21%
先輩と話をして	32	4%
職場体験やボランティアで	179	22%
学校の授業で先生から	233	29%
本、映画、テレビから	517	64%
その他	45	6%

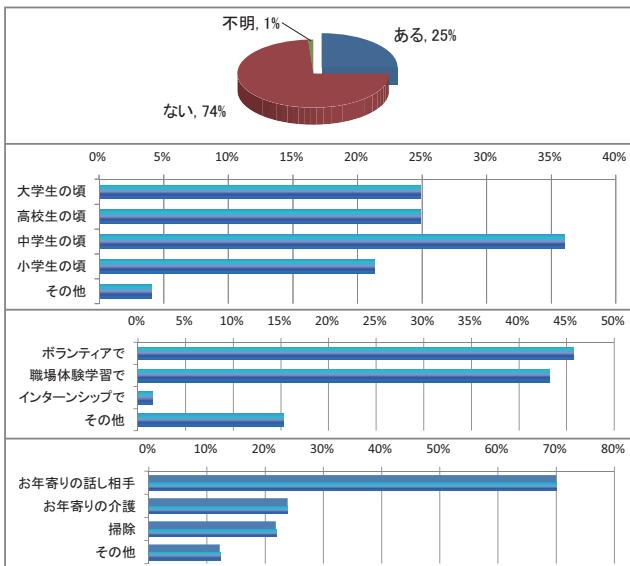


介護に関する職場体験やインターンシップ、ボランティアなどの経験がある者が25%、その時期は中学生時代がもっとも多い。大学生や高校生の時期に経験を持つ者は合わせて経験ありのうちの半数である。小中学生時代の啓蒙活動はもちろん大切だが、職業選択時期ともぶつかる高校大学時期に介護現場に触れる経験を持った者は、経験あり25%のさらに半分である全体の12.5%しかいない。この割合を高める努力もきわめて有効な施策だと考えられる。

Q25 日ごろの生活でよく話す人は誰ですか。 802 802	
母	638 80%
学校の友人・先輩	424 53%
兄弟姉妹	340 42%
父	307 38%
学校時代の昔の友人・先輩	221 28%
職場やアルバイトで知り合った友人・先輩	220 27%
異性の友人・知り合い、恋人	201 25%
祖父、祖母	80 10%
幼馴染・子どもの頃からの知り合い	68 8%
ネットや携帯で不特定多数の人と	64 8%
日頃、あまり人と話さない	11 1%
不明	1 0%



Q21あなたは介護に関する職場体験、インターンシップ、ボランティアなどの経験がありますか。 802 802	
ある	197 25%
ない	594 74%
不明	11 1%
Q21.1あなたは介護に関する職場体験、インターンシップ、ボランティアなどをいつ経験しましたか。 197 197	
大学生の頃	49 25%
高校生の頃	49 25%
中学生の頃	71 36%
小学生の頃	42 21%
その他	8 4%
Q21.2あなたは介護に関する職場体験、インターンシップ、ボランティアなどを何で経験しましたか。 197 197	
ボランティアで	90 46%
職場体験学習で	85 43%
インターンシップで	3 2%
その他	30 15%
Q21.3あなたは介護に関する職場体験、インターンシップ、ボランティアなどでどんな経験をしましたか。 197 197	
お年寄りの話し相手	138 70%
お年寄りの介護	47 24%
掃除	43 22%
その他	24 12%



## 調査分析Ⅱ（詳細分析）

---

## 調査分析Ⅱ（詳細分析）

下村英雄 ((独) 労働政策研究・研修機構)

### 1. 今回の調査から分かったこと

今回の調査データに関する相関分析の結果から、介護の業界や介護の仕事に対する若者の意識がどのようなものであるか、また、介護業界および介護の仕事は若者にどのようなイメージをもたれているかについて、詳しく分析を行った。

分析結果から分かったこと、並びに分析結果をもとに、介護業界を若者によりアピールするための方策としてどのようなことが考えられるのかについて、以下の8つの点にまとめられる。

①介護の仕事の必要性は十分に理解されているが、(ア)友達が就職する際に賛成するか、(イ)自分の就職先として魅力があるかとなると、極端に肯定的な回答が低まる。介護の仕事が若者の間で魅力があるものと映る対策の必要性が再確認された。

#### ⇒若者に対する介護の仕事内容のよりいっそうの啓発活動の充実。

②介護の仕事に対する就職したいという希望は、介護に対する関心と密接と関連していた。職場体験・インターンシップ・ボランティアの形にかかわらず、また、直接、介護の実習を行うのみならず、掃除やお年寄りの話し相手になるという補助的な業務でも、ともかく何らかの介護体験をすることが介護に対する就職意欲および関心と結びついていた。学校段階の若者の職場体験等の重要性が改めて示された。

#### ⇒学校段階での職場体験・インターンシップ・ボランティア等の積極的な受け入れの拡充。

③介護の仕事に対する興味は、性別によって異なり、女性が関心をもつ割合が高かった。特に、友人が介護の仕事に就いている女性や家族が介護を受けていたという女性が関心をもつ割合が高かった。この人達は、収入面の関心は低く、むしろ資格取得および専門知識を発揮する機会、仕事のやりがいを求めていた。精神的・体力的なきつさを懸念しており、職場の人間関係も重視していた。改めて、女性が関心をもつ職場としての自覚や対策の必要性が確認される結果となった。

#### ⇒女性が働きやすい職場、女性が関心を高めるような仕組みの充実。

④介護の仕事に就きたいと考える若者の特徴として、(ア)身近に介護の仕事で働いているか介護を受けていた人がいる、(イ)本・映画・テレビなどからの影響よりも親や学校からの影響が大きい、(ウ)祖父母と同居しており、よく話をしている、(エ)日常生活でも話をする人数が多い、(オ)介護に関する職場体験・インターンシップ・ボランティアの経験があり、学校時代にもっと勉強したかったと考えている。

#### ⇒もともと介護に関心をもつ若者は一定数いそうなので、そうした若者へのアピールの検討(若者自身の介護体験・お年寄りと接した経験に訴える等)

⑤厳しい就職状況下で介護の仕事に良いイメージをもつようになった若者は、もともと介護に良いイメージをもっている若者であった。「お年寄り」や「介護」に良いイメージがあり、「人と仲良くするため」「人の役に立つため」に働きたいと考える若者が、介護業界に関心を向けていた。

⇒**人と協力し、人の役に立つために働きたいと考える若者は、常に一定数いると考えられることから、そうした就労観をもつ若者にこそ介護業界や介護の仕事が向いていることを示し、介護の仕事をアピールする。**

⑥もともと介護に興味をもつ若者は、お金のために働きたいとは考えておらず、むしろ、資格取得や仕事のやりがいに関心をもっており、自分の将来イメージが描けるかを重視している。介護の仕事が自分に合うかどうか（周りの人間とうまくやっていけるかを含めて）、職場に入ってからの研修や指導があるかどうか、ケガの心配はないかを気にしている。

⇒**資格取得のプロセスやキャリアパスの明確化、何歳でどうなるというルートの明確化。**

⑦本来、介護に関心があるのに介護の仕事に就職しようとしている若者は、友人や家族の影響が強そうであった。

⇒**若者の友人関係や家族を巻き込んだ取り組みの発案・推進。**

⑧首都圏か首都圏以外かで介護業界および介護の仕事の相対的な位置づけはかなり異なるようであり、地域性（ローカル性）を考慮した、介護の仕事に向けた土壌づくりが必要となる。

⇒**地域の実情にあつた、また、地域の特徴を活かした介護の仕事の重要性や有用性、就職先としての魅力などのアピール**

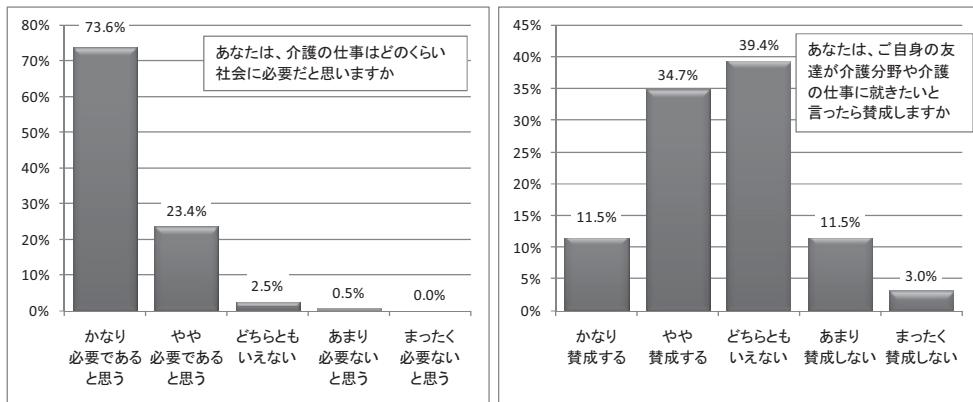
この章では、それぞれの設問の相関関係を分析し、特徴的な結果についてレポートしている。なお、相関分析については、すべての設問において分析確認しているが、特徴的な傾向や統計上の違いが出てきた項目に限定し考察した。

## 2. 介護の業界や介護の仕事に対する意識の全般的特徴

まず初めに、介護の業界や介護の仕事に対する意識の全般的な特徴を検討した。

「あなたは、介護の仕事はどのくらい社会に必要だと思いますか」で最も回答が多かったのは「かなり必要であると思う」であり、73.6%の若者が介護の仕事の必要性を高く評価していた（図表1左）。

「あなたは、ご自身の友達が介護分野や介護の仕事に就きたいと言ったら賛成しますか」で最も回答が多かったのは「どちらともいえない」39.4%であり、「やや賛成する」が34.7%と続いていた。友達が介護の仕事に就くことには、どちらかと言えば賛成が多かった（図表1右）。

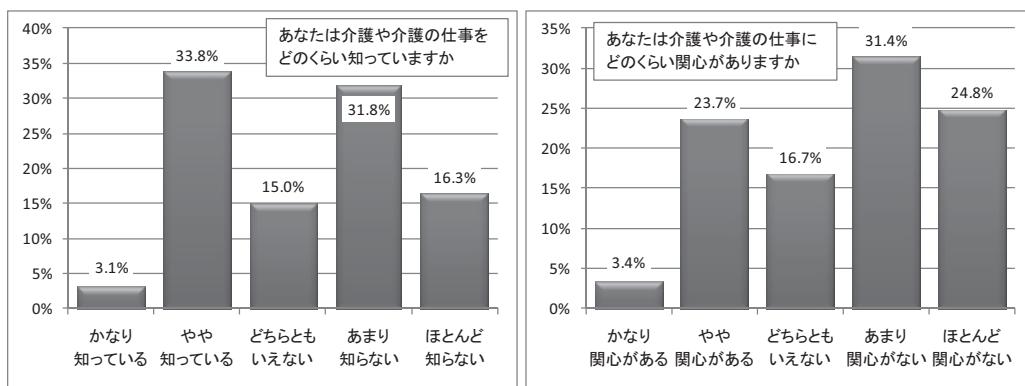


図表1 介護の業界や介護の仕事に対する意識①

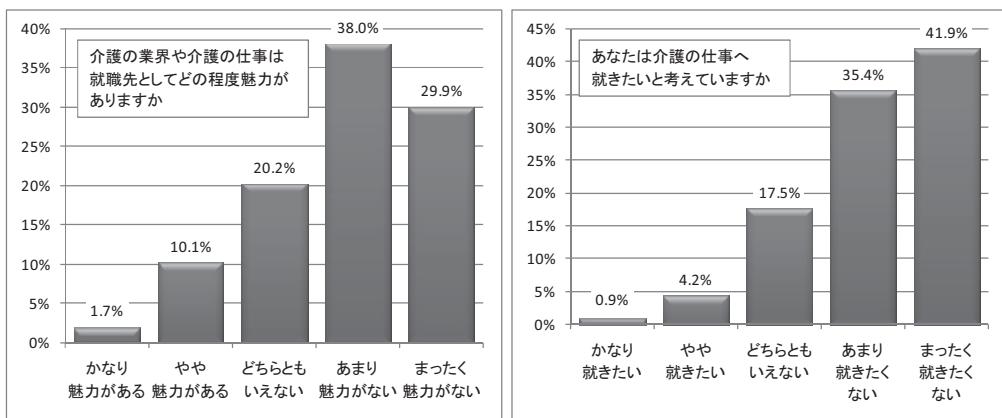
「あなたは介護や介護の仕事をどのくらい知っていますか」では「やや知っている」33.8%と「あまり知らない」31.8%はほぼ同じ割合であり、介護の仕事を知っている若者と知らない若者に分かれていた（図表2左）。

「あなたは介護や介護の仕事どのくらい関心がありますか」では「あまり関心がない」が31.4%と最も回答が多く、「ほとんど関心がない」24.8%と続いていた。今回、調査回答者となった若者は介護の仕事にあまり関心がないことが示されるが、一方で、「やや関心がある」と回答した若者も23.7%と比較的多く、介護に対する関心も若者の間で比較的分かれていたと言えよう（図表2右）。

「介護の業界や介護の仕事は就職先としてどの程度魅力がありますか」では「あまり魅力がない」が38.0%と回答が最も多いかった。また、「あなたは介護の仕事へ就きたいと考えていますか」では「まったく就きたくない」が41.9%と回答が最も多いかった。調査回答者となった若者にとって介護の業界はあまり魅力がなく、介護の仕事に就きたくないと考えていた。



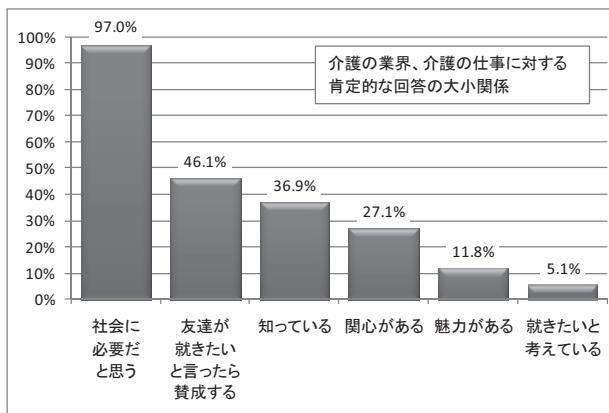
図表2 介護の業界や介護の仕事に対する意識②



図表3 介護の業界や介護の仕事に対する意識③

図表4は、図表1～図表3までの各項目のうち肯定的な回答を合計し（例：「かなり必要である」+「やや必要である」等）、並べて図示したものである。「社会に必要だと思う（97.0%）」>「友達が就きたいと言ったら賛成する（46.1%）」>「知っている（36.9%）」>「関心がある（27.1%）」>「魅力がある（11.8%）」>「就きたいと考えている（5.1%）」という順に肯定的な回答が多くかった。

また、図表4では、介護の仕事が「社会に必要だと思うか」と「友達が就きたいと言つたら賛成するか」の間に大きな差があり、さらに、「関心がある」と「魅力がある」の間にも若干の差がみられる。大多数の若者が介護の仕事は社会に必要だと思う一方で、友達が介護の仕事に就くことには賛成するかでは約半分に減り、さらに魅力があるか否かでは1割強に減り、最終的には介護業界または介護の仕事に就きたいと考える若者は5%程度になることが分かる。この5%を少ないと見る見方はあるが、逆に、1割程度の若者は介護の業界に魅力を感じており、そのうち約半分の5%程度の若者は介護の仕事に積極的に就きたいと考えている見方もできるであろう。



図表4 介護の業界や介護の仕事に対する肯定的な回答の大小関係

ここまで検討してきた質問項目は相互に関連が深いと推測されたので、質問項目間の相関係数を求めた。図表5はその結果である。もっとも関連が深かったのは「あなたは介護

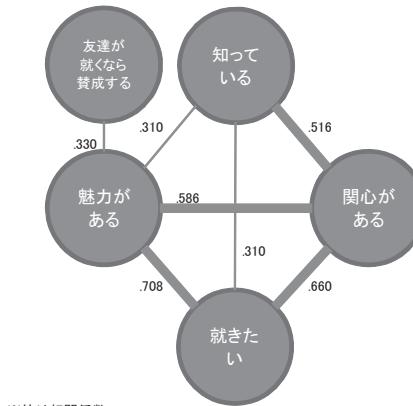
の仕事へ就きたいと考えていますか」と「介護の業界や介護の仕事は、就職先としてどの程度魅力がありますか」であり、相関係数は.708 であった。次いで「あなたは介護や介護の仕事にどのくらい関心がありますか」と「あなたは介護の仕事へ就きたいと考えていますか」の相関係数が.660、さらに「あなたは介護や介護の仕事にどのくらい関心がありますか」と「介護の業界や介護の仕事は、就職先としてどの程度魅力がありますか」の相関係数が.586 と続いていた。

**図表5 介護の業界や介護の仕事に対する意識の相関関係**

	知っていますか	関心がありますか	就きたいと考えていますか	魅力がありますか	友達が就職するなら賛成しますか	社会に必要だと思いませんか
あなたは介護や介護の仕事をどのくらい知っていますか						
あなたは介護や介護の仕事にどのくらい関心がありますか	.516					
あなたは介護の仕事へ就きたいと考えていますか	.310	.660				
介護の業界や介護の仕事は、就職先としてどの程度魅力がありますか	.312	.586	.708			
あなたは、ご自身の友達が介護分野や介護の仕事に就きたいと言ったら賛成しますか	.170	.254	.281	.330		
あなたは、介護の仕事はどのくらい社会に必要だと思いますか	.170	.149	.021	.100	.234	

※.50以上の特に値の大きい相関係数に網掛けを付した。

図表6には、図表5で相互に関連が深い質問項目を模式図にまとめた。「関心がある—魅力がある—就きたい」が相互に密接に関連し合っていること、さらに介護の仕事を「知っている」かということも深く関連していたことが示される。



**図表6 介護の業界や介護の仕事に対する意識の相関関係の模式図**

ここまで結果をまとめると、以下の3点に集約される。

第一に、介護の仕事の必要性については若者に高く評価されているが、友達が介護の仕事に就くと言ったら賛成するかと問われると肯定的な回答は半減していた。

第二に、介護の仕事を知っているか>関心があるか>魅力があるか>就きたいと考えているかの順に肯定的な回答は少なくなり、最終的に介護の仕事に就きたいと回答した若者は全体の5%程度となった。

第三に、介護の仕事に関心があるか、魅力を感じるか、就きたいと思うかは相互に関連

したが、この3つの相関関係に、さらに介護の仕事を知っているかどうかが関連していた。

上記3点から、基本的には、介護の仕事の必要性は高く評価されているものの、実際に就きたいと考える若者は5%程度であるということが示される。ただし、この5%を少ないと見るべきか否かは検討すべき課題である。5%もの若者が就きたいと考える職業は、むしろ若者によく知られている職業であるということもできる。むしろ、もともと介護に関心のある5%の若者をいかに遗漏なく介護の職業に就いてもらうことができるかが、今後の介護人材の確保に向けた重要なテーマとなる。一方で、介護の仕事に関心をもつ若者は5%と言わず、より拡大して然るべきであり、そのための対応策として、いかに介護の仕事に関心をもってもらうか、介護の仕事を知っているという若者を増やすかが鍵となる。

### 3. 介護の業界や介護の仕事に対する意識の各要因による違い

前節で検討した介護の業界や介護の仕事に対する意識を様々要因で検討した。その結果、最も大きな違いがみられたのは、性別による違いであった。

#### (1) 性別による違い

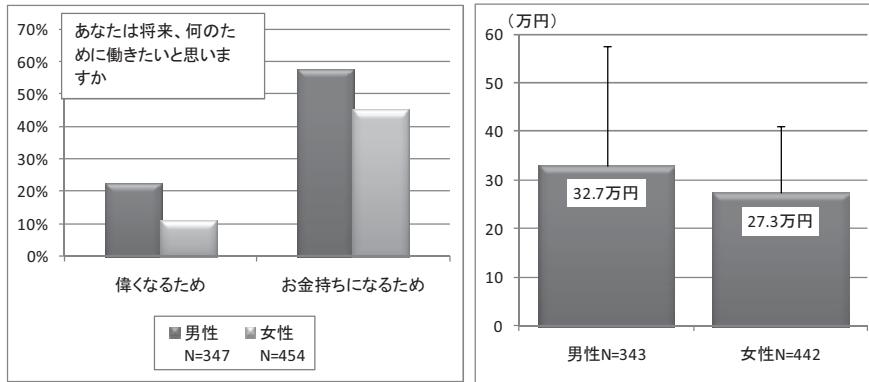
図表7に示したとおり、介護の業界や介護の仕事に対する意識は、概して、女性の方が高かった。女性の方が「介護や介護の仕事を知っている」と回答する割合が高く、その背景には、身のまわりに介護や介護の仕事に就いている人が男性に比べて多いことがある。友達が介護の仕事に就きたいと言っても賛成するといった点からも、女性にとって介護の仕事は身近に感じられるということが示される。

また、女性が介護の仕事に対する意識が高い背景の1つとして、女性の就労観も関連しているようであった。例えば、図表8左に示したとおり、女性は男性に比べて、必ずしも「偉くなるため」「お金持ちになるため」に働きたいと考えている訳ではなかった。実際、介護の仕事をするにあたって希望する月給も女性は少なく、図表8右に示したとおり、男性は32.7万円の給料をもらいたいと考えているのに対して、女性は27.3万円で良いと考えていた。

図表7 介護の業界や介護の仕事に対する意識の性別による違い

		男性 N=347	女性 N=454
あなたは介護や介護の仕事をどのくらい知っていますか。	かなり知っている+やや知っている	30.3%	42.1%
あなたは介護や介護の仕事にどのくらい関心がありますか。	かなり関心がある+やや関心がある	21.0%	31.7%
あなたは介護の仕事へ就きたいと考えていますか。	かなり就きたい+やや就きたい	3.7%	6.2%
あなたの身のまわりに、介護の仕事に就いている方、または介護の仕事に就いていた方はいますか。	友達や知り合いにいる／いた	13.3%	27.2%
	よく分からない	11.2%	5.1%
	いない	67.1%	56.2%
あなたの身のまわりに、介護を受けている方、または介護を受けていた方はいますか。	家族や親戚にいる／いた	27.7%	35.5%
	いない	60.8%	51.7%
介護の業界や介護の仕事は、就職先としてどの程度魅力がありますか。	かなり魅力がある+やや魅力がある	8.9%	14.1%
介護の業界や介護の仕事は、どのくらい資格や専門知識が必要だと思いますか。	かなり必要があると思う+やや必要があると思う	89.9%	94.7%
あなたは、ご自身の友達が介護分野や介護の仕事に就きたいと言ったら賛成しますか。	かなり賛成する+やや賛成する	37.2%	53.1%
あなたは、介護の仕事はどのくらい社会に必要だと思いますか。	かなり必要であると思う+やや必要であると思う	94.8%	98.7%

※値の大きい方に網掛けを付した。



**図表8 将来何のために働きたいか(左)および  
介護の仕事をするにあたって希望する月給(右)の性別による違い**

さらに、介護業界での働き方に対する意識について検討した結果、図表9に示すとおり、女性はむしろ介護の仕事を通じて資格を取得し、それを活かすことに対する関心が高かつた。また、介護の仕事はやりがいがあるようだとも感じていた。

ただし、その一方で、精神的・体力的なきつさ、人間関係などを重視しており、介護業界で働く女性が気がかりに思う点として、労働負荷や人間関係などの要因があることが示される。

**図表9 性別にみた介護関係の業界での働き方に対する意識の違い**

	男性 N=347	女性 N=454
<b>介護関係の業界での働き方について、どのようにお考えですか</b>		
資格取得や勉強する機会が充実しているそうだ	29.5%	39.4%
仕事にやりがいがありそうだ	54.2%	68.3%
資格や専門知識を活かすことができそうだ	63.3%	76.0%
<b>介護関係の仕事や職場がどのようにあれば、介護関係の仕事で働きたいと思いますか</b>		
介護の仕事が自分に合うなら働きたい	37.9%	47.8%
精神的・体力的にきつくなければ働きたい	33.8%	50.9%
人間関係や職場の雰囲気が良ければ働きたい	30.9%	44.3%

※値の大きい方に網掛けを付した。

## (2)在学中か否かによる違い

現在、回答者が在学中か否かによる違いも、性別による違いについて大きかった。

在学中か否かによる違いは、おもに、介護の仕事に対する関心の高さおよび就きたいと考える程度でみられた。図表10に示したとおり、概して、在学中の回答者よりも、在学していない回答者の方が介護に対する関心が高かつた。

その背景には、学校を卒業している回答者の中には介護の仕事に就いている友人がおり、その友人の影響があることが推察される。

**図表10 介護の業界や介護の仕事に対する意識の在学中か否かによる違い**

		在学して いる N=606	在学して いない N=196
あなたは介護や介護の仕事にどのくらい関心がありますか。	かなり関心がある+やや関心がある	26.1%	30.1%
あなたは介護の仕事へ就きたいと考えていますか。	かなり就きたい+やや就きたい	3.7%	6.2%
あなたの身のまわりに、介護の仕事に就いている方、または介護の仕事に就いていた方はいますか。	友達や知り合いにいる/いたいない	17.3% 64.0%	33.0% 51.5%

※値の大きい方に網かけを付した。

一方で、在学中でない回答者は、介護の仕事の労働条件面を重視する傾向がある。図表11に示したとおり、給料や労働条件に対して求めるものが在学中の若者よりも大きくなっている。

**図表11 介護業界での働き方に対する意識の在学中か否かによる違い**

介護関係の仕事や職場がどのようにあれば、介護関係の仕事で働きたいと思いますか	在学して いる N=606	在学して いない N=196
仕事内容に対して給料が高ければ働きたい	46.9%	58.2%
労働時間が短いならば働きたい	12.7%	19.9%
人間関係や職場の雰囲気が良ければ働きたい	36.0%	45.9%

※値の大きい方に網かけを付した。

その背景として、図表12に示したとおり、在学していない回答者の方が、働くにあたって金銭面を重視する傾向があることが関連していると推測される。

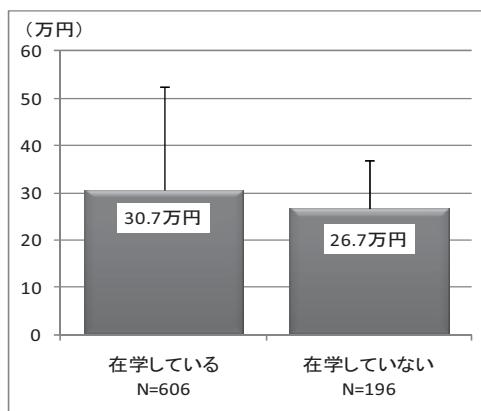
**図表12 将来、何のために働きたいかの在学中か否かによる違い**

あなたは将来、何のために働きたいと思いますか	在学して いる N=606	在学して いない N=196
偉くなるため	17.5%	10.7%
人に認められるため	54.0%	48.0%
お金持ちになるため	49.9%	52.6%
自分の得意なことを活かすため	75.1%	70.4%
遊ぶの必要なお金を得るため	55.2%	69.3%
人の役に立つため	66.4%	44.4%
世の中を良くするため	44.6%	17.9%

※値の大きい方に網かけを付した。

ただし、在学していない若者の方が労働条件面を重視するとは言え、図表13に示す通り、介護の仕事をするにあたって希望する給与の額そのものは、在学中の若者よりも低い。

こうした結果の解釈は難しいが、上述したとおり、在学生は「人の役に立つため」「世の中を良くするため」に働きたいという傾向が強く、介護の仕事の重要性を高く評価する傾向があったが、それゆえ相応の報酬を得たいと考えていると解釈されよう。

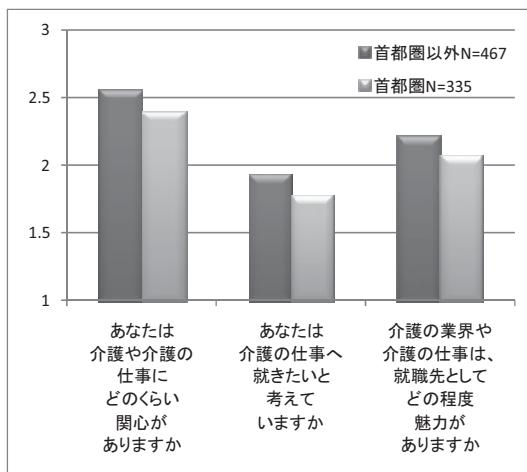


図表13 介護の仕事をするにあたって希望する月給の在学中か否かによる違い

### (3)首都圏か否かによる違い－地域差

本調査では地域差に関する検討を行うことも1つの大きな目的であった。そこで、地域差について検討するために、「北海道・東北」「関東甲信越（首都圏以外）」「首都圏（東京、神奈川、千葉、埼玉）」「東海」「関西」「中国四国九州」に分類して検討を行った。しかし、地域を細かく分けて検討した場合には、統計的に有意な地域差はみられなかった。

そこで、「首都圏」と「首都圏以外」に分類して検討を行った。その結果、図表14に示したとおり、首都圏以外の方が、介護や介護の仕事に「関心」があり、「就きたい」と考え、「魅力がある」と考えていることが示された。なお、図表14の縦軸は、「1点」が「まったく関心がない／まったく就きたくない／まったく魅力がない」で、「5点」が「かなり関心がある／かなり就きたい／かなり魅力がある」の平均値であった。



図表14 介護の業界や介護の仕事に対する意識の首都圏か否かによる違い

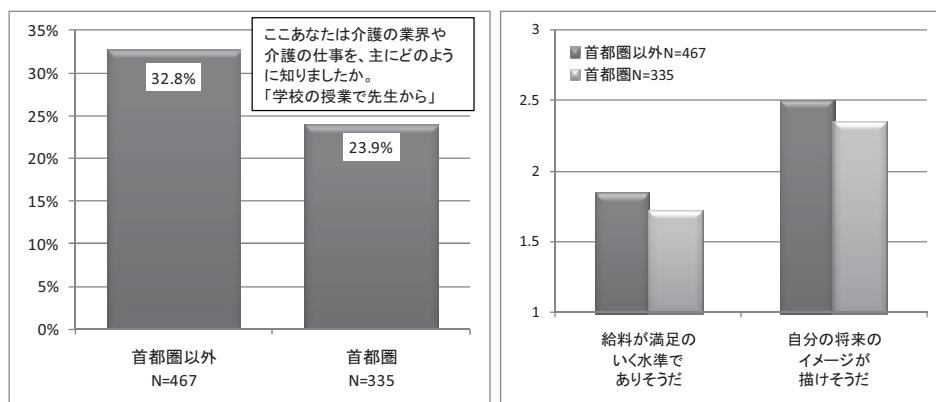
このような結果となる背景として、図表15に示したとおり、首都圏以外の若者の方が身のまわりに介護の仕事についている人が多いということがある。そのため、介護の仕事に馴染みがあるということが考えられる。

図表15 身近に介護の仕事に就いている人の首都圏か否かによる違い

	首都圏 以外 N=467	首都圏 N=335
家族や親戚にいる／いた	12.5%	6.9%
友達や知り合いにいる／いた	23.0%	18.5%
よく分からない	8.4%	6.9%
いない	56.1%	67.8%

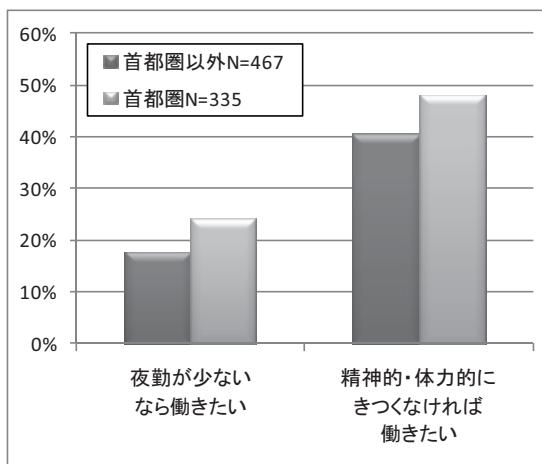
※値の大きい方に網かけを付した。

なお、その他に、首都圏と首都圏以外の若者でみられた違いは、①「学校の授業で先生から」介護の仕事について知った割合、②介護業界を「給料が満足のいく水準である」「自分の将来のイメージが描けそうである」と考える割合であった。図表16に示したとおり、首都圏以外の若者の方が学校の授業で先生から介護の仕事を知った割合が高く、介護業界を肯定的に評価していた。



図表16 介護業界を学校の授業で知った割合(左)および介護業界に対する意識(右)の首都圏か否かによる違い

また、首都圏と首都圏以外の若者を比較した場合、首都圏の若者は「夜勤が少ないなら働きたい」「精神的・体力的にきつくなれば働きたい」と回答する割合が高かった(図表17)。



**図表17 「介護関係の仕事や職場がどのようにあれば介護の仕事に就きたいか」の  
首都圏か否かによる違い**

さらに、介護に関する職場体験等の経験について、首都圏以外の若者は「職場体験学習」で介護を経験している割合が高く、首都圏の若者は「ボランティア」で介護を経験している割合が高かった（図表18）。職場体験学習は、現在、中学校を中心に全国的に取り組まれているが、首都圏では私立学校も多く、介護の職場で体験学習を行う機会が相対的に少ないと考えられる。今後、私立学校等にも何らかの働きかけを行うことを考慮して良い。

また、首都圏以外では「お年寄りの介護」を経験している割合が高かった。

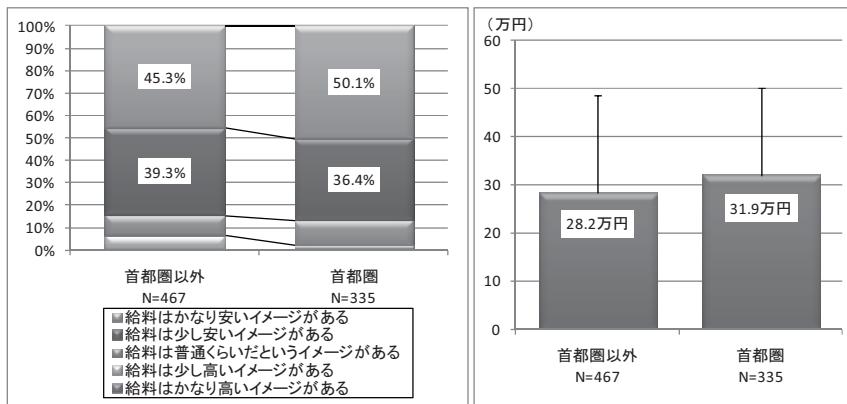
**図表18 介護に関する職場体験等の経験の首都圏か否かによる違い**

介護に関する職場体験等の経験について	首都圏 以外 N=467	首都圏 N=335
何で「職場体験学習で」	47.9%	34.9%
何で「ボランティアで」	40.3%	55.8%
どんなことを「お年寄りの介護」	29.4%	14.0%

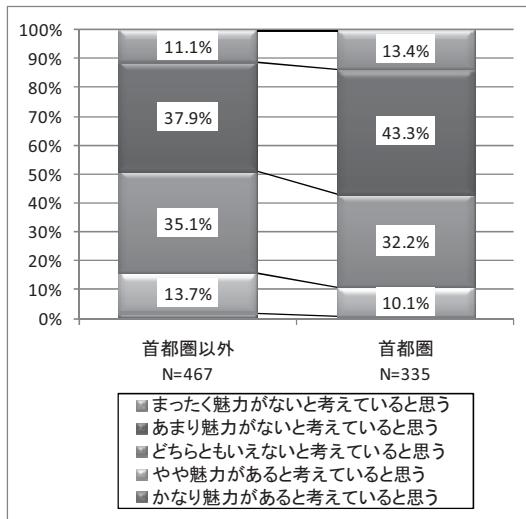
※値の大きい方に網かけを付した。

図表19に示したとおり、給料に関しては、首都圏以外の若者の方が「安いイメージ」であるとする割合が少なかった。また、首都圏以外の若者の方が希望する月給の金額も安かつた。

また、図表20に示したとおり、首都圏以外の若者では、「両親が介護の業界や介護の仕事を就職先として魅力があると考えていると思う」という回答が多かった。



図表19 介護の仕事の給料に対するイメージ(左)および  
介護の仕事をするにあたって希望する月給(右)の首都圏か否かによる違い



図表20 介護の仕事に対するイメージ(左)および  
介護の仕事をするにあたって希望する月給(右)の首都圏か否かによる違い

以上、ここまで、(1)性別による違い、(2)在学中か否かによる違い、(3)首都圏か否かによる違いに関する結果を示した。これら以外の要因でも、様々な要因で介護業界および介護の仕事に対する意識の違いを検討したが、おおむね上記3つの要因による違いが顕著であった。

上記3つの要因による結果は以下の3点に集約される。

**第一に、女性の方が、概して介護業界および介護の仕事に対する意識は高かった。**基本的に、介護の仕事は女性が興味・関心をもちやすい仕事であるということが言える。特に、女性の場合、必ずしも「お金」のための働くという面は強くなく、むしろ介護の仕事を通じて資格を取得し、それを活かすことに関心が高かった。ただし、精神的・体力的なきつさや人間関係などの要因を気がかりに感じている側面もあり、女性が就労しやすい環境を整備するにあたって、そうした面での配慮がなされれば望ましいと言える。

**第二に、在学中か否かでは、既に学校を卒業している既卒者の若者の方が、介護業界お**

より介護の仕事に対する意識は高かった。ただし、既卒者は、在学中の若者に比べれば、「お金」のために働くという意識は強い。また、その他、労働時間や職場の雰囲気などの労働条件面を重視する傾向も強い。既卒者は生活のために働くという面が強いため当然とも言える結果であるが、反面、既卒者の方が介護の仕事をするにあたって希望する給料の額は現実的であり、在学中の若者の方が希望する給料の額は高くなっていた。収入面での改善がより介護の仕事に関心をもってもらうために必要となるのは、学校を卒業した既卒者の若者に対してであることができる。

**第三に、首都圏か否かでは、**首都圏以外の若者の方が、概して介護業界および介護の仕事に対する意識は高かった。その主たる理由として、今回の調査結果からは、首都圏以外の若者の方が、身のまわりの家族や親戚、友人や知り合いなどに介護の仕事に就いている者が多く、そのため介護の仕事が身近なものとして受け止められている割合が高いことがある。また、首都圏以外の若者の方が、学校の授業や職場体験学習などでお年寄りの介護の経験をしている割合も高かった。介護の仕事をするにあたって希望する給料の水準も、首都圏に比べると、相対的に安くても良いとする回答がみられており、首都圏以外の若者の中では、首都圏の若者に比べれば、介護の仕事の相対的な位置づけは高いということが言える結果となった。

以上、女性の活用のためには労働負荷の軽減、人間関係の重視といった配慮が必要であり、既卒の若者の活用のためには収入面での改善がよりいっそう必要となるということが言えるであろう。

#### 4. 介護の仕事に「就きたい」と希望する若者の特徴

先に図表3および図表4で、今回の調査では、介護の仕事に「かなり就きたい」「やや就きたい」と回答した若者が5.1%（41名）いたことを示した。

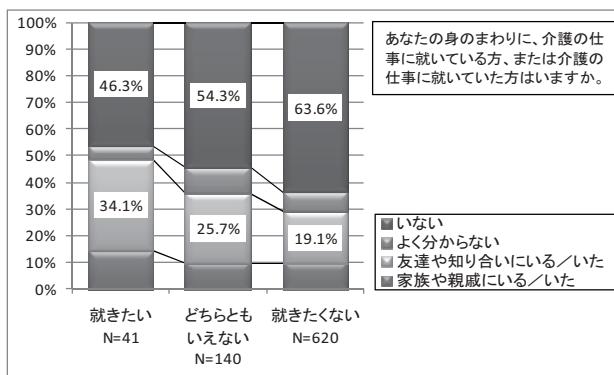
そこで、介護の仕事に「就きたい」と答えたこの41名の若者は、介護の仕事に「就きたくない」または「どちらともいえない」と答えた若者と比べて、どのような点で違いがあるのかを検討することとした。

上記の検討を通じて、介護の仕事に就きたいと考える若者の特徴を明らかにすることによって、介護の業界に対する若者の興味や関心を高め、介護の仕事に就きたいと考える若者を増やすための手がかりが得られるものと考えられる。

##### (1)「身のまわりに介護の仕事に就いていた人がいたか、介護をうけていた人がいたか」

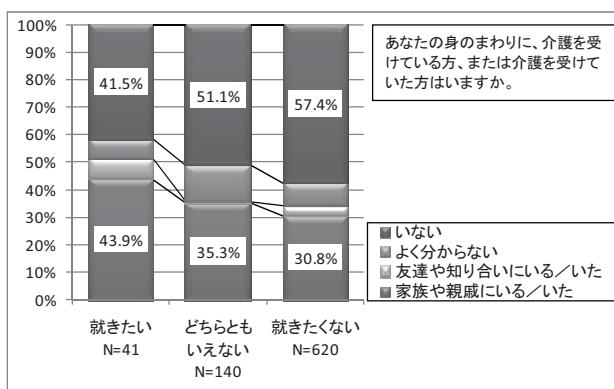
まず、はじめに「身のまわりに介護の仕事についていた人がいたか、介護をうけていた人がいたか」を取り上げる。

図表21に示したとおり、介護の仕事に「就きたい」と思う若者は、身のまわりに介護の仕事に就いていた人がいる割合が多い。



図表21 「身の回りに介護の仕事に就いている人がいるか否か」の就職希望別の違い

また、図表22に示したとおり、介護の仕事に「就きたい」と思う若者は、身のまわりに介護を受けていた人が多い。特に、「家族や親戚にいる／いた」という回答が多い。



図表22 「身の回りに介護を受けている人がいるか否か」の就職希望別の違い

図表23でさらに掘り下げて検討した結果、「家族や親戚」または「友達や知り合い」に介護の仕事に就いている人がいた回答者は、総じて、介護の業界や介護の仕事に対する意識が高く、介護の仕事に関心をもっているようであった。

図表23 介護の業界や介護の仕事に対する意識の  
「身の回りに介護の仕事に就いている人がいるか否か」による違い

あなたの身のまわりに、介護の仕事に就いている方、または介護の仕事に就いていた方はいますか。	家族や親戚にいる／いた N=81	友達や知り合いにいる／いた N=169	よく分からぬ N=62	いない N=488	
あなたは介護や介護の仕事をどのくらい知っていますか。	かなり知っている+やや知っている	56.8%	53.3%	29.0%	29.1%
あなたは介護や介護の仕事をどのくらい関心がありますか。	かなり関心がある+やや関心がある	35.8%	42.0%	21.0%	21.3%
あなたは介護の仕事へ就きたいと考えていますか。	かなり就きたい+やや就きたい	7.4%	8.3%	3.2%	3.9%
介護の業界や介護の仕事は、就職先としてどの程度魅力がありますか。	かなり魅力がある+やや魅力がある	14.8%	24.9%	3.2%	8.0%
介護の業界や介護の仕事は、どのくらい資格や専門知識が必要だと思いますか。	かなり必要があると思う+やや必要があると思う	96.3%	94.6%	82.2%	92.5%
あなたは、ご自身の友達が介護分野や介護の仕事に就きたいと言ったら賛成しますか。	かなり賛成する+やや賛成する	51.9%	58.0%	43.5%	41.6%
あなたは、介護の仕事はどのくらい社会に必要だと思いますか。	かなり必要であると思う+やや必要であると思う	100.0%	97.0%	93.5%	96.9%

※各質問項目で最も大きな値に網掛けを付した。

また、図表24に示したとおり、介護を受けている人が「家族や親戚にいる」「友達や知り合いにいる」回答者も、総じて、介護の業界や介護の仕事に対する意識が高く、介護の仕事に関心をもっているようであった。

**図表24 介護の業界や介護の仕事に対する意識の  
「身の回りに介護を受けている人がいるか否か」による違い**

あなたの身のまわりに、介護を受けている方、または介護を受けていた方はいますか。	家族や親戚にいる／いた N=258	友達や知り合いにいる／いた N=25	よく分かららない N=73	いない N=445
あなたは介護や介護の仕事をどのくらい知っていますか	かなり知っている+やや知っている 48.0%	60.0%	27.4%	30.6%
あなたは介護や介護の仕事にどのくらい関心がありますか	かなり関心がある+やや関心がある 40.0%	28.0%	23.3%	20.0%
あなたは介護の仕事へ就きたいと考えていますか	かなり就きたい+やや就きたい 7.0%	12.0%	4.1%	3.8%
介護の業界や介護の仕事は、就職先としてどの程度魅力がありますか	かなり魅力がある+やや魅力がある 15.1%	12.0%	12.3%	9.7%
介護の業界や介護の仕事は、どのくらい資格や専門知識が必要だと思いますか	かなり必要があると思う+やや必要があると思う 96.5%	92.0%	89.1%	90.7%
あなたは、ご自身の友達が介護分野や介護の仕事に就きたいと言ったら賛成しますか	かなり賛成する+やや賛成する 50.0%	40.0%	49.4%	43.6%
あなたは、介護の仕事はどのくらい社会に必要だと思いますか	かなり必要であると思う+やや必要であると思う 97.7%	96.0%	93.2%	97.3%

※各質問項目で最も大きな値に網かけを付した。

## (2)介護の業界や介護の仕事をどのように知ったか

次に、介護の業界や介護の仕事をどのように知ったかについて検討した。

図表25に示したとおり、介護の仕事に「就きたい」と思う若者は、全般的に様々な人・媒体・メディアを通じて介護の仕事を知ったようであるが、特に、「親と話をして」「職場体験やボランティアで」「学校の授業で先生から」介護の業界や介護の仕事を知った割合が高い。

それに対して、介護の仕事に「就きたくない」と思う若者は、「本、映画、テレビから」介護の業界や介護の仕事を知った割合が高いのが特徴である。

**図表25 「介護の仕事をどのように知ったか」の就職希望別の違い**

	どちらともいえない N=41	就きたい N=140	就きたくない N=620	就きたいー就きたくない (差)
親と話をして	53.8%	35.0%	24.4%	<b>29.4%</b>
兄弟姉妹や親戚と話をして	24.4%	12.1%	8.2%	16.2%
友達同士で話をして	31.7%	23.6%	20.0%	11.7%
先輩と話をして	12.2%	7.1%	2.7%	9.5%
職場体験やボランティアで	51.2%	30.7%	18.4%	<b>32.8%</b>
学校の授業で先生から	53.7%	35.0%	26.0%	<b>27.7%</b>
本、映画、テレビから	43.9%	57.9%	67.4%	-23.5%
その他	7.3%	2.1%	6.3%	1.0%

※各質問項目で最も大きな値に網かけを付した。

上記の点について、さらに掘り下げて検討を行うために「親と話をして」介護業界を知

った若者とそれ以外の若者を比較した。その結果、図表26に示したとおり、「親と話をして」介護業界を知ったと回答した者は、概して介護業界や介護の仕事に対する評価が高い。

なお、「親と話をして」介護業界を知ったと回答した若者とそれ以外の若者は、家族や親戚に介護の仕事に就いていたか介護を受けていた割合で特に差が大きく開いており、親を中心に家族全体が介護に馴染みが深かったことも推察される。

**図表26 介護の業界や介護の仕事に対する意識の  
「親と話をして」介護業界を知った回答者とそれ以外の回答者の違い**

あなたは介護の業界や介護の仕事を、主にどのように知りましたか。	親と話をして N=222	それ以外 N=580	(差)
あなたは介護や介護の仕事をどのくらい知っていますか	かなり知っている+やや知っている	50.5%	31.8%
あなたは介護や介護の仕事にどのくらい関心がありますか	かなり関心がある+やや関心がある	39.2%	22.4%
あなたは介護の仕事へ就きたいと考えていますか	かなり就きたい+やや就きたい	9.9%	3.3%
あなたは身のまわりに、介護の仕事に就いている方、または介護の仕事に就いていた方はいますか	家族や親戚にいた	19.4%	6.6%
あなたの身のまわりに、介護を受けている方、または介護を受けていた方はいますか	家族や親戚にいた	45.9%	26.9%
介護の業界や介護の仕事は、就職先としてどの程度魅力がありますか	かなり魅力がある+やや魅力がある	17.2%	9.8%
介護の業界や介護の仕事は、どのくらい資格や専門知識が必要だと思いますか	かなり必要があると思う+やや必要があると思う	95.9%	91.2%
あなたは、ご自身の友達が介護分野や介護の仕事に就きたいと言ったら賛成しますか	かなり賛成する+やや賛成する	48.2%	45.4%
あなたは、介護の仕事はどのくらい社会に必要だと思いますか	かなり必要であると思う+やや必要であると思う	98.0%	96.7%

※(差)が10%以上の箇所に網掛けを付した。

同様に、「学校の授業で先生から」介護業界を知ったと回答した若者について、それ以外の若者と比較した。その結果、図表27に示したとおり、「学校の授業で先生から」介護業界を知ったと回答した者は、概して介護業界や介護の仕事に対する評価が高かった。「学校の授業で先生から」介護業界を知ったと回答した若者とそれ以外の若者では、「友人が介護の仕事に就きたいと言ったら賛成するか」「魅力はあるか」といった介護の仕事を選好する程度で差が大きく開いているようであった。

上述の「親と話して」「学校の授業で先生から」介護業界を知ったと回答した若者と比較するために、「本、映画、テレビから」介護業界を知ったと回答した若者とそれ以外の若者も比較した。その結果、図表28に示したとおり、「本、映画、テレビから」介護業界を知ったと回答した者は、それ以外の者に比べて、概して、介護業界や介護の仕事に対する評価が低かった。特に「介護の仕事をどの程度知っているか」で差が大きく開いていたことから、「本、映画、テレビ」だけでは介護の仕事を知るのに十分ではないものと推測される。

**図表27 介護の業界や介護の仕事に対する意識の  
「学校の授業で先生から」介護業界を知った回答者とそれ以外の回答者の違い**

あなたは介護の業界や介護の仕事を、主にどのように知りましたか。	学校の授業で先生から N=233	それ以外 N=569	(差)
あなたは介護や介護の仕事をどのくらい知っていますか	かなり知っている+やや知っている	45.1%	33.6%
あなたは介護や介護の仕事にどのくらい関心がありますか	かなり関心がある+やや関心がある	34.3%	24.1%
あなたは介護の仕事へ就きたいと考えていますか	かなり就きたい+やや就きたい	9.5%	3.3%
あなたは身のまわりに、介護の仕事に就いている方、または介護の仕事に就いていた方はいますか	友達や知り合いにいた	26.2%	19.0%
あなたの身のまわりに、介護を受けている方、または介護を受けていた方はいますか	家族や親戚にいた	35.3%	30.9%
介護の業界や介護の仕事は、就職先としてどの程度魅力がありますか	かなり魅力がある+やや魅力がある	19.8%	8.6%
介護の業界や介護の仕事は、どのくらい資格や専門知識が必要だと思いますか	かなり必要があると思う+やや必要があると思う	94.5%	91.7%
あなたは、ご自身の友達が介護分野や介護の仕事に就きたいと言ったら賛成しますか	かなり賛成する+やや賛成する	58.4%	41.2%
あなたは、介護の仕事はどのくらい社会に必要だと思いますか	かなり必要であると思う+やや必要であると思う	99.2%	96.1%

※(差)が10%以上の箇所に網かけを付した。

**図表28 介護の業界や介護の仕事に対する意識の  
「本、映画、テレビから」介護業界を知った回答者とそれ以外の回答者の違い**

あなたは介護の業界や介護の仕事を、主にどのように知りましたか。	本、映画、テレビから N=517	それ以外 N=285	(差)
あなたは介護や介護の仕事をどのくらい知っていますか	かなり知っている+やや知っている	31.3%	47.0%
あなたは介護や介護の仕事にどのくらい関心がありますか	かなり関心がある+やや関心がある	30.1%	30.6%
あなたは介護の仕事へ就きたいと考えていますか	かなり就きたい+やや就きたい	3.5%	8.1%
あなたは身のまわりに、介護の仕事に就いている方、または介護の仕事に就いていた方はいますか	友達や知り合いにいた	17.1%	28.5%
あなたの身のまわりに、介護を受けてている方、または介護を受けていた方はいますか	家族や親戚にいた	27.5%	40.8%
介護の業界や介護の仕事は、就職先としてどの程度魅力がありますか	かなり魅力がある+やや魅力がある	9.3%	16.5%
介護の業界や介護の仕事は、どのくらい資格や専門知識が必要だと思いますか	かなり必要があると思う+やや必要があると思う	91.7%	94.1%
あなたは、ご自身の友達が介護分野や介護の仕事に就きたいと言ったら賛成しますか	かなり賛成する+やや賛成する	43.9%	50.2%
あなたは、介護の仕事はどのくらい社会に必要だと思いますか	かなり必要であると思う+やや必要であると思う	98.5%	94.4%

※(差)が10%以上の箇所に網かけを付した。

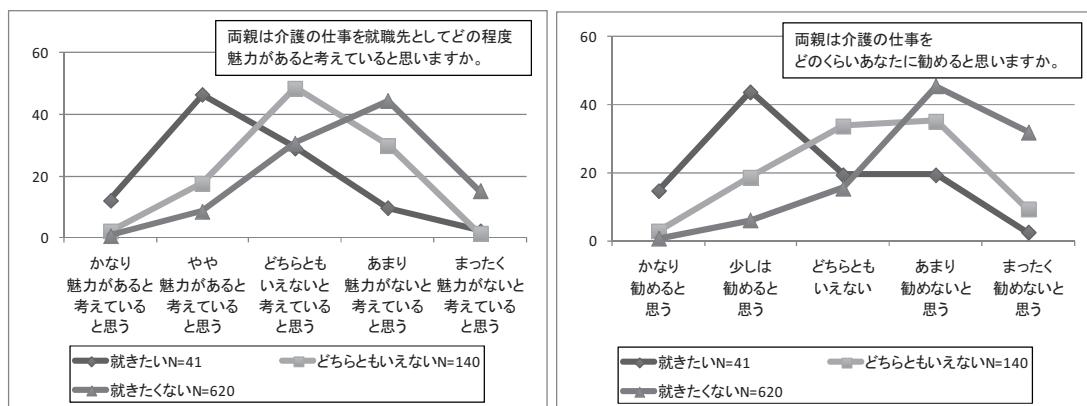
以上、「親と話して」「学校の授業で先生から」「本、映画、テレビから」の結果からは、(1) 学校の授業で先生からのプラス効果が大きく、(2) 本・映画・テレビからのマイナス効果が大きいということが示される。子どもが職業について学校の先生の影響を受けやすいことが明らかになったことから、今後、学校の先生が介護の知識を得て、子ども達に仕事の魅力を紹介していくことが対策として考えられる。また、テレビ等の報道の内容には改めてマイナス面に偏っていないか等の注意が必要となるであろう。

### (3) 家族の影響および友人の影響

家族の影響および友人の影響を検討するために、まず、両親が介護の仕事を就職先としてどの程度魅力があると考えていると思うか、また、両親は介護の仕事をどのくらい勧めると思うかについて、介護の仕事に「就きたい」と思う若者と「就きたくない」若者、どちらともいえない若者を比較した。

その結果、図表29に示したとおり、介護の仕事に「就きたい」と思う若者では「やや魅力があると考えていると思う」「少しあは勧めると思う」という回答が最も多かったのに対して、「就きたくない」と思う若者では「あまり魅力がないと考えていると思う」「あまり勧めないとと思う」という回答が多かった。

介護の仕事に「就きたい」と考えている若者は、両親が介護の仕事に魅力があると考えており、介護の仕事を勧めると考えていることが示された。

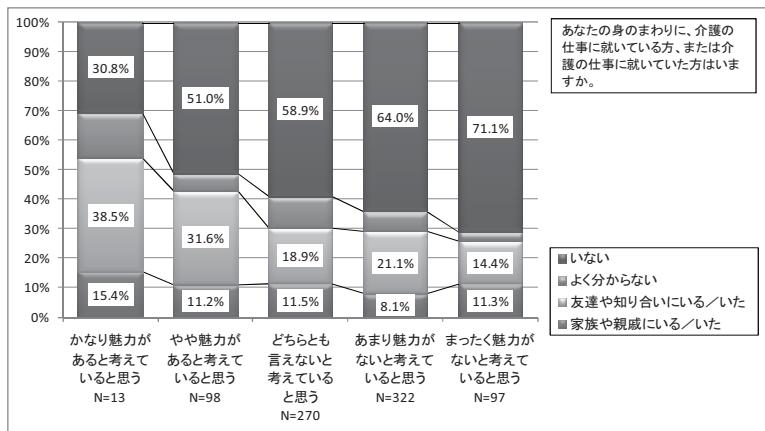


図表29 「両親は介護の仕事を魅力的と考えているか」(左)、  
「両親は介護の仕事をどのくらい勧めると思うか」の就職希望別の違い

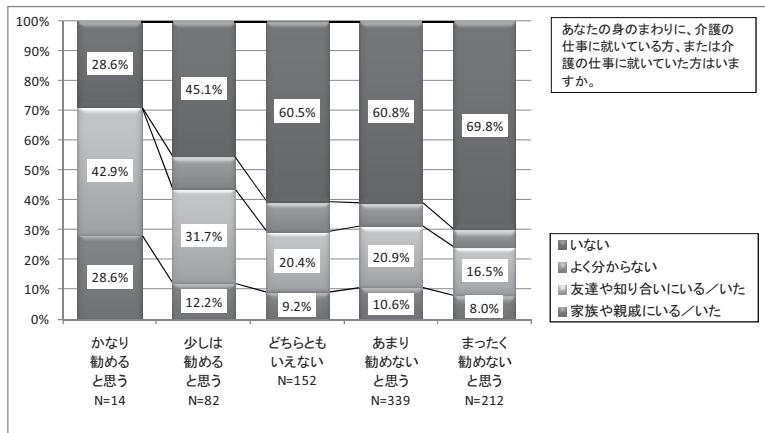
ちなみに、図表30および図表31に示すとおり、「両親は介護の仕事を魅力的と考えていると思う」と答えた若者および「両親は介護の仕事を勧めると思う」と答えた若者は、身のまわりに家族や親戚、友人や知り合いなど、何らかの形で身近に介護の仕事に就いている人がいる割合が高かった。

例えば、図表30では、両親は介護の仕事を「かなり魅力があると考えていると思う」では身のまわりに介護の仕事に就いている人が「友達や知り合いにいる」という回答が38.5%となっている。同様に、図表31では、両親は介護の仕事を「かなり勧めるとと思う」では「友達や知り合いにいる」という回答が42.9%となっている。

「家族や親戚にいる」という回答についても、図表30および図表31では同じ傾向がみられており、身近に介護の仕事についている人がいるということと、両親が介護の仕事に肯定的であるということ、さらには、本人が介護の仕事に就きたいと思うことの間には密接な関連があることがうかがえる。

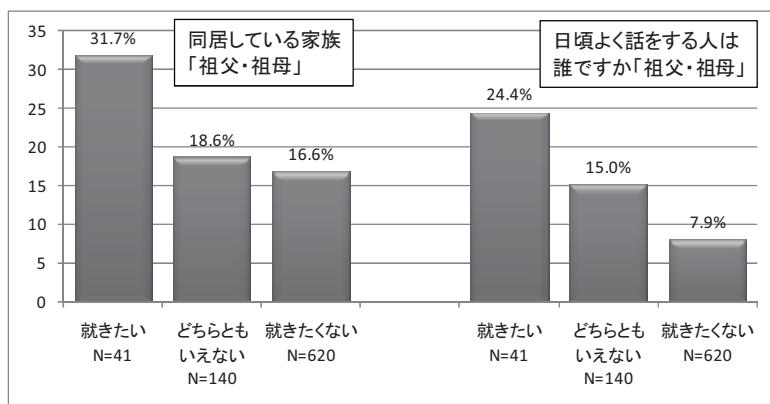


図表30 「身のまわりに介護の仕事に就いている人がいるか否か」の  
「両親は介護の仕事を魅力的と考えているか」別にみた違い



図表31 「身のまわりに介護の仕事に就いている人がいるか否か」の  
「両親は介護の仕事を勧めるか」別にみた違い

なお、介護の仕事に「就きたい」と思う若者は、図表32に示すとおり、「祖父・祖母」と同居している割合が高く、「祖父・祖母」と日頃よく話をしている割合も高かった。



図表32 同居している家族、日頃よく話をする人の就職希望別の違い

さらに掘り下げて検討した結果、「祖父母と同居」と答えた回答者は、図表33に示すとおり、介護や介護の仕事に対する関心が高く、介護の仕事に魅力があると回答する割合が高かった

**図表33 介護の業界や介護の仕事に対する意識の祖父・祖母と同居か否かによる違い**

あなたが同居している家族について、あてはまるものを全てお答えください N=143	祖父、祖母と同居せず N=658	(差)
あなたは介護や介護の仕事をどのくらい知っていますか	かなり知っている+やや知っている	40.6% 36.0% 4.6%
あなたは介護や介護の仕事にどのくらい関心がありますか	かなり関心がある+やや関心がある	37.1% 24.9% 12.2%
あなたは介護の仕事へ就きたいと考えていますか	かなり就きたい+やや就きたい	9.1% 4.3% 4.8%
介護の業界や介護の仕事は、就職先としてどの程度魅力がありますか	かなり魅力がある+やや魅力がある	17.5% 10.7% 6.8%
介護の業界や介護の仕事は、どのくらい資格や専門知識が必要だと思いますか	かなり必要があると思う+やや必要があると思う	91.0% 92.8% -1.8%
あなたは、ご自身の友達が介護分野や介護の仕事を就きたいと言ったら賛成しますか	かなり賛成する+やや賛成する	44.8% 46.5% -1.7%
あなたは、介護の仕事はどのくらい社会に必要だと思いますか	かなり必要であると思う+やや必要であると思う	97.9% 96.8% 1.1%

※(差)が5%以上の箇所に網かけを付した。

同様に、「祖父母とよく話をする」と答えた回答者は、図表34に示すとおり、介護や介護の仕事をよく知っており、介護の仕事に対する関心が高く、介護の仕事に就きたいと考え、介護の仕事に魅力があると回答する割合が高かった

**図表34 介護の業界や介護の仕事に対する意識の祖父・祖母とよく話をするか否かによる違い**

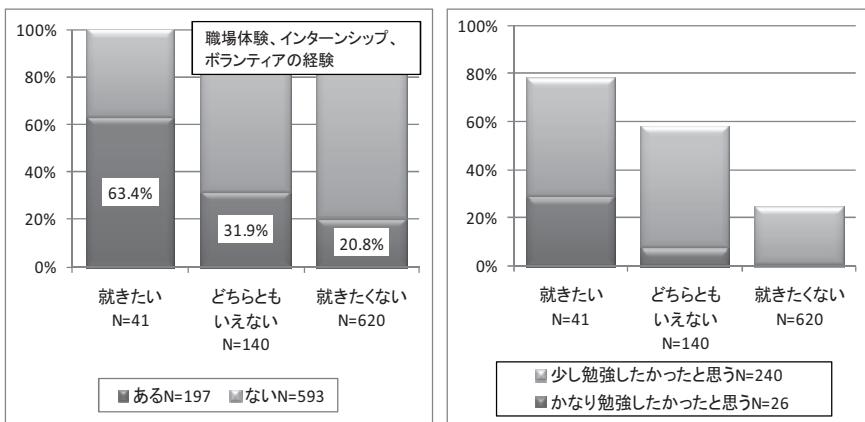
日頃の生活でよく話をする人は誰ですか N=80	祖父、祖母とよく話をする N=720	(差)
あなたは介護や介護の仕事をどのくらい知っていますか	かなり知っている+やや知っている	47.5% 35.7% 11.8%
あなたは介護や介護の仕事にどのくらい関心がありますか	かなり関心がある+やや関心がある	35.1% 25.1% 10.0%
あなたは介護の仕事へ就きたいと考えていますか	かなり就きたい+やや就きたい	12.5% 4.3% 8.2%
介護の業界や介護の仕事は、就職先としてどの程度魅力がありますか	かなり魅力がある+やや魅力がある	20.0% 11.0% 9.0%
介護の業界や介護の仕事は、どのくらい資格や専門知識が必要だと思いますか	かなり必要があると思う+やや必要があると思う	95.0% 92.3% 2.7%
あなたは、ご自身の友達が介護分野や介護の仕事を就きたいと言ったら賛成しますか	かなり賛成する+やや賛成する	48.8% 45.9% 2.9%
あなたは、介護の仕事はどのくらい社会に必要だと思いますか	かなり必要であると思う+やや必要であると思う	97.5% 96.0% 1.5%

※(差)が5%以上の箇所に網かけを付した。

#### (4)学校における職場体験やボランティアの影響

学校における職場体験やボランティアの影響について検討を行った。

その結果、介護の仕事に「就きたい」と思う若者は、学校で介護の仕事を体験している割合が高く（図表35左）、また、もっと勉強したかったと考えている（図表35右）ことが示された。



**図表35 介護に関する職場体験・インターンシップ・ボランティアの経験(左)、介護の仕事を勉強したかったと考える割合(右)の就職希望別の違い**

また、これまでに、介護に関する職場体験、インターンシップ、ボランティアの経験がある若者は、図表36に示したとおり、総じて、介護業界や介護の仕事に対する評価が高かった。

特に、経験の「あり」の若者と「なし」の若者で差が大きいのは、介護の仕事をどのくらい「知っているか」であり、経験のある若者とない若者では30%以上の開きがあった。同様に、「介護の仕事にどの程度関心があるか」「友達が介護の仕事をすると言ったら賛成するか」といった質問に対する回答でも経験のある若者とない若者で開きがみられた。

**図表36 介護に関する職場体験・インターンシップ・ボランティアの経験の有無別の介護の業界や介護の仕事に対する意識**

あなたは介護に関する職場体験、インターンシップ、ボランティアなどの経験がありますか	あり N=197	なし N=594	(差)
あなたは介護や介護の仕事をどのくらい知っていますか	かなり知っている+やや知っている	59.9%	29.3%
あなたは介護や介護の仕事をどのくらい関心がありますか	かなり関心がある+やや関心がある	45.7%	20.8%
あなたは介護の仕事へ就きたいと考えていますか	かなり就きたい+やや就きたい	13.2%	2.5%
あなたは身のまわりに、介護の仕事に就いている方、または介護の仕事に就いていた方はいますか	友達や知り合いにいた	34.5%	16.4%
あなたの身のまわりに、介護を受けている方、または介護を受けていた方はいますか	家族や親戚にいた	37.8%	30.1%
介護の業界や介護の仕事は、どのくらい資格や専門知識が必要だと思いますか	かなり魅力がある+やや魅力がある	24.4%	7.7%
あなたは、ご自身の友達が介護分野や介護の仕事に就きたいと言ったら賛成しますか	かなり賛成する+やや賛成する	60.4%	41.4%
あなたは、介護の仕事はどのくらい社会に必要だと思いますか	かなり必要であると思う+やや必要であると思う	97.4%	96.8%

※(差)が10%以上の箇所に網かけを付した。

介護に関する職場体験・インターンシップ・ボランティアをどの年代で経験したかによって、介護の仕事に対する意識の違いを検討した結果、総じて言えば、「大学生の頃」のように、学校段階が上になってから体験した若者の方が介護の仕事に対する意識は高いよう

であった。これは、学校段階が上になればなるほど、介護に興味・関心のある若者が自発的・自覚的に介護の仕事を体験したり、実習を行ったり、ボランティアをするといったことが多くなるからであると解釈できる。

ただし、どの年代で経験していたとしても、何も経験していない「経験なし」よりは、**介護に対する意識は全般的に高いことが分かる**。小学生の頃、中学生の頃の体験は必ずしも自発的・自覚的に行ったのではないとも思われるが、それでも「経験なし」よりは意識が全般的に高い。改めて、介護に関する職場体験・インターンシップ・ボランティアを経験することの意義が示されたと言える。特に、**小学生の頃または中学生の頃に体験したと回答した者は「友達が介護の仕事に就きたいと言ったら賛成するか」に肯定的に回答する割合が高かった**。この点について、高齢者とのふれあいの中で、人に喜ばれることを体験し、役に立つことをうれしく感じることは記憶に強く残るとも言われている。純粋な小学生、多感な中学生にとって、介護施設を訪問し、お年寄りと触れ合うといった職場体験をすることは、たとえ自発的・自覚的でなくても影響力は大きい。小中学生時代の体験の重要性が示されたと言えよう。

**図表37 介護に関する職場体験・インターンシップ・ボランティアをいつ経験したか別の  
介護の業界や介護の仕事に対する意識**

あなたは介護に関する職場体験、インターンシップ、ボランティアなどの経験がありますか「いつ経験しましたか」	小学生の頃 N=37	中学生の頃 N=61	高校生の頃 N=41	大学生の頃 N=44	経験なし N=594
あなたは介護や介護の仕事をどのくらい知っていますか	かなり知っている+やや知っている	48.6%	50.8%	61.0%	72.7% <u>29.3%</u>
あなたは介護や介護の仕事にどのくらい関心がありますか	かなり関心がある+やや関心がある	35.1%	34.4%	46.3%	61.4% <u>20.8%</u>
あなたは介護の仕事へ就きたいと考えていますか	かなり就きたい+やや就きたい	2.7%	9.8%	14.7%	22.7% <u>2.5%</u>
あなたは身のまわりに、介護の仕事に就いている方、または介護の仕事に就いていた方はいますか	友達や知り合いにいた	24.3%	23.0%	53.7%	36.4% <u>16.4%</u>
あなたの身のまわりに、介護を受けている方、または介護を受けていた方はいますか	家族や親戚にいた	45.9%	<u>29.5%</u>	41.5%	34.9% 30.1%
介護の業界や介護の仕事は、就職先としてどの程度魅力がありますか	かなり魅力がある+やや魅力がある	10.8%	18.0%	26.9%	38.6% <u>7.7%</u>
介護の業界や介護の仕事は、どのくらい資格や専門知識が必要だと思いますか	かなり必要があると思う+やや必要があると思う	94.6%	<u>90.2%</u>	97.6%	97.7% 92.1%
あなたは、ご自身の友達が介護分野や介護の仕事に就きたいと言ったら賛成しますか	かなり賛成する+やや賛成する	62.2%	<u>70.5%</u>	58.6%	50.0% <u>41.4%</u>
あなたは、介護の仕事はどのくらい社会に必要だと思いますか	かなり必要であると思う+やや必要であると思う	100.0%	98.4%	97.5%	95.5% 96.8%

※各項目で最も値が高い欄に網掛けを付した。また、最も値が低い欄に下線を付した。

図表38は、どのような形で介護の経験したかをたずねた回答と、介護に対する意識を検討した結果である。どの質問項目でも「その他」の回答が多くなっていた。その他の回答欄にあった自由記述欄を調べたところ、「その他」の回答はおもに大学や専門学校での「実習」が中心であった。大学や専門学校での実習は、もともと介護の仕事に就く予定の学生が行うので、全般的に介護に対する意識が高いという結果となったと推察される。

ただし、やはり、ここでも、全く「経験なし」の若者よりは、職場体験・インターンシップ、ボランティアなどどのような形であっても、何らかの形で介護を経験している場合には、介護に対する意識が高いことが示されてた。学校段階で何らかの形で介護を経験しておくことが、介護の仕事に対する意識全般を高めるということが示される結果となっている。

図表39は、介護に関する職場体験・インターンシップ、ボランティアで何を経験したか別に介護の仕事に対する意識を検討した結果である。基本的に、**介護の仕事を直接体験した若者が全般的に最も介護に対する意識が高い**。ただし、ここでも、「話し相手・掃除その他」といった直接、介護に関連のない補助的な仕事の体験であっても、介護関連の仕事であれば、全く「経験なし」よりは介護に対する意識が高くなっているのが分かる。

**図表38 介護に関する職場体験・インターンシップ・ボランティアを何で経験したか別の  
介護の業界や介護の仕事に対する意識**

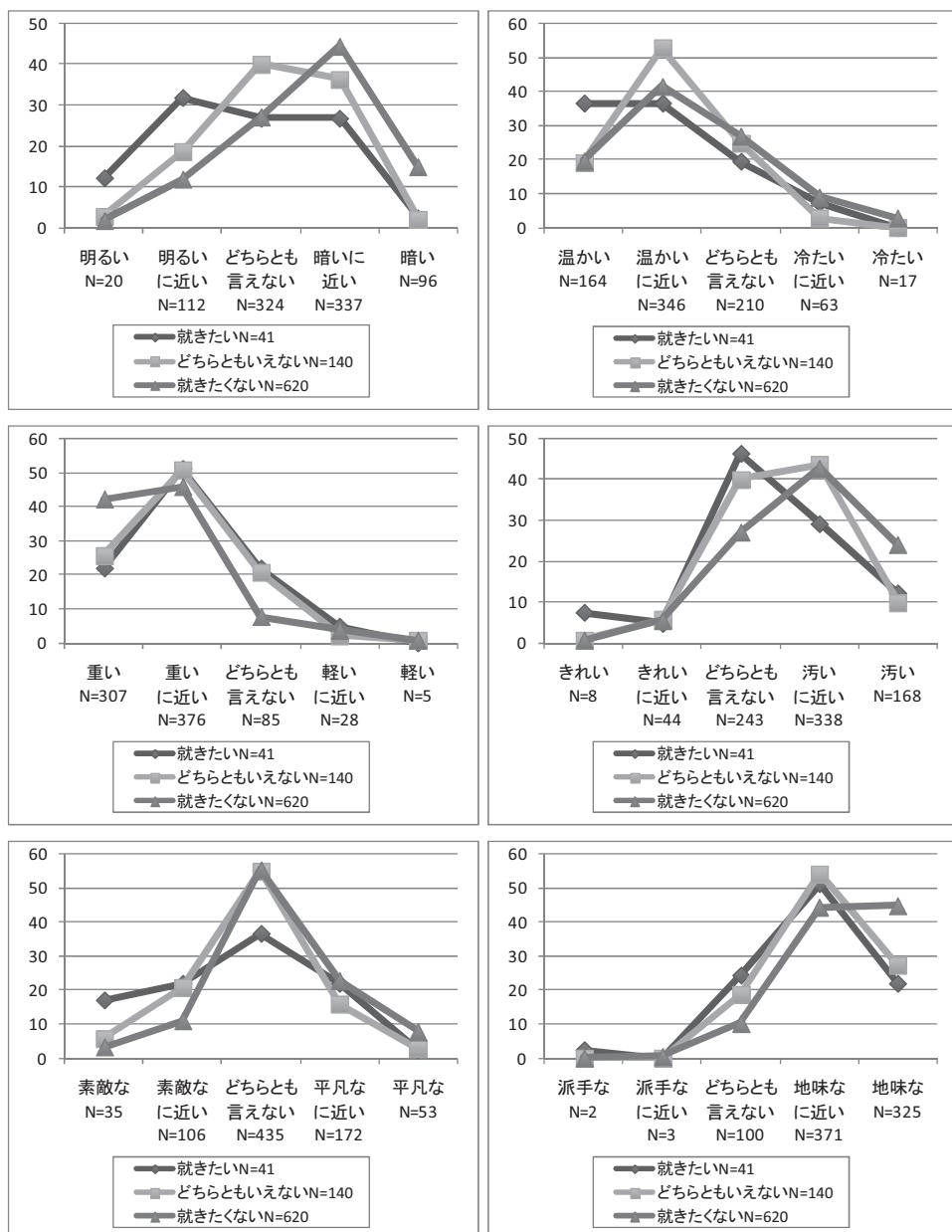
あなたは介護に関連する職場体験、インターンシップ、ボランティアなどの経験がありますか 「何で経験しましたか」	職場体験・インター ンシップで N=81	ボラン ティアで N=94	その他の (実習等) N=30	経験なし N=594
あなたは介護や介護の仕事をどのくらい知っていますか	かなり知っている+やや知っている	53.1%	58.5%	80.0% <u>29.3%</u>
あなたは介護や介護の仕事にどのくらい関心がありますか	かなり関心がある+やや関心がある	39.5%	45.7%	56.7% <u>20.8%</u>
あなたは介護の仕事へ就きたいと考えていますか	かなり就きたい+やや就きたい	7.4%	14.9%	20.0% <u>2.5%</u>
あなたは身のまわりに、介護の仕事に就いている方、または介護の仕事に就いていた方はいますか	友達や知り合いにいた	22.2%	42.6%	46.7% <u>16.4%</u>
あなたの身のまわりに、介護を受けている方、または介護を受けていた方はいますか	家族や親戚にいた	37.0%	36.2%	51.7% <u>30.1%</u>
介護の業界や介護の仕事は、就職先としてどの程度魅力がありますか	かなり魅力がある+やや魅力がある	18.5%	25.5%	33.3% <u>7.7%</u>
介護の業界や介護の仕事は、どのくらい資格や専門知識が必要だと思いますか	かなり必要があると思う+やや必要があると思う	96.3%	91.5%	93.3% 92.1%
あなたは、ご自身の友達が介護分野や介護の仕事に就きたいと言つたら賛成しますか	かなり賛成する+やや賛成する	61.7%	62.8%	50.0% <u>41.4%</u>
あなたは、介護の仕事はどのくらい社会に必要だと思いますか	かなり必要であると思う+やや必要であると思う	97.5%	96.8%	100.0% 96.8%

**図表39 介護に関する職場体験・インターンシップ・ボランティアでどんなことを経験したか別の  
介護の業界や介護の仕事に対する意識**

あなたは介護に関連する職場体験、インターンシップ、ボランティアなどの経験がありますか 「どんなことを経験しましたか」	話し相手 掃除 その他の N=45	介護 N=45	経験なし N=594
あなたは介護や介護の仕事をどのくらい知っていますか	かなり知っている+やや知っている	56.3%	71.1% <u>29.3%</u>
あなたは介護や介護の仕事にどのくらい関心がありますか	かなり関心がある+やや関心がある	41.9%	55.5% <u>20.8%</u>
あなたは介護の仕事へ就きたいと考えていますか	かなり就きたい+やや就きたい	10.6%	20.0% <u>2.5%</u>
あなたは身のまわりに、介護の仕事に就いている方、または介護の仕事に就いていた方はいますか	友達や知り合いにいた	35.0%	35.6% <u>16.4%</u>
あなたの身のまわりに、介護を受けている方、または介護を受けていた方はいますか	家族や親戚にいた	39.4%	36.4% <u>30.1%</u>
介護の業界や介護の仕事は、就職先としてどの程度魅力がありますか	かなり魅力がある+やや魅力がある	21.9%	31.1% <u>7.7%</u>
介護の業界や介護の仕事は、どのくらい資格や専門知識が必要だと思いますか	かなり必要があると思う+やや必要があると思う	93.2%	95.6% 92.2%
あなたは、ご自身の友達が介護分野や介護の仕事に就きたいと言つたら賛成しますか	かなり賛成する+やや賛成する	60.3%	58.8% <u>41.4%</u>
あなたは、介護の仕事はどのくらい社会に必要だと思いますか	かなり必要であると思う+やや必要であると思う	98.8%	93.4% 96.8%

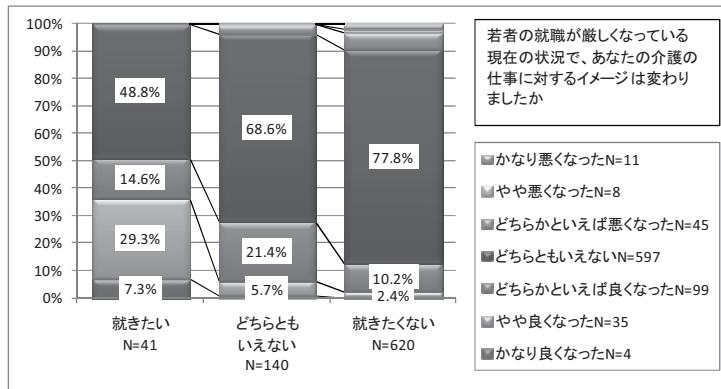
## (5)介護業界および介護のイメージに対するイメージ

介護の仕事に対するイメージをたずねた結果、図表40に示したとおり、介護の仕事に「就きたい」と思う若者は「明るい」「温かい」「素敵」などと捉えていた。一方、介護の仕事に「就きたくない」と思う若者は「暗い」「重い」「汚い」「地味」などと捉えていた。



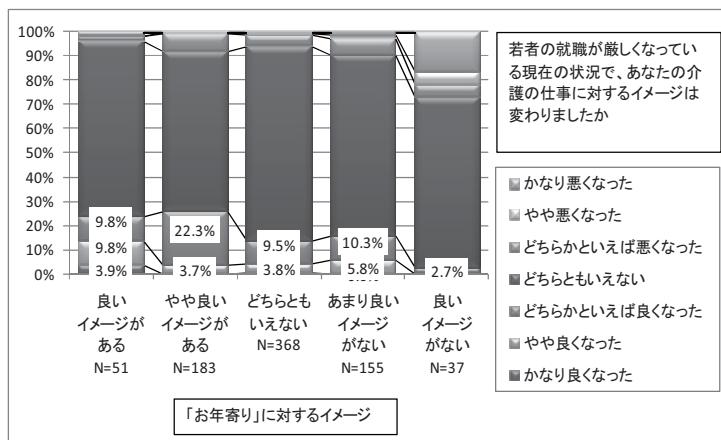
図表40 介護業界および介護の仕事に対するイメージの就職希望別の違い

現在、若者の就職が厳しくなっている状況があるが、この状況下で介護の仕事に対するイメージが良い方向に変化した若者は、図表41に示したとおり、介護の仕事に「就きたい」と考えている若者が多い。介護の仕事のイメージが良い方向に変化した結果、介護の仕事に就きたいと考えるようになったと考えられるが、もともと介護との仕事に就きたいと考えていた若者の介護に対するイメージがよりいっそう良くなつたとも考えられる。



図表41 「介護業界および介護の仕事に対するイメージの変化」の就職希望別の違い

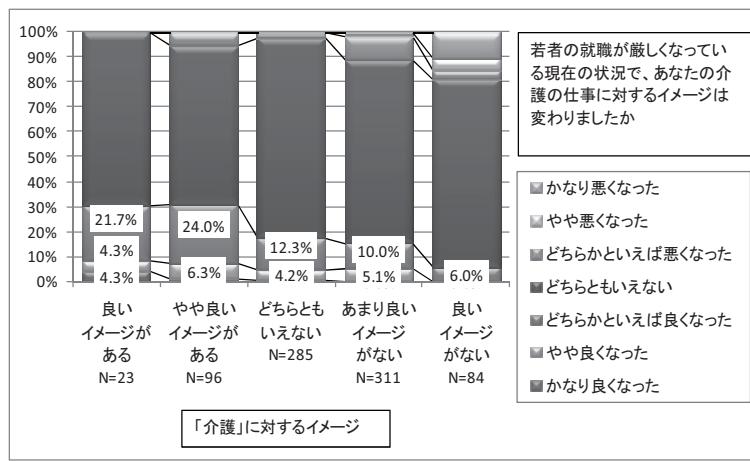
ただし、図表42の結果に示すとおり、現在、介護の仕事に対するイメージが良い方向に変化した若者には、もともと「お年寄り」に良いイメージをもっている若者が多い。



図表42 「お年寄り」に対するイメージ変化の  
「介護業界および介護の仕事に対するイメージの変化」別の違い

また、図表43に示したとおり、現在、介護の仕事に対するイメージが良い方向に変化した若者には、もともと「介護」に良いイメージをもっている若者が多い。

ここまで結果のみでは確かなことが言えないが、若者の就職が厳しくなっている現在の状況下でも、介護の仕事のイメージがあまり良い方向に変化しなかった若者は、もともと介護の仕事に就きたいと考えていない若者、「お年寄り」や「介護」に対して良いイメージを持っていない若者であるということは言えるであろう。これは就職難を受けても、介護業界の人材確保に直接はつながらないということを示すものであり、今後、こうした若者層に対してイメージアップの取り組みを考えていく必要があるであろう。



図表43 「介護」に対するイメージ変化の  
「介護業界および介護の仕事に対するイメージの変化」別の違い

#### (6)職業意識および収入に対する意識について

介護の仕事に「就きたい」と考える若者が、どのような職業意識をもっているのか、また、収入についてどのように考えているのかを検討した。

まず、図表44に示したとおり、介護の仕事に「就きたい」と思う若者は、「人と仲良くするため」「人の役に立つため」と回答する割合が高く、「お金持ちになるため」「遊ぶのに必要なお金を得るために」「貧乏にならないため」と回答する割合は低かった。

この図表から、介護の仕事に就きたいと考える若者は、基本的に、人と協力しあって役に立つために働きたいと考えており、必ずしも「お金」を得るために働きたいと考えている訳ではないことが示される。むしろ、介護を希望しない一般の若者に比べた場合、介護の仕事を希望する若者は、必ずしも収入面を重視している訳ではないという傾向がみられる。

図表44 「将来、何のために働きたいと思いますか」の就職希望別の違い

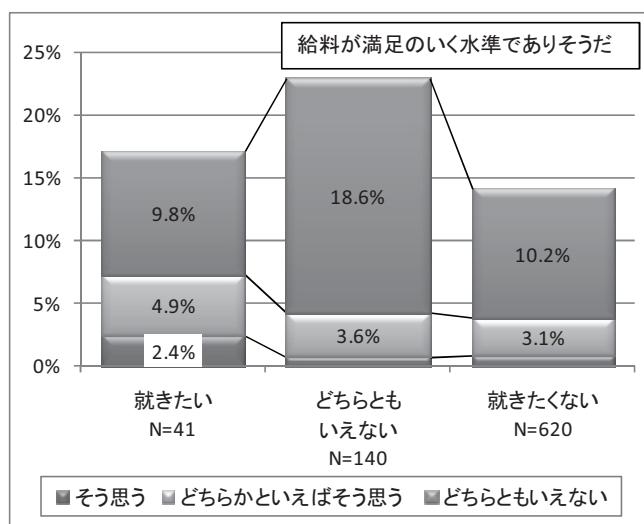
将来、何のために働きたいと思いますか	就きたい N=41	どちらともいえない N=140	就きたくない N=620	就きたいー就きたくない (差)	
				どちらともいえない	就きたくない
偉くなるため	9.8%	13.6%	16.8%	-7.0%	
人に認められるため	51.2%	49.3%	53.3%	-2.1%	
お金持ちになるため	34.1%	33.1%	55.6%	<b>-21.5%</b>	
自分の得意なことを活かすため	65.9%	74.1%	74.5%	-8.6%	
やりたいことをするため	82.9%	87.1%	87.0%	-4.1%	
遊ぶのに必要なお金を得るために	39.0%	47.5%	62.4%	<b>-23.4%</b>	
暮らすのに必要なお金を得るために	87.8%	86.4%	93.7%	-5.9%	
人と仲良くするため	68.3%	46.0%	36.5%	<b>31.8%</b>	
人の役に立つため	87.8%	73.6%	56.3%	<b>31.5%</b>	
世の中を良くするため	48.8%	42.9%	36.1%	12.7%	
働くのは当たり前だから	73.2%	73.4%	72.4%	0.8%	
貧乏にならないため	51.2%	67.1%	79.8%	<b>-28.6%</b>	

※各項目で最も値が大きかった箇所を網かけにした。

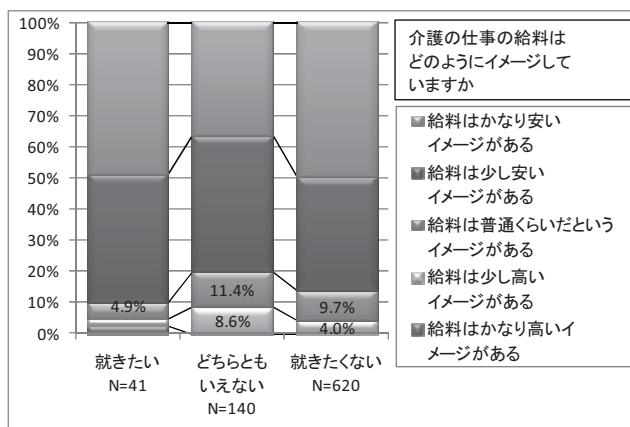
また、(差)が20%以上あった箇所を太字にした。

図表45に示すように、介護の仕事に「就きたい」と考える若者は、必ずしも介護の仕事で満足のいく水準の給料が得られると考えている訳ではない。

むしろ、図表46に示すように、介護の仕事に関心をもち、よく知っている面もあるだけに、一般の若者と同様に給料は安いというイメージをもっている面もある。



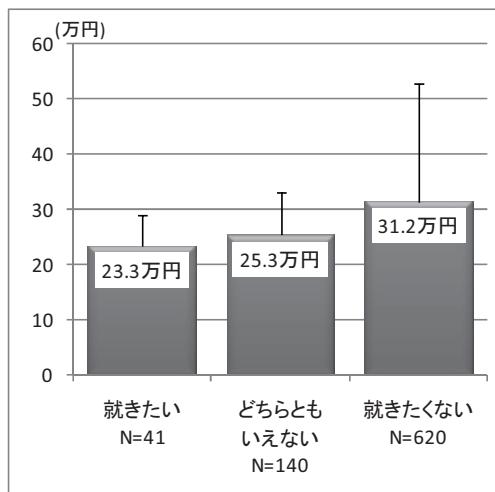
図表45 「給料が満足のいく水準でありそうだ」に対する回答の就職希望別の違い



図表46 「介護の仕事の給料はどのようにイメージしていますか」に対する回答の就職希望別の違い

図表47に示したとおり、実際、介護の仕事に「就きたい」と考える若者は、介護の仕事をするにあたって希望する月給の金額も低めになっていた。

介護の仕事を希望する若者が、必ずしも、収入を目的に働きたいと考えている訳ではなく、実際に希望する金額は少ないが、とは言え、約23万円の金額は希望しており、今後、収入面での改善は継続して懸案事項となると考えられる（なお、「就きたい」と考える若者のうち首都圏の者の希望金額は25.7万円、同じく首都圏以外の者の希望金額は21.8万円であった）。



図表47 介護の仕事をするにあたって希望する月給の額の就職希望別の違い

#### (7) 介護業界の働き方について

図表48に示したとおり、介護の仕事に「就きたい」と思う若者は、概して介護の仕事を肯定的に評価していた。なかでも、特に、「仕事にやりがいがありそうだ」「資格や専門知識を活かすことができそうだ」「資格取得や勉強する機会が充実してそうだ」「自分の将来のイメージが描けそうだ」などの面を高く評価していた。

図表48 介護関係の業界における働き方についての就職希望別の違い

介護関係の業界での働き方について、どのように考えですか	就きたい N=41	どちらともいえない N=140	就きたくない N=620	就きたいー就きたくない (差)
給料が満足のいく水準でありそうだ	7.3%	4.3%	3.9%	3.4%
休みがきちんと取れそうだ	12.2%	3.6%	4.5%	7.7%
夜勤などがあって勤務時間が不規則そうだ	87.8%	77.9%	82.7%	5.1%
社宅や寮が充実してそうだ	14.6%	15.7%	12.3%	2.3%
自分の仕事ぶりが正しく評価されそうだ	39.0%	21.4%	21.5%	17.5%
資格取得や勉強する機会が充実してそうだ	58.5%	35.7%	33.4%	<b>25.1%</b>
職場の雰囲気が良さそうだ	22.0%	20.0%	18.3%	3.7%
家庭生活と両立できそうだ	19.5%	5.0%	7.3%	12.2%
仕事を通じて社会に貢献できそうだ	82.9%	85.7%	86.1%	-3.2%
一緒に働く仲間と協力し合えそうだ	73.2%	63.6%	59.5%	13.7%
自分の仕事が人に感謝されそうだ	78.0%	82.9%	80.0%	-2.0%
仕事にやりがいがありそうだ	95.1%	73.6%	57.3%	<b>37.8%</b>
資格や専門知識を活かすことができそうだ	95.1%	75.7%	67.7%	<b>27.4%</b>
仕事が体力的にきつそうだ	87.8%	86.4%	92.4%	-4.6%
自分の将来のイメージが描けそうだ	29.3%	8.6%	5.2%	<b>24.1%</b>

※各項目で最も値が大きかった箇所を網かけにした。

また、(差)が20%以上あった箇所を太字にした。

また、図表49に示したとおり、介護の仕事に「就きたい」と思う若者は、「介護の仕事が自分に合うなら働きたい」「研修や指導が充分であれば働きたい」「病気・ケガの心配がなければ働きたい」「人間関係や職場の雰囲気が良ければ働きたい」と考える割合が高い。

図表48と重ね合わせて考えた場合、介護の仕事に就きたいと考える若者は、介護の仕事が自分に合っており、やりがいを感じられるかということを重視しているが、一方で、介護の仕事で働くことで資格を取得したり、勉強したりすることができるかどうか、そのための研修や指導や十分であるかどうか、そうして取得した資格や専門知識を活かして働くかどうかを重視している。こうした資格や専門性を身につけることによって、自分の将来のイメージが描けそうか否かを考えているとも言えるであろう。

なお、介護の仕事に「就きたくない」と思う若者は、介護関係の仕事や職場がどうであれば働きたいかの設問に「どれにもあてはまらない」という回答が多いのが特徴である。介護の仕事にもともと興味がない若者は、どのような条件が整備されたとしても、介護の仕事に関心を向けていない傾向があるということは、図表49の1つのポイントでもある。

**図表49 「介護関係の仕事や職場がどうであれば働きたいか」の就職希望別の違い**

介護関係の仕事や職場がどうであれば、介護関係の仕事で働きたいと思いますか	就きたい N=41	どちらともいえない N=140	就きたくない N=620	就きたい
				- 就きたくない (差)
介護の仕事が自分に合うなら働きたい	65.9%	63.6%	37.3%	<b>28.6%</b>
仕事内容に対して給料が高ければ働きたい	48.8%	58.6%	47.8%	1.0%
将来の見通しが立つならば働きたい	34.1%	39.3%	20.7%	13.4%
キャリアアップがしやすければ働きたい	19.5%	18.6%	9.9%	9.6%
労働時間が短いなら働きたい	9.8%	14.3%	14.9%	-5.1%
夜勤が少ないなら働きたい	29.2%	18.6%	20.2%	9.0%
休日がとりやすければ働きたい	36.6%	35.7%	34.6%	2.0%
研修や指導が充分であれば働きたい	43.9%	29.3%	14.7%	<b>29.2%</b>
精神的・体力的にきつくなれば働きたい	41.5%	39.3%	44.6%	-3.1%
病気・ケガの心配がなければ働きたい	31.7%	14.3%	7.9%	<b>23.8%</b>
人間関係や職場の雰囲気が良ければ働きたい	65.9%	45.7%	35.1%	<b>30.8%</b>
どれにもあてはまらない	2.4%	7.1%	23.4%	<b>-21.0%</b>

※各項目で最も値が大きかった箇所を網かけにした。

また、(差)が20%以上あった箇所を太字にした。

#### (8)介護の仕事に「就きたい」と希望する若者の特徴のまとめ

ここまで、介護の仕事に「就きたい」と希望する若者の特徴をまとめた。その結果、介護の仕事に「就きたい」と考える若者の特徴として、以下の10点が上げられる。

- (1)身のまわりに介護の仕事に就いていた人がいたか介護を受けていた人がいた。
- (2)介護の仕事を本・映画・テレビなどのマスメディアではなく、親や先生などの大人を通じて、または職場体験やボランティアなどを通じて知った。
- (3)両親が介護の仕事を魅力的と考えており、介護の仕事に就くことを勧めている。
- (4)祖父・祖母と同居している割合が高く、日頃よく話をする相手として祖父・祖母を挙げる割合が高い。
- (5)介護に関する職場体験・インターンシップ・ボランティアの経験をしている。
- (6)介護の仕事を「明るい」「温かい」「素敵」と捉える割合が高かった。
- (7)もともと「お年寄り」や「介護」に対するイメージが良い。
- (8)人と仲良くするため、人の役に立つために働きたいと考えており、お金のために働き

たいとは考えていない。

(9)介護の仕事が給料が高いとは考えておらず、介護の仕事をするにあたって希望する収入の額も低い。

(10)介護の仕事のやりがいを重視している他、介護の仕事を通じて資格を取得したり、専門知識を身につけることを重視しており、将来のイメージが描けそうかも考慮している。

今回の調査結果からは、以上の10点が、介護の仕事を希望する若者と関連の深い要因であり、介護の仕事に興味・関心をもつ若者を増やし、介護の仕事に就いてもらうためには重要な条件となる要素であると考えておくことができるであろう。

## 5. 介護の仕事に関心があるのに、介護の仕事に就かないのはどのような若者か

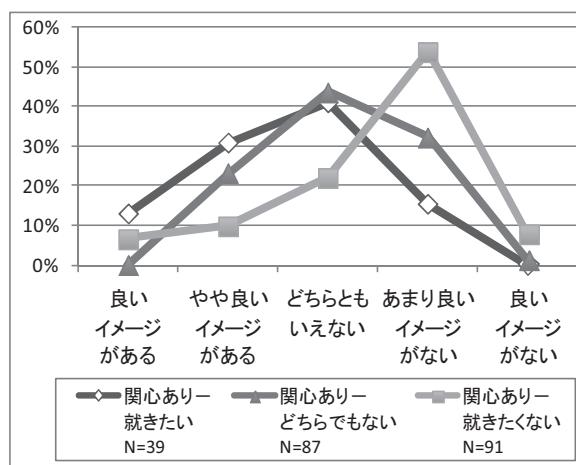
最後に、介護の仕事に関心があるのに介護の仕事に就かない若者の特徴を検討するため、調査回答者を、以下の3つのグループに分けて検討を行った。

- ①介護業界または介護の仕事に「関心ありー就きたい」
- ②介護業界または介護の仕事に「関心ありーどちらでもない」
- ③介護業界または介護の仕事に「関心ありー就きたくない」

ここでの分析のポイントは、③「関心ありー就きたくない」の若者にあり、この若者をめぐって顕著な結果がみられたものを、以下に図示することとした。

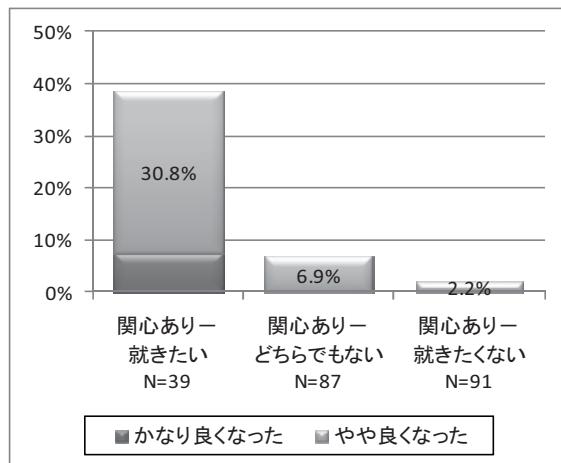
この層の若者に焦点を当てた理由として、介護業界および介護の仕事に積極的に「就きたい」とは回答していないが、「関心はある」と回答した若者は、潜在的に介護業界に就職する可能性のある有力な人材予備軍の若者として考えられるからである。この潜在的な介護業界に就職する可能性のある若者達の特徴を捉えることによって、今後、介護業界に進む若者の裾野を広げるための手がかりを得たいと考えた。

上記の問題意識をもとに検討を行った結果、まず、顕著に違いがみられた回答の1つに「介護」に対するイメージがあった。図表50に示したとおり、介護の仕事に「関心があるのに就きたくない」若者は、もともと介護にあまり良いイメージをもっていなかった。



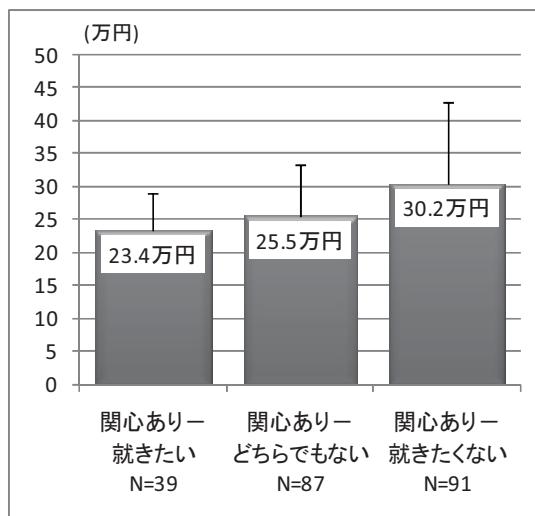
図表50 「介護」に対するイメージの「関心あり・なし・就きたい・就きたくない」別の違い

また、図表51に示したとおり、若者の就職が厳しくなっている現状でも、介護の仕事に「関心があるのに就きたくない」の若者は、介護に対するイメージがほとんど変化していないなかった。



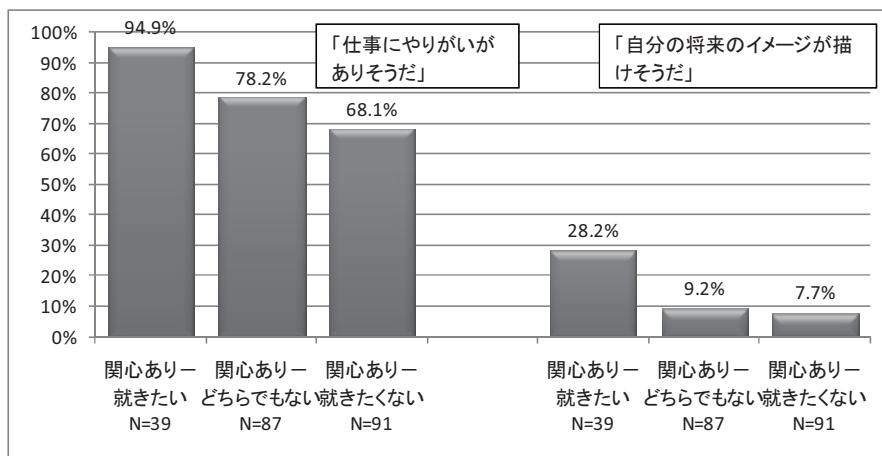
図表51 介護業界に対するイメージの変化の  
「関心あり・なし・就きたい・就きたくない」別の違い

さらに、図表52に示したとおり、介護の仕事に「関心があるのに就きたくない」の若者は、介護の仕事をするにあたって希望する月収も高く、介護の仕事に就きたいと考える若者と大きく異なっていた。



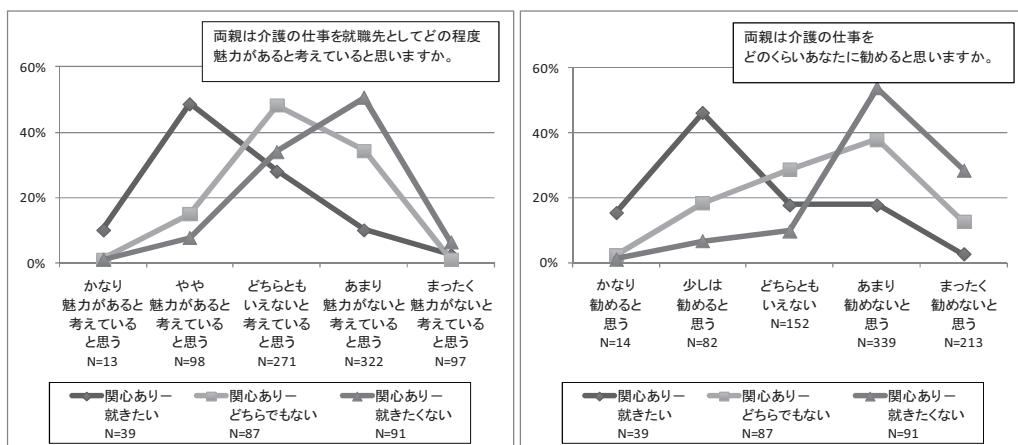
図表52 介護の仕事をするにあたって希望する月給の  
「関心あり・なし・就きたい・就きたくない」別の違い

図表53に示したとおり、介護の仕事に「関心があるのに就きたくない」の若者は、介護の仕事にやりがいを感じる割合が低く、自分の将来のイメージが描けそうだと感じていないという特徴もみられた。



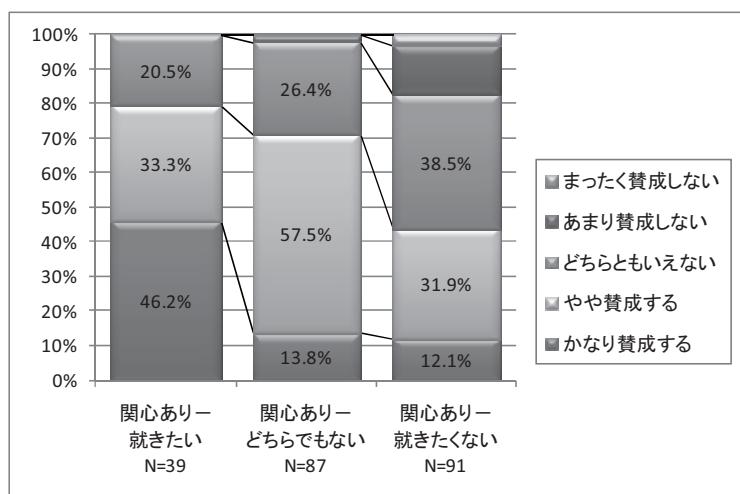
図表53 介護関係の業界での働き方に関する考え方の  
「関心あり・なし・就きたい・就きたくない」別の違い

また、図表54に示したとおり、介護の仕事に「関心があるのに就きたくない」の若者は、両親も介護の仕事に魅力があると考えていないと思い、両親はあまり勧めないだろうとも考えていた。



図表54 両親の介護関係の業界および仕事に対する感じ方の  
「関心あり・なし・就きたい・就きたくない」別の違い

図表55に示したとおり、介護の仕事に「関心があるのに就きたくない」と思う若者は、友達が介護の仕事に就くと言っても賛成しないと回答していた。



**図表55 友達が介護の仕事に就くことに賛成するか否かの  
「関心あり・なしー就きたい・就きたくない」別の違い**

以上の結果をまとめると、介護の仕事に関心がありつつも、反面、介護の仕事に就きたくないと回答する若者の特徴として、(1)もともと「介護」に対するイメージが良くない、(2)若者の就職が厳しい現状においても介護業界に対するイメージが変化していない、(3)介護の仕事をするにあたって希望する給料が高い、(4)介護の仕事にやりがいを感じる割合が低く、将来のイメージが描けそそうであると感じていない、(5)両親も魅力を感じておらず、勧めないだろうと考えている、(6)友達も賛成しないだろうと考えているといった点が明らかになった。

上記のような結果をどのように解釈すべきであろうか。ここでは、**介護に漠然とした関心をもつ若者は、むしろ漠然としか関心をもっていないからこそ、実際の介護の仕事の内容や中身をほとんど知らないまま、漠然と毛嫌いしている面があるものと考えられる**。介護に対する漠然とした関心が、世間の漠然とした介護の仕事に対するステレオタイプと結びつき、よく内実を理解しないまま、介護の仕事に対する偏った見方をしている可能性が高い。

したがって、こうした若者に対しては、実際に介護の仕事に就いている人や介護を受けている人、介護の仕事に詳しい親や教員など、介護の仕事の実態を詳しく伝えられるによる**適切な情報提供が重要**になるであろう。介護に関する地道な啓発活動が、もともと介護に対して漠然とした関心をもっている若者に、介護の仕事に対する現実的な就職希望を抱かせるための重要な基礎となっていくものと推察される。

\* \* \*

調査全般を通して、介護業界および介護の仕事の特徴は、若者に十分に知られないまま、本や映画・テレビなどの情報から、漠然とステレオタイプ的に偏った見方をされているという面が強いことが、改めて明らかになった。

今回の調査結果からは、実際に身近に介護の仕事に就いている人や介護を受けている人と接したり、また、そうした人がいない場合でも、職場体験・インターンシップ・ボランティア等の体験をしたりすることの重要性が示された。こうした事がらを通じて、何らかの形で介護の仕事を深く詳しく知ることができればできるほど、若者は、むしろ介護の仕事に対するイメージを高め、介護の仕事に対する就労希望を高めていく可能性が高い。

また、純粋な小学生や多感な中学生時期の職場体験・ボランティア（あるいは慰問等も含めて）は多くの子ども達に良いイメージが潜在的に残る。特に、喜ばれた、人の役に立ったうれしさは採用面接などでも必ず介護を目指すきっかけとしても聞かれる。学校の授業での先生の話は職業選択に結びつきやすいことからも、介護に対して若者のイメージアップへの試みが検討されるべきであろう。公務員・教員・企業などでの体験やボランティア・インターンシップなどによって、良いイメージを持ち帰る若者は多い。高校生や大学生にも介護を知るチャンスをカリキュラムの中に入れるよう働きかけることも重要なである。

介護の仕事の必要性・重要性は、若者の間でも十分に理解されており、この仕事が実際に人の役に立つ様を目の当たりにすることによって、介護の仕事に興味や関心をもつ若者はこれまで以上に増やすことができるものと思われる。今後の介護人材の確保に向けた地道な取り組みの一環として、学校段階の若者を対象とした啓発普及にはよりいっそうの注力がなされるべきであろうと考えられる。

調査考察（養成校の視点から）

## 調査考察（養成校の視点から）

神奈川県介護福祉士養成校連絡協議会  
阿部正昭

### 1. 介護業界・介護職に対する若者の意識と介護福祉士養成施設

現在、若者に対して行われている就職指導やキャリア形成支援は、主に「自己理解」とキャリアカウンセリングにポイントが置かれ、適性診断からの就職指導が中心となっています。

しかし、職業とは本来社会的分業であるとの前提に立つならば、若者に対する就職指導やキャリア形成支援においては、まず自分たちを取り巻く社会には、どのような解決すべき課題があるのか、ということについて正しい認識を持つこと、つまり「社会理解」に向けた支援をすることが第1に行われるべきであるはずです。そして、このような支援がなされた上で、それでは、自分はどのような領域・分野で能力を発揮して社会貢献することができるのかを検討していくのが本当の就職指導やキャリア形成支援のあり方ではないでしょうか。

今回の「介護業界についてのアンケート」では、介護職が「社会に必要だと思う」と回答した若者が97%に達しており、このことは、わが国の超高齢社会の実情を若者達がよく感じ取っていることを示しているといえるでしょう。ところが、「介護職に関心がある」には、27.1%、「魅力がある」には11.8%、「就きたいと考えている」に至っては、5.1%にまで落ち込んでしまうという結果は、社会が「介護」をどのように扱っているのかという実像を浮き彫りにしています。

また、予測された結果ではありますが、男性に比べて女性の方が介護職に対する評価が高く、その背景に、「女性が必ずしも偉くなるため、お金持ちになるために働きたいと考えている訳ではない」との分析結果が明らかになっています。このことは、労働条件の面でも職業的な位置づけにおいても、介護職が社会から低く評価されており、介護は家事の延長線上にある貨幣換算しにくい労働であり、故に女性が担うべき職業であるとの明治期以来のジェンダー観がはっきりと顕在化していることが伺われます。

これらの結果は、既に人口減社会に突入して、深刻な労働力不足が予測される状況があるなかで、介護業界においては、今後さらなる人材難に直面せざるを得ないことを予感させるものではないでしょうか。

### 2. 介護業界・介護職の若者へのアピールと介護福祉士養成施設

今回のアンケート結果からは、介護職に「就きたい」と思う若者は、身近に介護職に就いている人や要介護者がいること、次に「親と話をして」、「職場体験やボランティアで」、「学校の授業での先生から」が情報源となっていることが示されています。一方、介護職に「就きたくない」若者は、「本、映画、テレビ」が情報源となっているとの結果が示されています。

これらの結果から、介護職という職業は、生活場面における対面的な出会いや人格的なつながりを介して動機付けられるところにその特徴があると受け止めることができるでし

よう。その一方で多くの親や教育者は、自身の日常生活で介護にかかわる問題がない限りは介護に無関心であり、また、子ども達と介護について話し合う機会もほとんどなく、さらには「本、映画、テレビ」といった情報媒体がネガティブな情報を発信することで、若者が介護業界や介護職に対して、悪いイメージを抱くに至ったことは、介護福祉士養成施設の教員としては非常に残念に感じるところです。

### 3. 介護福祉士養成施設から介護業界への提言

「介護関係の仕事や職場がどのようにすれば働きたいか」の就職希望別については、介護職に就きたいと思っている若者が、①「介護の仕事が自分に合うなら働きたい」(65.9%)、②「人間関係や職場の雰囲気が良ければ働きたい」(65.9%)、③「仕事に対して給料が高ければ働きたい」(48.8%)、④「研修や指導が充分であれば働きたい」(43.9%)、⑤「休日がとりやすければ働きたい」(36.6%)、⑥「将来の見通しが立つならば働きたい」(34.1%)、⑦「病気やケガの心配がなければ働きたい」(31.7%)、という結果が示されています。

これについては、まず、①「介護の仕事が自分に合うなら働きたい」、②「人間関係や職場の雰囲気が良ければ働きたい」においては、介護福祉士養成施設、介護業界、介護福祉士会等の職能団体、介護福祉学会等が連携をとり、介護職の魅力について情報発信するとともに、その職務内容の充実に向けた取り組みをしていくことが必要でしょう。また、介護職を支える職場組織の整備に向けた取り組みも重要な課題です。

次に、③「仕事に対して給料が高ければ働きたい」、⑤「休日がとりやすければ働きたい」(36.6%)、⑦「病気やケガの心配がなければ働きたい」の3点は、給与等の労働条件の改善と介護業務の心身の負荷を軽減するための取り組みが必要です。これも介護業界を中心に広く労働環境の改善・整備に向けた取り組みが求められる点です。

さらに、④「研修や指導が充分であれば働きたい」、⑥「将来の見通しが立つならば働きたい」、については、職場研修等の人材育成を効果的に機能させ、具体的なキャリアパスを描がしていくことが必要です。この点に関して、その必要性がひろく認知されているにもかかわらず、実効的な成果を上げている介護の職場は神奈川県内にどの程度存在するでしょうか。この点も介護業界を中心に、関連機関が連携して取り組むべき課題ではないでしょうか。

### 4. その他の課題

今回のアンケート調査は、全国規模で行われており、802というサンプル数も現状を知る上で、貴重なデータとなっています。しかし、全国の中でも特に介護職の人材不足が深刻化している東京都や神奈川県等の首都圏の実情は、地方のそれとはかなり違っています。今回の調査を契機に、今後神奈川県に限定した調査をすることで、より県内の実情にあつた対策を検討することが可能になるのではないでしょうか。

また、高齢化率の高い地域と低い地域の格差を検討することも重要な課題であると考えられます。それは、高齢化率が高い圏域の実態を知り、その対策を検討することは、わが国全体の将来に向けた課題を予測して取り組むことにもつながると考えられるからです。

神奈川県介護福祉士養成施設では、他の関連機関と連携しながら、今後もよき介護人材の育成に向けた教育、研究、社会貢献に積極的に取り組んでいきたいと考えています。

**調査票及び調査結果**

## 介護業界についてのアンケート

以下の注意書きをご一読のうえ、アンケートへお答えください。

- このアンケートには、該当する番号に○印をつける形式の設問と、枠内に回答を記入する設問があります。ご記入の際は、鉛筆やボールペンなどで、はっきりとお書きくださいますようお願い申し上げます。
- 書き損じた場合は、消しゴムで消すか、二重線を引いて近くに書き直していただければ結構です。
- ご記入いただいたアンケートは、同封の返信用封筒に入れてご返送下さい。
- 2009年11月24日(火)までにご返送ください。**

### 介護や介護の仕事についておうかがいします

**Q1** あなたは介護や介護の仕事をどのくらい知っていますか。(○はひとつ)

- |             |             |              |
|-------------|-------------|--------------|
| 1. かなり知っている | 2. やや知っている  | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり知らない  | 5. ほとんど知らない |              |

**Q2** あなたは介護や介護の仕事にどのくらい関心がありますか。(○はひとつ)

- |             |              |              |
|-------------|--------------|--------------|
| 1. かなり関心がある | 2. やや関心がある   | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり関心がない | 5. ほとんど関心がない |              |

**Q3** あなたがQ2でお答えになった関心程度(かなり関心がある～ほとんど関心がない)の理由について、以下に記入して下さい。

**Q4** あなたは介護の仕事へ就きたいと考えていますか。(○はひとつ)

- |              |               |              |
|--------------|---------------|--------------|
| 1. かなり就きたい   | 2. やや就きたい     | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり就きたくない | 5. まったく就きたくない |              |

**Q5** あなたの身のまわりに、介護の仕事に就いている方、または介護の仕事に就いていた方はいますか。(○はひとつ)

- |                |                  |           |
|----------------|------------------|-----------|
| 1. 家族や親戚にいる／いた | 2. 友達や知り合いにいる／いた | 3. よく分からぬ |
| 4. いない         |                  |           |

**Q6** あなたの身のまわりに、介護を受けている方、または介護を受けていた方はいますか。(○はひとつ)

- |                |                  |           |
|----------------|------------------|-----------|
| 1. 家族や親戚にいる／いた | 2. 友達や知り合いにいる／いた | 3. よく分からぬ |
| 4. いない         |                  |           |

**Q7** 介護の業界や介護の仕事は、就職先としてどの程度魅力がありますか。

給料や条件は考慮せずにお答えください。(○はひとつ)

- |             |              |              |
|-------------|--------------|--------------|
| 1. かなり魅力がある | 2. やや魅力がある   | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり魅力がない | 5. まったく魅力がない |              |

**Q8** 介護の業界や介護の仕事は、どのくらい資格や専門知識が必要だと思いますか。(○はひとつ)

- |                |                 |              |
|----------------|-----------------|--------------|
| 1. かなり必要があると思う | 2. やや必要があると思う   | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり必要がないと思う | 5. まったく必要がないと思う |              |

**Q9** あなたは、ご自身の友達が介護分野や介護の仕事に就きたいと言ったら賛成しますか。(○はひとつ)

- |                           |                           |              |
|---------------------------|---------------------------|--------------|
| 1. かなり賛成する<br>4. あまり賛成しない | 2. やや賛成する<br>5. まったく賛成しない | 3. どちらともいえない |
|---------------------------|---------------------------|--------------|

**Q10** あなたは、介護の仕事はどのくらい社会に必要だと思いますか。(○はひとつ)

- |                                 |                                 |              |
|---------------------------------|---------------------------------|--------------|
| 1. かなり必要であると思う<br>4. あまり必要ないと思う | 2. やや必要であると思う<br>5. まったく必要ないと思う | 3. どちらともいえない |
|---------------------------------|---------------------------------|--------------|

**Q11** あなたが感じる「介護業界」のイメージはどのようなものですか。以下に挙げる言葉の対のどちらに近いかお答えください。(○は各項目ひとつずつ)

	A	Aに近い	どちらともいえない	Bに近い	B
a.	明るい	1 2	3 4	5 5	暗い
b.	温かい	1 2	3 4	5 5	冷たい
c.	重い	1 2	3 4	5 5	軽い
d.	堅い	1 2	3 4	5 5	やわらかい
e.	格好いい	1 2	3 4	5 5	格好悪い
f.	厳しい	1 2	3 4	5 5	優しい
g.	きれい	1 2	3 4	5 5	汚い
h.	素敵な	1 2	3 4	5 5	平凡な
i.	派手な	1 2	3 4	5 5	地味な

**Q12** あなたが思う「介護の仕事」とはどのようなものですか。以下に挙げる言葉の対のどちらに近いかお答えください。(○は各項目ひとつずつ)

	A	Aに近い	どちらともいえない	Bに近い	B
a.	簡単な仕事である	1 2	3 4	5 5	難しい仕事である
b.	資格は必要ない	1 2	3 4	5 5	資格が必要である
c.	安定している	1 2	3 4	5 5	不安定である
d.	人が足りている	1 2	3 4	5 5	人が足りない
e.	仕事に見合い報われる	1 2	3 4	5 5	仕事の割に報われない
f.	女性が多い	1 2	3 4	5 5	男性が多い

**Q13** あなたは次に挙げる語句にどのようなイメージを抱きますか。(○は各項目ひとつずつ)

	あ イ 良 る め い — ジ が	あ イ や る メ や — 良 じ い が	い ど え ち な ら い と も	な い あ い メ ま — り 良 じ が い	な い 良 い め い — ジ が
a. お年寄り	1 1	2 2	3 3	4 4	5 5
b. 老人ホーム	1 1	2 2	3 3	4 4	5 5
c. 介護	1 1	2 2	3 3	4 4	5 5

**Q14** 若者の就職が厳しくなっている現在の状況で、あなたの介護の仕事に対するイメージは変わりましたか。(○はひとつ)

- |  |                                |                                |
|--|--------------------------------|--------------------------------|
| 1. かなり良くなつた<br>4. どちらともいえない<br>7. かなり悪くなつた | 2. やや良くなつた<br>5. どちらかといえば悪くなつた | 3. どちらかといえば良くなつた<br>6. やや悪くなつた |
|--|--------------------------------|--------------------------------|

**Q15** あなたは介護の業界や介護の仕事を、主にどのように知りましたか。あてはまるものを全てお答えください。(○はいくつでも)

- |  |   |                               |
|--|---|-------------------------------|
| 1. 親と話をして<br>4. 先輩と話をして<br>7. 本、映画、テレビから | 2. 弟兄姉妹や親戚と話をして<br>5. 職場体験やボランティアで<br>8. その他( ) | 3. 友達同士で話をして<br>6. 学校の授業で先生から |
|--|---|-------------------------------|

**Q16** あなたは介護の仕事を、学校でどのくらい勉強したかったと思いますか。(○はひとつ)

- |  |  |              |
|--|--|--------------|
| 1. かなり勉強したかったと思う<br>4. あまり勉強したかったと思わない | 2. 少し勉強したかったと思う<br>5. まったく勉強したかったと思わない | 3. どちらともいえない |
|--|--|--------------|

**Q17** あなたは介護関係の業界での働き方について、どのようにお考えですか。(○は各項目ひとつずつ)

	そう 思 う	そいど うえち 思 ばら う か と	いど えち な ら い と も	いそいど うえち 思 ばら わ か な	いそ う 思 わ な
a. 給料が満足のいく水準でありそうだ	1	2	3	4	5
b. 休みがきちんと取れそうだ	1	2	3	4	5
c. 夜勤などがあって勤務時間が不規則そうだ	1	2	3	4	5
d. 社宅や寮が充実していそうだ	1	2	3	4	5
e. 自分の仕事ぶりが正しく評価されそうだ	1	2	3	4	5
f. 資格取得や勉強する機会が充実していそうだ	1	2	3	4	5
g. 職場の雰囲気が良さそうだ	1	2	3	4	5
h. 家庭生活と両立できそうだ	1	2	3	4	5
i. 仕事を通じて社会に貢献できそうだ	1	2	3	4	5
j. 一緒に働く仲間と協力し合えそうだ	1	2	3	4	5
k. 自分の仕事が人に感謝されそうだ	1	2	3	4	5
l. 仕事にやりがいがありそうだ	1	2	3	4	5
m. 資格や専門知識を活かすことができそうだ	1	2	3	4	5
n. 仕事が体力的にきつそうだ	1	2	3	4	5
o. 自分の将来のイメージが描けそうだ	1	2	3	4	5

**Q18** あなたは、介護関係の仕事や職場がどのようにあれば、介護関係の仕事で働きたいと思いますか。(○はいくつでも)

- |                          |                        |
|--------------------------|------------------------|
| 1. 介護の仕事が自分に合うなら働きたい     | 2. 仕事内容に対して給料が高ければ働きたい |
| 3. 将来の見通しが立つならば働きたい      | 4. キャリアアップがしやすければ働きたい  |
| 5. 労働時間が短いなら働きたい         | 6. 夜勤が少ないなら働きたい        |
| 7. 休日がとりやすければ働きたい        | 8. 研修や指導が充分であれば働きたい    |
| 9. 精神的・体力的にきつくなれば働きたい    | 10. 病気・ケガの心配がなければ働きたい  |
| 11. 人間関係や職場の雰囲気が良ければ働きたい | 12. どれにもあてはまらない        |

**Q19** あなたは、介護の仕事の給料はどのようにイメージしていますか。(○はひとつ)

- |                        |                   |
|------------------------|-------------------|
| 1. 給料はかなり高いイメージがある     | 2. 給料は少し高いイメージがある |
| 3. 給料は普通くらいだというイメージがある | 4. 給料は少し安いイメージがある |
| 5. 給料はかなり安いイメージがある     |                   |

**Q20** あなたは、月にだいたい何万円くらいの給料をもらえば、介護の仕事をしたいと思いますか。

月にだいたい  万円くらい(税込み)

**Q21** あなたは介護に関連する職場体験、インターンシップ、ボランティアなどの経験がありますか。(○はひとつ)

- |               |             |
|---------------|-------------|
| 1. ある(Q21.1へ) | 2. ない(Q22へ) |
|---------------|-------------|

1に○をつけた方

→ **Q21.1** 介護に関連する職場体験、インターンシップ、ボランティアなどの経験がある方にうかがいます。  
いつ、何で、どんなことを経験しましたか。複数ある場合は最も印象に残っている体験について  
お答えください。(○は各項目ひとつずつ)

- |    |          |           |          |
|----|----------|-----------|----------|
| いつ | 1. 小学生の頃 | 2. 中学生の頃  | 3. 高校生の頃 |
|    | 4. 大学生の頃 | 5. その他( ) |          |

- |    |            |              |
|----|------------|--------------|
| 何で | 1. 職場体験学習で | 2. インターンシップで |
|    | 3. ボランティアで | 4. その他( )    |

- |        |              |            |
|--------|--------------|------------|
| どんなことを | 1. お年寄りの話し相手 | 2. お年寄りの介護 |
|        | 3. 掃除        | 4. その他( )  |

## 職業や仕事についての考え方についておうかがいします

Q22 あなたは、将来の目標や自分のやりたいことが、どの程度明確ですか。(○はひとつ)

- |                            |                            |              |
|----------------------------|----------------------------|--------------|
| 1. かなり明確である<br>4. あまり明確でない | 2. やや明確である<br>5. ほとんど明確でない | 3. どちらともいえない |
|----------------------------|----------------------------|--------------|

Q23 あなたは将来、何のために働きたいと思いますか。(○は各項目ひとつずつ)

	まるなりあては	るややあてはま	いどえちならいとも	いあてまりはまらな	いあまつはたまくらな
a. 偉くなるため	1	2	3	4	5
b. 人に認められるため	1	2	3	4	5
c. お金持ちになるため	1	2	3	4	5
d. 自分の得意なことを活かすため	1	2	3	4	5
e. やりたいことをするため	1	2	3	4	5
f. 遊ぶのに必要なお金を得るため	1	2	3	4	5
g. 暮らすのに必要なお金を得るため	1	2	3	4	5
h. 人と仲良くするため	1	2	3	4	5
i. 人の役に立つため	1	2	3	4	5
j. 世の中を良くするため	1	2	3	4	5
k. 働くのは当たり前だから	1	2	3	4	5
l. 貧乏にならないため	1	2	3	4	5

## 家族や友達のことについておうかがいします

Q24 現在、あなたが同居されているご家族はいらっしゃいますか。あてはまるものを全てお答えください。(○はいくつでも)

- |                       |                         |                        |            |
|-----------------------|-------------------------|------------------------|------------|
| 1. 同居人はいない<br>5. 兄弟姉妹 | 2. 配偶者(夫、妻)<br>6. 祖父、祖母 | 3. 親(父、母)<br>7. その他( ) | 4. 子ども( 人) |
|-----------------------|-------------------------|------------------------|------------|

Q25 日ごろの生活でよく話をする人は誰ですか。あてはまるものを全てお答えください。(○はいくつでも)

- |   |  |
|---|--|
| 1. 父<br>3. 兄弟姉妹<br>5. 学校の友人・先輩<br>7. 幼馴染・子どもの頃からの知り合い<br>9. 職場やアルバイトで知り合った友人・先輩<br>11. 日頃、あまり人と話さない | 2. 母<br>4. 祖父、祖母<br>6. 学校時代の昔の友人・先輩<br>8. 异性の友人・知り合い、恋人<br>10. ネットや携帯で不特定多数の人と |
|---|--|

Q26 あなたには現在、「親友」と呼べる人がいますか。(○はひとつ)

- |       |        |          |
|-------|--------|----------|
| 1. いる | 2. いない | 3. 分からない |
|-------|--------|----------|

Q27 あなたが日頃、話をする人数は1日平均で何人くらいですか。職場内(在学中の方は学校内)と職場外(学校外)に分けてお答えください。

職場内(学校内)  人くらい

職場外(学校外)  人くらい

Q28 あなたのご両親は、介護の業界や介護の仕事を、就職先としてどの程度魅力があると考えていると思いますか。(○はひとつ)

- |  |   |
|--|---|
| 1. かなり魅力があると考えていると思う<br>3. どちらともいえないと考えていると思う<br>5. まったく魅力がないと考えていると思う | 2. やや魅力があると考えていると思う<br>4. あまり魅力がないと考えていると思う |
|--|---|

**Q29** あなたのご両親は、介護の業界や介護の仕事を、どのくらいあなたに勧めると思いますか。(○はひとつ)

- |                 |               |
|-----------------|---------------|
| 1. かなり勧めると思う    | 2. 少しは勧めると思う  |
| 3. どちらともいえない    | 4. あまり勧めないと思う |
| 5. まったく勧めないとと思う |               |

**Q30** あなたは介護や介護の仕事について、どのようなことをお感じになりますか。

どのようなことでもけっこうですので、ご自由にご記入ください。

## ご自身のことについておたずねいたします

**Q31** あなたは現在、学校に在学していますか。(○はひとつ)

- |                    |  |
|--------------------|--|
| 1. 在学している (Q31.1へ) |  |
| 2. 在学していない (Q5へ)   |  |

1に○をつけた方

**Q31.1** 現在、在学している学校は次のうちどれですか。(○はひとつ)

2に○をつけた方

- |                   |  |
|-------------------|--|
| 1. 専門学校(職業訓練校を含む) |  |
| 2. 短期大学・高専        |  |
| 3. 大学             |  |
| 4. 大学院            |  |
| 5. その他 ( )        |  |

→ 在学生の方はQ35へ

**Q32** 在学していない方にうかがいます。あなたは学校を卒業(中退)してから、すぐに就職しましたか。(○はひとつ)

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

**Q33** 在学していない方にうかがいます。あなたは学校を卒業(中退)してから、どのように働いていましたか。(○はひとつ)

- |                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| 1. 主に正社員として       | 2. 主に派遣社員・契約社員として |
| 3. 主にパート・アルバイトとして | 4. 仕事をしたことがない     |

→ Q35へ

**Q34** あなたは学校を卒業(中退)してから、今までに何回職業を変えましたか。(○はひとつ)

- |       |       |         |              |
|-------|-------|---------|--------------|
| 1. 1回 | 2. 2回 | 3. 3回以上 | 4. 転職したことはない |
|-------|-------|---------|--------------|

**Q35** 最後に下記についてご記入ください

都道府県名		性別	男 女
お名前		年齢	才

以上で終了となります。今一度ご記入漏れがないかご確認ください。  
本アンケートへご協力いただき、誠にありがとうございました。

## 2009年11月24日(火)までご返送ください

## 介護についてのアンケート 調査結果データ

	N	%
<b>Q1 あなたは介護や介護の仕事をどのくらい知っていますか。</b>	802	802
かなり知っている	25	3%
やや知っている	271	34%
どちらともいえない	120	15%
あまり知らない	255	32%
ほとんど知らない	131	16%
<b>Q2 あなたは介護や介護の仕事にどのくらい関心がありますか。</b>	802	802
かなり関心がある	27	3%
やや関心がある	190	24%
どちらともいえない	134	17%
あまり関心がない	252	31%
ほとんど関心がない	199	25%
<b>Q3 あなたがQ2でお答えになった関心程度(かなり関心がある～ほとんど関心がない)の理由について、以下に記入してください。</b>	802	802
73ページから79ページに掲載		
*「Q2 あなたは介護や介護の仕事にどのくらい関心がありますか」「Q4 あなたは介護の仕事へ就きたいと考えていますか」のそれぞれの回答結果をもとに、介護の仕事に対する関心が「あるの程度に応じて9つにグループ化しています。		
<b>Q4 あなたは介護の仕事へ就きたいと考えていますか。</b>	802	802
かなり就きたい	7	1%
やや就きたい	34	4%
どちらともいえない	140	17%
あまり就きたくない	284	35%
まったく就きたくない	336	42%
不 明	1	0%
<b>Q5 あなたの身のまわりに、介護の仕事に就いている方、または介護の仕事に就いていた方はいますか。</b>	802	802
家族や親戚にいる／いた	81	10%
友達や知り合いにいる／いた	169	21%
よく分からぬ	62	8%
いぬい	488	61%
不 明	2	0%
<b>Q6 あなたの身のまわりに、介護を受けている方、または介護を受けていた方はいますか。</b>	802	802
家族や親戚にいる／いた	258	32%
友達や知り合いにいる／いた	25	3%
よく分からぬ	73	9%
いぬい	445	55%
不 明	1	0%
<b>Q7 介護の業界や介護の仕事は、就職先としてどの程度魅力がありますか。</b>	802	802
かなり魅力がある	14	2%
やや魅力がある	81	10%
どちらともいえない	162	20%
あまり魅力がない	305	38%
まったく魅力がない	240	30%
<b>Q8 介護の業界や介護の仕事は、どのくらい資格や専門知識が必要だと思いますか。</b>	802	802
かなり必要があると思う	354	44%
やや必要があると思う	388	48%
どちらともいえない	29	4%
あまり必要がないと思う	29	4%
まったく必要がないと思う	2	0%
<b>Q9 あなたは、ご自身の友達が介護分野や介護の仕事に就きたいと言ったら賛成しますか。</b>	802	802
かなり賛成する	92	11%
やや賛成する	278	35%
どちらともいえない	316	39%
あまり賛成しない	92	11%
まったく賛成しない	24	3%

	N	%
<b>Q10 あなたは、介護の仕事はどのくらい社会に必要だと思いますか。</b>	802	802
かなり必要であると思う	590	74%
やや必要であると思う	188	23%
どちらともいえない	20	2%
あまり必要ないと思う	4	0%
まったく必要ないと思う	-	-
<b>A 明るい←→暗い B</b>	802	802
Aに近い	20	2%
どちらかというとAに近い	112	14%
どちらともいえない	234	29%
どちらかというとBに近い	338	42%
Bに近い	96	12%
不 明	2	0%
<b>A 暖かい←→冷たい B</b>	802	802
Aに近い	164	20%
どちらかというとAに近い	346	43%
どちらともいえない	211	26%
どちらかというとBに近い	63	8%
Bに近い	17	2%
不 明	1	0%
<b>A 重い←→軽い B</b>	802	802
Aに近い	307	38%
どちらかというとAに近い	376	47%
どちらともいえない	85	11%
どちらかというとBに近い	29	4%
Bに近い	5	1%
<b>あなたが感じる「介護業界のイメージはどのようなものですか。</b>	802	802
<b>A 堅い←→やわらかい B</b>	802	802
Aに近い	54	7%
どちらかというとAに近い	218	27%
どちらともいえない	385	48%
どちらかというとBに近い	132	16%
Bに近い	13	2%
<b>A 格好いい←→格好悪い B</b>	802	802
Aに近い	31	4%
どちらかというとAに近い	101	13%
どちらともいえない	433	54%
どちらかというとBに近い	181	23%
Bに近い	54	7%
不 明	2	0%
<b>A 厳しい←→優しい B</b>	802	802
Aに近い	351	44%
どちらかというとAに近い	293	37%
どちらともいえない	86	11%
どちらかというとBに近い	48	6%
Bに近い	24	3%
<b>A きれい←→汚い B</b>	802	802
Aに近い	8	1%
どちらかというとAに近い	44	5%
どちらともいえない	244	30%
どちらかというとBに近い	338	42%
Bに近い	168	21%
<b>A 素敵な←→平凡な B</b>	802	802
Aに近い	35	4%
どちらかというとAに近い	106	13%
どちらともいえない	435	54%
どちらかというとBに近い	173	22%
Bに近い	53	7%
<b>A 派手な←→地味な B</b>	802	802
Aに近い	2	0%
どちらかというとAに近い	3	0%
どちらともいえない	100	12%
どちらかというとBに近い	371	46%
Bに近い	326	41%

介護についてのアンケート 調査結果データ

あなたが思う「介護の仕事」とはどのようなものですか。	N %		
	A 簡単な仕事である←→難しい仕事である B	802 802	
	Aに近い	2 0%	
	どちらかというとAに近い	8 1%	
	どちらともいえない	61 8%	
	どちらかというとBに近い	272 34%	
	Bに近い	459 57%	
	A 資格は必要ない←→資格が必要である B	802 802	
	Aに近い	9 1%	
	どちらかというとAに近い	23 3%	
あなたが抱く次にまづかかる。語句にどのような	どちらともいえない	81 10%	
	どちらかというとBに近い	342 43%	
	Bに近い	347 43%	
	A 安定している←→不安定である B	802 802	
	Aに近い	46 6%	
	どちらかというとAに近い	108 13%	
	どちらともいえない	284 35%	
	どちらかというとBに近い	242 30%	
	Bに近い	122 15%	
	A 人が足りている←→人が足りない B	802 802	
あなたが抱く次にまづかかる。語句にどのような	Aに近い	2 0%	
	どちらかというとAに近い	7 1%	
	どちらともいえない	31 4%	
	どちらかというとBに近い	188 23%	
	Bに近い	574 72%	
	A 仕事に見合い報われる←→仕事の割に報われない B	802 802	
	Aに近い	3 0%	
	どちらかというとAに近い	14 2%	
	どちらともいえない	126 16%	
	どちらかというとBに近い	278 35%	
あなたが抱く次にまづかかる。語句にどのような	Bに近い	381 48%	
	A 女性が多い←→男性が多い B	802 802	
	Aに近い	168 21%	
	どちらかというとAに近い	334 42%	
	どちらともいえない	269 34%	
	どちらかというとBに近い	23 3%	
	Bに近い	8 1%	
	お年寄り	802 802	
	良いイメージがある	51 6%	
	やや良いイメージがある	188 23%	
あなたが抱く次にまづかかる。語句にどのような	どちらともいえない	369 46%	
	あまり良いイメージがない	156 19%	
	良いイメージがない	37 5%	
	不 明	1 0%	
	老人ホーム	802 802	
	良いイメージがある	13 2%	
	やや良いイメージがある	97 12%	
	どちらともいえない	311 39%	
	あまり良いイメージがない	316 39%	
	良いイメージがない	64 8%	
あなたが抱く次にまづかかる。語句にどのような	不 明	1 0%	
	介護	802 802	
	良いイメージがある	23 3%	
	やや良いイメージがある	97 12%	
	どちらともいえない	286 36%	
	あまり良いイメージがない	311 39%	
	良いイメージがない	84 10%	
	不 明	1 0%	
	Q14 若者の就職が厳しくなっている現在の現状で、あなたの介護の仕事に対するイメージは変わりましたか。	802 802	
	かなり良くなった	4 0%	
あなたが抱く次にまづかかる。語句にどのような	やや良くなった	35 4%	
	どちらかといえば良くなつた	99 12%	
	どちらともいえない	598 75%	
	どちらかといえば悪くなつた	45 6%	
	やや悪くなつた	8 1%	
	かなり悪くなつた	11 1%	
	不 明	2 0%	
	Q15 あなたは介護の業界や介護の仕事を、主にどのように知りましたか。	802 802	
	親と話をして	222 28%	
	兄弟姉妹や親戚と話をして	78 10%	
あなたが抱く次にまづかかる。語句にどのような	友達同士で話をして	171 21%	
	先輩と話をして	32 4%	
	職場体験やボランティアで	179 22%	
	学校の授業で先生から	233 29%	
	本、映画、テレビから	517 64%	
	その他	45 6%	
	Q16 あなたは介護の仕事を、学校でどのくらい勉強しましたか。	802 802	
	かなり勉強したかったと思う	26 3%	
	少し勉強したかったと思う	241 30%	
	どちらともいえない	194 24%	
あなたが抱く次にまづかかる。語句にどのような	あまり勉強したかったと思わない	193 24%	
	まったく勉強したかったと思わない	148 18%	
	給料が満足のいく水準でありそうだ	802 802	
	そう思う	7 1%	
	どちらかといえばそう思う	26 3%	
	どちらともいえない	94 12%	
	どちらかといえばそう思わない	339 42%	
	そう思わない	335 42%	
	不 明	1 0%	
	休みがきちんと取れそうだ	802 802	
あなたが抱く次にまづかかる。語句にどのような	そう思う	6 1%	
	どちらかといえどそ思う	32 4%	
	どちらともいえない	87 11%	
	どちらかといえどそ思わない	340 42%	
	そう思わない	336 42%	
	不 明	1 0%	
	夜勤などがあって勤務時間が不規則そうだ	802 802	
	そう思う	347 43%	
	どちらかといえどそ思う	310 39%	
	どちらともいえない	52 6%	
あなたが抱く次にまづかかる。語句にどのような	どちらかといえどそ思わない	60 7%	
	そう思わない	31 4%	
	不 明	2 0%	
	社宅や寮が充実していそうだ	802 802	
	そう思う	13 2%	
	どちらかといえどそ思う	91 11%	
	どちらともいえない	438 55%	
	どちらかといえどそ思わない	180 22%	
	そう思わない	79 10%	
	不 明	1 0%	
あなたが抱く次にまづかかる。語句にどのような	自分の仕事ぶりが正しく評価されそうだ	802 802	
	そう思う	25 3%	
	どちらかといえどそ思う	155 19%	
	どちらともいえない	339 42%	
	どちらかといえどそ思わない	203 25%	
	そう思わない	79 10%	
	不 明	1 0%	

## 介護についてのアンケート 調査結果データ

Q 1 7  あなたは 介護 関係 の業界 で の 勤 き 方 に つ い て、 ど の よ う に お 考 え す か 。			N	%
<b>資格取得や勉強する機会が充実していそうだ</b>		<b>802</b>	<b>802</b>	
そう思う	52	6%		
どちらかといえばそう思う	229	29%		
どちらともいえない	312	39%		
どちらかといえばそう思わない	162	20%		
そう思わない	46	6%		
不明	1	0%		
<b>職場の雰囲気が良さそうだ</b>		<b>802</b>	<b>802</b>	
そう思う	22	3%		
どちらかといえばそう思う	128	16%		
どちらともいえない	407	51%		
どちらかといえばそう思わない	187	23%		
そう思わない	57	7%		
不明	1	0%		
<b>家庭生活と両立できそうだ</b>		<b>802</b>	<b>802</b>	
そう思う	8	1%		
どちらかといえばそう思う	52	6%		
どちらともいえない	240	30%		
どちらかといえばそう思わない	333	42%		
そう思わない	168	21%		
不明	1	0%		
<b>仕事を通じて社会に貢献できそうだ</b>		<b>802</b>	<b>802</b>	
そう思う	333	42%		
どちらかといえばそう思う	354	44%		
どちらともいえない	89	11%		
どちらかといえばそう思わない	14	2%		
そう思わない	10	1%		
不明	2	0%		
<b>一緒に働く仲間と協力し合えそうだ</b>		<b>802</b>	<b>802</b>	
そう思う	121	15%		
どちらかといえばそう思う	367	46%		
どちらともいえない	255	32%		
どちらかといえばそう思わない	47	6%		
そう思わない	11	1%		
不明	1	0%		
<b>自分の仕事が人に感謝されそうだ</b>		<b>802</b>	<b>802</b>	
そう思う	272	34%		
どちらかといえばそう思う	372	46%		
どちらともいえない	122	15%		
どちらかといえばそう思わない	24	3%		
そう思わない	11	1%		
不明	1	0%		
<b>仕事にやりがいがありそうだ</b>		<b>802</b>	<b>802</b>	
そう思う	167	21%		
どちらかといえばそう思う	330	41%		
どちらともいえない	244	30%		
どちらかといえばそう思わない	42	5%		
そう思わない	17	2%		
不明	2	0%		
<b>資格や専門知識を活かすことができそうだ</b>		<b>802</b>	<b>802</b>	
そう思う	170	21%		
どちらかといえばそう思う	394	49%		
どちらともいえない	192	24%		
どちらかといえばそう思わない	33	4%		
そう思わない	12	1%		
不明	1	0%		
<b>仕事が体力的にきつそうだ</b>		<b>802</b>	<b>802</b>	
そう思う	451	56%		
どちらかといえばそう思う	279	35%		
どちらともいえない	50	6%		
どちらかといえばそう思わない	11	1%		
そう思わない	10	1%		
不明	1	0%		
<b>自分の将来のイメージが描けそうだ</b>		<b>802</b>	<b>802</b>	
そう思う	12	1%		
どちらかといえばそう思う	44	5%		
どちらともいえない	367	46%		
どちらかといえばそう思わない	237	30%		
そう思わない	141	18%		
不明	1	0%		
<b>Q18 あなたは、介護関係の仕事や職場がどのようにあれば、介護関係の仕事で働きたいと思いますか。</b>		<b>802</b>	<b>802</b>	
介護の仕事が自分に合うなら働きたい	348	43%		
仕事内容に対して給料が高ければ働きたい	398	50%		
将来の見通しが立つならば働きたい	197	25%		
キャリアアップがしやすければ働きたい	95	12%		
労働時間が短いなら働きたい	116	14%		
夜勤が少ないなら働きたい	163	20%		
休日がとりやすいければ働きたい	279	35%		
研修や指導が充分であれば働きたい	151	19%		
精神的・体力的にきつくなれば働きたい	348	43%		
病気・ケガの心配がなければ働きたい	82	10%		
人間関係や職場の雰囲気が良ければ働きたい	308	38%		
どれにもあてはまらない	156	19%		
不明	1	0%		
<b>Q19 あなたは、介護の仕事の給料はどのようにイメージしていますか。</b>		<b>802</b>	<b>802</b>	
給料はかなり高いイメージがある	1	0%		
給料は少し高いイメージがある	38	5%		
給料は普通くらいだというイメージがある	78	10%		
給料は少し安いイメージがある	305	38%		
給料はかなり安いイメージがある	379	47%		
不明	1	0%		
<b>Q20 あなたは、月にだいたい何万円くらいの給料をもらいたいと思いますか。(平均値)</b>		<b>787</b>	<b>787</b>	
平均	31.0	31.0		
全体	802	802		
10万円未満	2	2		
10～15万円未満	13	13		
15～20万円未満	56	56		
20～25万円未満	189	189		
25～30万円未満	171	171		
30～40万円未満	223	223		
40～50万円未満	66	66		
50万円以上	66	66		
不明	16	16		
<b>Q21 あなたは介護に関連する職場体験、インターンシップ、ボランティアなどの経験がありますか。</b>		<b>802</b>	<b>802</b>	
ある	197	25%		
ない	594	74%		
不明	11	1%		
<b>Q21.1 あなたは介護に関連する職場体験、インターンでいつ経験しましたか。</b>		<b>197</b>	<b>197</b>	
小学生の頃	42	21%		
中学生の頃	71	36%		
高校生の頃	49	25%		
大学生の頃	49	25%		
その他	8	4%		
<b>Q21.2 あなたは介護に関連する職場体験、インターンで何で経験しましたか。</b>		<b>197</b>	<b>197</b>	
職場体験学習で	85	43%		
インターンシップで	3	2%		
ボランティアで	90	46%		
その他	30	15%		
<b>Q21.3 あなたは介護に関連する職場体験、インターンでどんな経験をしましたか。</b>		<b>197</b>	<b>197</b>	
お年寄りの話し相手	138	70%		
お年寄りの介護	47	24%		
掃除	43	22%		
その他	24	12%		
<b>Q22 あなたは、将来の目標や自分のやりたいことが、どの程度明確ですか。</b>		<b>802</b>	<b>802</b>	
かなり明確である	124	15%		
やや明確である	303	38%		
どちらともいえない	119	15%		
あまり明確でない	167	21%		
ほとんど明確でない	80	10%		
不明	9	1%		

介護についてのアンケート 調査結果データ

Q 2 3 あなたは将来、何のために働きたいと思いませんか。			N	%		N	%
			802	802	802	802	802
偉くなるため	かなりあてはまる	18	2%	かなりあてはまる	74	9%	
	ややあてはまる	109	14%		ややあてはまる	231	29%
	どちらともいえない	205	26%		どちらともいえない	320	40%
	あまりあてはまらない	293	37%		あまりあてはまらない	131	16%
	まったくあてはまらない	177	22%		まったくあてはまらない	46	6%
人に認められるため	かなりあてはまる	89	11%	働くのは当たり前だから	802	802	
	ややあてはまる	332	41%		かなりあてはまる	208	26%
	どちらともいえない	221	28%		ややあてはまる	374	47%
	あまりあてはまらない	114	14%		どちらともいえない	150	19%
	まったくあてはまらない	45	6%		あまりあてはまらない	33	4%
	不明	1	0%		まったくあてはまらない	36	4%
	貧乏にならないため	802	802		不明	1	0%
	かなりあてはまる	90	11%	Q24 現在、あなたが同居されているご家族 はいらっしゃいますか。	802	802	
	ややあてはまる	315	39%				
	どちらともいえない	247	31%	同居人はいない			
	あまりあてはまらない	110	14%		108	13%	
	まったくあてはまらない	39	5%	配偶者(夫、妻)			
	不明	1	0%		20	2%	
自分の得意なことを活かすため	かなりあてはまる	213	27%	親(父、母)			
	ややあてはまる	379	47%		672	84%	
	どちらともいえない	165	21%	子ども			
	あまりあてはまらない	33	4%		19	2%	
	まったくあてはまらない	11	1%	兄弟姉妹			
	不明	1	0%		476	59%	
やりたいことをするため	かなりあてはまる	317	40%	祖父、祖母			
	ややあてはまる	376	47%		143	18%	
	どちらともいえない	84	10%	その他			
	あまりあてはまらない	16	2%		3	0%	
	まったくあてはまらない	5	1%	不明			
	不明	4	0%		1	0%	
遊びのに必要なお金を得るため	かなりあてはまる	130	16%	Q24 子どもの数(平均値)	19	19	
	ややあてはまる	339	42%				
	どちらともいえない	219	27%	平均			
	あまりあてはまらない	95	12%		1.6	1.6	
	まったくあてはまらない	17	2%	全体			
	不明	2	0%		802	802	
暮らすのに必要なお金を得るため	かなりあてはまる	397	50%	1人			
	ややあてはまる	342	43%		12	12	
	どちらともいえない	56	7%	2人			
	あまりあてはまらない	5	1%		5	5	
	まったくあてはまらない	2	0%	3人			
人と仲良くするため	かなりあてはまる	52	6%		1	1	
	ややあてはまる	266	33%	4人			
	どちらともいえない	339	42%		—	—	
	あまりあてはまらない	109	14%	5人以上			
	まったくあてはまらない	35	4%		1	1	
	不明	1	0%	不明			
人の役に立つため	かなりあてはまる	149	19%	Q25 日ごろの生活でよく話をする人は誰ですか。	802	802	
	ややあてはまる	340	42%				
	どちらともいえない	220	27%	父			
	あまりあてはまらない	66	8%		307	38%	
	まったくあてはまらない	27	3%	母			

介護についてのアンケート 調査結果データ

	N	%		N	%
<b>Q27 あなたが日頃、話をする人数は1日平均で何人くらいですか。(職場内・学校内)(平均値)</b>	<b>795</b>	<b>795</b>	<b>Q34 あなたは学校を卒業(中退)してから、今までに何回職業を変えましたか。</b>	<b>173</b>	<b>173</b>
平均	4.6	4.6	1回	31	18%
<b>Q27 あなたが日頃、話をする人数は1日平均で何人くらいですか。(職場内・学校内)</b>	<b>802</b>	<b>802</b>	2回	21	12%
0人	47	6%	3回以上	19	11%
1~5人未満	219	27%	転職したことない	102	59%
5~10人未満	252	31%	<b>Q35 都道府県</b>	<b>802</b>	<b>802</b>
10~20人未満	213	27%	北海道	42	5%
20~30人未満	37	5%	青森県	4	0%
30人以上	25	3%	岩手県	2	0%
不明	9	1%	宮城県	6	1%
<b>Q27 あなたが日頃、話をする人数は1日平均で何人くらいですか。(職場外・学校外)</b>	<b>802</b>	<b>802</b>	秋田県	1	0%
0人	39	5%	山形県	—	—
1~5人未満	452	56%	福島県	3	0%
5~10人未満	211	26%	茨城県	12	1%
10~20人未満	79	10%	栃木県	10	1%
20~30人未満	10	1%	群馬県	12	1%
30人以上	4	0%	埼玉県	66	8%
不明	7	1%	千葉県	57	7%
<b>Q28 あなたのご両親は、介護の業界や介護の仕事を、就職先としてどの程度魅力があると考えていると思いますか。</b>	<b>802</b>	<b>802</b>	東京都	139	17%
かなり魅力があると考えていると思う	13	2%	神奈川県	73	9%
やや魅力があると考えていると思う	98	12%	新潟県	7	1%
どちらともいえないと考えていると思う	272	34%	富山県	—	—
あまり魅力がないと考えていると思う	322	40%	石川県	4	0%
まったく魅力がないと考えていると思う	97	12%	福井県	4	0%
<b>Q29 あなたのご両親は、介護の業界や介護の仕事を、どのくらいあなたに勧めるとと思いますか。</b>	<b>802</b>	<b>802</b>	山梨県	5	1%
かなり勧めると思う	14	2%	長野県	2	0%
少しあ勧めると思う	82	10%	岐阜県	17	2%
どちらともいえない	152	19%	静岡県	16	2%
あまり勧めないとと思う	340	42%	愛知県	65	8%
まったく勧めないとと思う	213	27%	三重県	14	2%
不明	1	0%	滋賀県	12	1%
<b>Q30 あなたは介護や介護の仕事について、どのようなことを感じますか。自由に記入してください。</b>	<b>802</b>	<b>802</b>	京都府	26	3%
80ページから87ページにて掲載			大阪府	69	9%
*「Q7 介護の業界や介護の仕事は、就職先としてどの程度魅力がありますか」の回答結果をもとに、魅力の程度が「ある」「どちらともいえない」「ない」の3つにグループ化して掲載しています。			兵庫県	48	6%
<b>Q31 あなたは現在、学校に在学していますか。</b>	<b>802</b>	<b>802</b>	奈良県	18	2%
在学している	606	76%	和歌山县	4	0%
在学していない	196	24%	鳥取県	3	0%
<b>Q31.1 現在、在学している学校は次のうちどれですか。</b>	<b>606</b>	<b>606</b>	島根県	3	0%
専門学校(職業訓練校を含む)	69	11%	岡山県	9	1%
短期大学・高専	32	5%	広島県	10	1%
大学	486	80%	山口県	1	0%
大学院	3	0%	徳島県	2	0%
その他	16	3%	香川県	—	—
<b>Q32 あなたは学校を卒業(中退)</b>	<b>196</b>	<b>196</b>	愛媛県	—	—
はい	120	61%	<b>Q35 性別</b>	<b>802</b>	<b>802</b>
いいえ	76	39%	男性	347	43%
<b>Q33 あなたは学校を卒業(中退)してから、どのように働いていましたか。</b>	<b>196</b>	<b>196</b>	女性	454	57%
主に正社員として	82	42%	不 明	1	0%
主に派遣社員・契約社員として	16	8%	<b>Q35 年齢</b>	<b>802</b>	<b>802</b>
主にパート・アルバイトとして	74	38%	18歳	78	10%
仕事をしたことがない	23	12%	19歳	169	21%
不明	1	1%	20歳	179	22%
			21歳	199	25%
			22歳	175	22%
			不 明	2	0%

Q3 あなたがQ2でお答えになった関心程度(かなり関心がある～ほとんど関心がない)の理由について、以下に記入してください。

Q2 「1.かなり関心がある」「2.やや関心がある」 → Q4 「1.かなり就きたい」「2.やや就きたい」 (N=39)	やってみたいから。 就職に關し、介護施設の話を少し聞いた。 高齢化社会に介護は必要だと思うから。祖母が家にいるので、お年寄りの面倒を見ることに抵抗がある。 現在、介護福祉の専門学校に通っているから。 最近、テレビドラマに取り上げられていたので。 身近な人が介護しないといけない状況になった時、自分が介護の免許を持っていれば、普通の人と比べて楽だろうし、介護される方もどれだけ楽できるかなど色々興味があるから。 以前は、将来、介護の仕事に就きたいと考えていたため。 福祉の大学について、その道に進む予定だから。 小学校・中学校のころ、自分のクラスに障害者がいたこと、自分の祖母が要介護者であることから。 今は高齢社会で、介護が必要な人が多いから。 つい最近、ホームヘルパーの資格をとった事と自分のまわりに高齢者が身近にいるので関心があります。 やってみたい仕事ではあるが、資格がないため、関わりが持てない。 現在、管理栄養科に属していますが、食事を通じて関わりたい。 福祉関係の勉強をしているから。 職業として、1つの選択肢でもあるので。 以前におじいちゃんがいて、病気になったときに、世話をしたときに感じ事や、人に喜んでもらいたいから。 人の役に立ちたいから。 将来、親を介護することを考えて。 ホームヘルパー2級を取得しているから。
Q2 「1.かなり関心がある」「2.やや関心がある」 → Q4 「3.どちらともいえない」 (N=87)	大学で福祉の勉強をしていたから。 「介護」という言葉をテレビや新聞などで、よく聞くようになったし、自分自身が介護をしたことがあって、とても身近に感じられるから。 高齢者のお世話をするのが好きだから。 福祉系の大学に通っているため。 祖父母が4人とも健在だが、いつ何が起るかわからないと思うと他人事ではないから。 同居の祖母がデイ・ケアに通っている。 まだ先のことと思うが、知識として知っておきたい。 看護大の学生である。関連があるために。 祖母が特養老人ホームに入所していたから。 学生の頃、介護の仕事を考えていたから。 一度、進学の際、介護士の道を考えたから。 社会問題になっているから。 いつか何かしら身の回りに介護を必要とする人が出るかもしれない、ある程度は知っていたほうが、良いと思ったため。 家族が介護の仕事をしているので、どのような事を毎日するのか気になってるので。あと、高齢化社会には、介護が必要だとニュース等で流れているからです。 私の通っている大学に社会福祉学科があるので。 少し前からニュースやドキュメンタリー番組で様々な問題が取り上げられていたため、気にかける必要のある職業だと思うから。 小学校の時などにボランティアで介護に少し関わりをもったことがあったから。 今とても注目されていて、よくテレビなどで見るからです。 将来にも関係あることだから。 高齢社会に必要なことだから。 老後について考える程度。 いずれ家族の介護が必要になるであろうから、その方法を身に付けられれば良いと思う。 祖父が亡くなるとき(2年前)、介護が必要だったから。 祖父が介護を受けていたので。 学校で勉強している。 仕事の内容をよく理解していないので、はっきり言えない。でも、今後、日本は介護を必要とする人が増えるので、考えいかなければならないと思う。 両親の祖母の介護を見て。 年上の方と接するにあたり、障害などを持つ人に、心配ができるようになります。 公共サービスに関心があり、介護はこれからより変わっていくと思われるから。体が不自由な人の手助けが少しでもできれば良いと思う。 まだ詳しくわからない。 別居の母方の祖母が要介護3～4で、老人ホームに入居中で他人事ではないので…。 人手不足で困っているううなので。 友達が目指しているから。 母がヘルパーの資格を取得したり、祖父母が高齢になり、ヘルパーの方に来てもらっているたりするから。 ドラマなどでまれに、介護が出てくるので、その時、目で見るくらいである。介護にもいろいろな種類があるので、少し関心がある。 日本が高齢化社会になったから。 身近でそのような仕事を見たことがあるから。学校の授業で習ったことがあるから。
Q2 「1.かなり関心がある」「2.やや関心がある」 → Q4 「3.どちらともいえない」 (N=87)	

祖父が介護が必要で、よく介護士の方にお世話になっています。ですので、私もそういった仕事には興味があります。	自分の親の介護、また、配偶者の親の介護を、もししなければならなくなつた時に、少しでも、役に立つと思います。
おばあちゃんが、寝つきりになつたので、介護には関心がある。	これから高齢者が増えていくので。
高齢化により、今後、ますます必要な仕事になってくると感じているから。	将来、役に立つかかもしれないから。
祖父が介護を受けていたので。	これからの時代は必要だから。
この先が少し不安。親が、また、結婚してからの向こうの両親に、もしもの事があつたら、してあげたい。	親が介護の仕事をしていて、いろんな話を聞き、少し興味がわいた。
特になし。	高齢化が進んでいるから。
ヘルパーの資格などに興味があったから。	
Q2「1.かなり関心がある」「2.やや関心がある」 → Q4「4.あまり就きたくない」「5.まったく就きたくない」(N=91)	
これから必ず必要になることだから。	いざれ自分の両親も年をとっていくので、介護の知識などが必要になってくると思うので。
家で祖母の介護をしているので、関心があります。	母親が訪問看護の仕事をしているので、内容には少し関心がある。
実習に行って、体験させていただいたから。	将来、身内の何かにもし、介護が必要になつた時に、少しでも知識を持っていたほうがいいと考えたから。
少子高齢化がますます進んでいくため、若者の負担が増加することや、高齢者の孤独死など、多くの問題があるため。	現在、介護が必要となってきている方々が増えて、ニュースなどでも話題になっているので。
自分の周りに介護をうけている人がいて、自分自身も将来、介護を受ける側になるかもしれないから。	高齢化社会において、介護を必要とする人々が多くなり、他人事ではない。
自分が将来どのような介護を受けられるか気になるため。	看護師として働く予定のため、介護職とは関わりがある。
親戚で介護の仕事をしている人がいるため。	長男なので、将来、親の介護をするだろうから。
両親の事を考えたとき、将来直面する問題だから。	将来、関わりがあるから。
これからとても必要になってくるのは分かりますが、大変そうなのであまりやりたくないです。	やっぱり、将来、親の面倒を見なければならない、不可避的なものであるため、少しあはれがあるから。
医療系の話題に興味があるから。	介護等体験として、施設に行ったことがあるため。
テレビなどで日々報道されているので、少し関心があります。	介護が必要な人が増えてきていると思うから。
社会的に必要とされている今としても必要とされているのに、待遇が良くないと思懸念され始めてしばらく経つのに、改善のめどが立っていないことが問題になっているから。	自分は介護に就くつもりは、あまりありませんが、医療という介護と近い分野で働きたいと思っていて、介護には関心があります。
今後、必要となる産業だから。	祖父の痴呆が、かなり進んできた。
今後、さらに介護を必要とする人(主に高齢者)が、増えると思われるため。	これからは、高齢社会なので、介護等の仕事に興味はあるが、自分でしようとは思わないでの。
祖母のボケがハッキリと出始めたので。	高校のときに、ボランティアで活動したことがある。
高齢化が問題になってるから。	祖母がいるので。
祖母が介護を受けているので、時々見ることがある。介護の仕事は大変だなと思う。	介護の分野は、これからの社会で必要性が高まるから。
少し前から、祖母が肘と背骨を疲労骨折して、動けない状態なので、療養中のことについて、どのようなことをすればいいのかについての関心を持った。	ニュースで介護疲れによる自殺や心中などを聞くようになり、また、介護問題のニュース内での特番をみて、現状を知ったため。
長男であるし、両親の世話をする立場にあるから。	おばあちゃんがグループホームに入居しているから。
重要な仕事だと思うので。	自身に介護が必要な人がいるので。
祖母に必要なため。	これからの時代、ますます、求められていくものであるから。
今、就活中で、介護系の仕事も考えたことがあったから。	これからいるかもしれないから。
テレビでたまに介護の特集をやっているが、それを見ると、長い労働時間に安い給料というように、厳しい状況らしく、あまり就職先としては魅力的ではないが、この不景気なので、もし、どこからも内定がもらえなかつた場合、介護といふ道も考えないといけないのかなあと思っているから。	祖父母が入院し、看護の方に介護を手伝ってもらいました。私の力では、抱き起こすこともできないのに、介護の方は上手に抱き起こしてくれました。私自身でやってあげたかった気持ちと、私ではできないのではという気持ちからです。
テレビなどでよく話題が取り上げられているので、やや関心があるから。	老人ホームでのボランティアの経験があるのと、他人事ではなく、いつか祖父母・両親にも必要になると思うから。
将来のため。	将来、家族に介護が必要になった場合、役に立ちそうだから。
酒井法子被告が介護の学校に入学するとのことで、そこそこ注目している。	いとこが将来、その仕事に就くかもしれないから。自分の祖父母がそろそろ介護が必要になってくるから。
祖母が81歳で、最近、あちこち体の不調を聞くようになってきたため、自分ができることがあるのではないかと感じているから。	祖父を祖母が介護しているため、よく介護について考える機会があるため。
大学で福祉を学んでいるので。	親をいつか介護しなくてはならなくなる可能性もあるから。
自分も年をとつたら、介護が必要になるかもしれない。	自分にも関係があることだから。
高齢化社会になって、介護が必要になる人が増えると思うから。	公共性の高い仕事だから。
生活に助けのいる祖母が同居していて、母がヘルパーをやっていたことがあるから。	いざれ親の介護をする時間が来るだろうが、今はまだ現実的ではないので、あまり真剣には考えていない。
現在、身内で介護が必要な人がいて、社会的にも高齢化が進み、介護が必要な人が多いから。	身内に介護が必要な人がでてきたので、家庭でやることがあるか、いろいろ調べようと思っているから。
現代社会で高齢社会の日本では、今後も重要視される職業だと思うから。人員、職場不足がテレビなどで取り上げられ気になるから。また、自分の両親も将来介護が必要になるのではないかと心配だから。	大学で管理栄養士の専攻をしており、介護職に関心がある。また、祖母が現在、要介護であり、同居しているため。介護施設へ訪問したこともある。
一度、介護施設で働いたことがあり、大変さを知つてはいるが、ニーズ的にはあるので。	仕事はきついのに、給料はとても低いというので、いったいどのような職であるのかが気になる。
介護する人がこれから起りそうだからです(祖父、祖母が同居)。	将来、介護する必要が出てくるかもしれないから。
主人が仕事をクビになつてしまつたら、私が変わりに働く職種として、介護や福祉の業界が良いと思っているから。	高齢化の今、自分のような若い人が、お年寄りを支えていかなければならぬと思うと、少しあはれがあるから。
将来、家族が介護を必要とするかもしれないから。	少子高齢社会の日本で、介護の問題は無視できないから。
いざれ将来、自分が受けのことであるから。	周囲に介護職の人が多い。
以前、介護の仕事をしていたので。	専門学校時代、ホームヘルパー2級を取得したから。
高齢化社会だから。	高齢化社会だから。
いざれ、自分も、自分の親なり介護しなくてはならない立場になるため、いろいろ知つておきたいこともあるから。	大切な仕事で、これからも絶対になくてはならない仕事の一つだと思いますが、自分がこの仕事になることはないと思います。
興味があるから。	大学でのボランティア活動で少し興味をもつたので。
介護の体験学習や、実際に施設へ行き、1週間、介護実践を行つてみて、今の老人ホームの実情を少しおもとわかつた気がしたから。	今は近いものではないですが、いつか自分も親などを介護する立場になるかもしれない。
今後の社会に必要だから。	母がその仕事をしている。祖母が世話になるかもしれない。
自分の親や祖母が介護を必要とする状況になったときに、ある程度の知識はもつておきたいから。	将来、身内が介護を必要になる可能性があるかもしれないが、無知なままでいるよりは、色々と知っておきたいと思う。
特になし。	

Q2「3.どちらともいえない」 → Q4「1.かなり就きたい」「2.やや就きたい」（N=2）	
介護そのものが仕事として、とても関心は高い。人のためにもなるし、自分のためにもなると思うから。ただ、仕事内容をニュース番組で見ていると、ハードだし、表には見えない辛い場面も多そう。そして、そんな強い責任感や忍耐は私にはないと思うから。	実際のところ、よくわからないので、どちらともいえない。
Q2「3.どちらともいえない」 → Q4「3.どちらともいえない」（N=39）	
高齢社会に伴い、求職数は確実に増加するだろうから、就職先の一つとしては意識しなければならないと思う。また、自分の両親の将来のことを考えると、自分自身での介護などについても考えねばと思う。一方、厳しそうなイメージで、避けたいところと思う。	介護の仕事に就いている人々の話を聞いたり、介護の現場を見る機会があつたため、ある程度の仕事内容は知っていること。また、その際、感じたのが、大変で難しそうな仕事という印象を受けてしまったことから、自ら新たな介護について知りたいと思うことがなさそうなので。
関心はあるが、今身近にそういう問題がないから。	身近な問題として考えていない。
関心はあるが、自分自身が体に疾患があるので、資格取得などに不安があるから。金銭的にも余裕がないので。	大変な仕事で必要な仕事だと思いますが、自分がもし行うとしたら考えてしまう。
仕事として考えたときに、自分の体力では、介護の仕事はできないと思ったので。	身近な人に介護が必要な人がいないため、介護について良くわからないから。
特になし。	自分に向いているかどうか、よくわからない。
特になし。	特になし。
身近に介護の仕事をしている人がいないので。	あまり介護の仕事に触れたことがないのから。
しんどさを知っているので。	そこまでまだ考えていない。
介護と接する機会が、ほとんどないため。	あまり知らないので、よく分からない。
特に介護を必要としている方が近くにいないから。	仕事がきつそう。
周囲に介護を必要とする人がいなく、身近に感じないから。	介護の仕事をあまり知らないから。
素敵な仕事だと思うが、自分に合うと思わないから。	あまり介護の仕事を知らないから。
実際に行ったことがないが、テレビ等で現場は見る。	必要な仕事であるが厳しい。
大変そうだから。	進路の選択肢のひとつであるので。
実感がない。	身近に必要としている人がいないので、実感がないため。
あまり介護についての知識がなく、知る必要があると思うが、特に何もしていないので。	両親もまだ若く、周囲にも介護を必要とする身内もないのでわかりません。
現在、必要性がない。	他にやりたい仕事がある。
興味がないから。	やってみないとわからないと思うから。
接点が無い。知識がない。しかし、近い将来、自分にも共通することがあります。	重要な仕事の1つだと思うが、自分がその仕事に携わる気持ちが、今のところ無いから。
あまり考えたことがない。	
Q2「3.どちらともいえない」 → Q4「4.あまり就きたくない」「5.まったく就きたくない」（N=92）	
身内が要介護の状況なら関心があるが、ないので、それほど関心がない。	なんとなくイメージはあるが、具体的な仕事を知らない。大事な仕事だと思うが、キツイ、給料が安いとの話が多い。
なんとなく。	特になし。
身近にそういう人がいないから。	特になし。
現在、身近に介護が必要な人がいないものの、いずれ自分にも関わってくることだから。	身近に介護が必要な人がいないから。しかし、介護に関心を持つ必要があるとは思う（社会の状態から考えて）。
実際、介護の現場はどのような感じなのか、関心はあります。ただ、知るのが怖くて、なかなか調べようとする時はありません。	介護は将来、必要になるとは思うが、今の段階で家族に介護の必要な人がいないので、実感がわからない。
興味はあるが、仕事にしたくはない。	仕事がつらうなので。
今の時点では、それほど身近ではないため。	今のところ、介護の必要な人が家族の中にいないから。
知り合いで介護の仕事をしている人がたくさんいて、これからよりいっそう人手が必要な職だと思うので、関心がないことはありません。でも、自分自身は絶対に就くことがないと思うので、どちらとも言えないです。	ゼミで少子高齢化について、触れることが多く、知識は増えたが、身近に介護が必要な人がいないため、関心があるとは言えないから。
自分の身近に介護をしている人がないので、現実感がない。	誰かの介護をすることになるだろうとは思っても、そこまで深く関心を持つまではならない。
自分の家族で今現在、介護を必要としてはいないが、将来、その可能性はあるので。	テレビや友人との話の中で、見たり聞いたりするがある程度だから。
特になし。	自分の仕事としては興味がない。
身近で介護に関わったりしている人がいないから。	祖父が障害者なので、多少は関心がある。
大変な仕事だとしか思えないでの。	看護の仕事をしたいと思っているから。
あまり身近でないから。	今のところ、親の介護の必要もなく、身近なものでないから。
今後の日本に必要なことだと思いますが、大変そうだと思うから。	今、祖父も祖母も元気で、まだ介護に関して実感がないから。
忍耐力が必要で、とても大変な仕事なので、自分ではやりたくないと思っているが、いずれは両親の介護をしなければならないだろうと思うから。	私は介護関係の仕事に就くつもりはないので、詳しく知りたいとは思ったことはないのだけれど、友達に介護の仕事をしている人がいるので。
お年寄りとの会話は楽しいが、他の仕事はきつそうに思う。	今、大きな問題だから。
将来、親が介護が必要となるかもしれないと考えると、少し関心がある。	将来的には、自分にとって身近なものになるとすると、少し関心があるが、仕事という意味ではほとんど関心はないから。
自分の家族が介護が必要になった場合は仕方がないが、自ら進んで介護したいとは思わないため。	祖父が介護を必要とする歳に入ろうとして、ある程度の知識はあったほうがいいと思う。でも、仕事というまでは、やりたくないから。
自分との接点がないから。	介護の仕事は、素晴らしい仕事だと思うが、とても体力的にも精神的にも疲れ svo; るので、自分には向いていないと思ったから。
高齢化社会を迎えて、介護に関する話題は出て気になることは気になるが、それほど関心は高くないから。	自分のまわりに介護が必要な人がいないので、今はあまり関係ない気がするが、将来的に親も高齢になるので、無視はできないので。
興味がないわけではないが、身内に介護が必要な人間がいないので、深く気にしてはいない。	介護に関心を持つほど、触れる機会がないのでなんともいえないから。
母が、ヘルパーの仕事をしていたり、祖母がヘルパーの介護を受けていたりして、身近に感じているが、自分の仕事にしようとは思わないから。	老人介護施設などの事業者の実態を知っているし、介護の仕事は労力の割りに賃金が少ないので、仕事には興味はない。しかし、なくてはならない仕事であるから。
特になし。	身近に介護する人もしている人もいないから。
介護の仕事がどのよのものか知りたいという気持ちはあるが、実際に知るために努力をしているわけではないし、介護に関係のある仕事に就こうという気持ちもないから。	母が介護の仕事をしており、話を聞く限りでは、関心がなかったため。
知っているべきであると思うが、自分が介護の仕事に就くとは思えないで、あまり関心を払えないでいる。	以前、介護の仕事をしたかったため、高校で体験をし、自分の体力では無理だと感じたから。
介護についてよく知らないから。	自分の周りに介護関係の仕事についている人がありいないから。
常に誰かの介護をしなければならなくなったら、いろいろ関心がでてくると思うが、今はそれでないから。	いずれは自分と関わりが深くなることだと思うが、今はまだその実感がないので。
仕事としてやっていくことに興味はないが、学ぶことで祖父・祖母にしてあげることが何かできるなら学びたいと思うので。	介護等体験で教職につながるものを見つかったが、介護について改めて勉強しようとは思わないから。
将来、自分が働きたいと考える職ではないから。	自分の身近に介護が必要な人がいないので。

社会問題としての関心は、若干だがあるという程度。 特になし。 特に就職したいという関心がないため。 まわりにいないから。 親が元気なので、実感がない。 介護については、少し関心はあるけど、自分の仕事にしようとは思わないから。 大学が理工学部のため、当分野は距離感有のため。 詳しく知らないから。 国策として支援すべきだと思う一方、身边に被介護者及び介護職の人がいたため、あまり実感がわかないから。 自分には、現実的ではないと思っているから。 大事な仕事だと思うが、もう将来の仕事を決めているから。 仕事自体には、特に関心がないが、自分たちの世代でも人手が足りていない将来を伺わせる話題がニュースなどであがるため。 身近にそういう人がいないので、あまり関心がない。 特になし。 スゴイ仕事だとは思うけれど、汚い仕事は嫌だなと思う。 仕事の内容がよくわからない。 Q2「4.あまり関心がない」「5.ほとんど関心がない」 → Q4「1.かなり就きたい」「2.やや就きたい」(N=0)	仕事が大変そうだから。 私にとって、あまり身近なものではないから。 今はまだ介護するというイメージがわかないため。 なってみないとわからない。 他のことで手いっぱいです。 自分で介護の仕事に就こうとは思わないが、高齢化社会などで他人事ではないため。 特になし。 介護の仕事が必要なのはわかるが、職業にするつもりがないから。 実際、母が祖父の介護を毎日しているので、大変さも多少分かりますので、どちらとも言えません。 少ししか知らないので、関心があるとは言えないので。 大変そうなので、仕事としては難しいと思います。でも、自分の親をいざれ介護することを考えると、無関心ではいらっしゃらないとも思います。 身近に介護が必要な祖父・祖母がおり、介護の大変さがよくわかるので、仕事としてはやりたくない。 よくわからない。 興味はあるが、自分が就きたい仕事ではないから。 必要な仕事だとは思うが、自分にはムリ。 特になし。
Q2「4.あまり関心がない」「5.ほとんど関心がない」 → Q4「3.どちらともいえない」(N=14)	身近で介護に携わっている人がいないので。 日常生活で介護についての情報を得る機会があまりないから。 自分の周囲に必要な人がいない。 あまり面白くなさそう。 特になし。 仕事の内容がよくわからない。 父方、母方の祖父母はまだまだ元気で、介護を必要としているため、実生活で介護に関わったことがなく、仕事の内容や雰囲気もよくわからない。大学では、理工系学部に所属していて、先輩や友人の中で、介護業界を目指している人もいないため、将来の就職先として考えたこともないから。
Q2「4.あまり関心がない」「5.ほとんど関心がない」 → Q4「4.あまり就きたくない」(N=438)	「5.まったく就きたくない」(N=438) 詳しくわからないから。 身近に感じられていないから。 介護という言葉はよく聞くけれど、具体的にどのようなことをするのか実感がわかないため。 身近なものじゃないので。 仕事がつらいわりに、給料とか安いみたいなので。 身近に介護を必要としている人がいない。 介護の現場を直接見ているので、本当に胸がつぶれる様な思いをしている。できれば、職業として関わったくないのが本音です。 今、情報システム関係の専門学校に通っていて、介護について知ることがない。テレビの番組の中で、介護(昨年の朝ドラ・NHK)が出るくらい。 自分にとって、身近ではない問題だと考えているから。 大変そうだから。 大変な仕事だと思うから。なりたいと思わないから。 今のところ興味がない。 身近に介護を要する者がいないので、いまいち実感がわかず、テレビのニュース等で見ても、それほど気にかけて見ず、結果、関心がもてない。 身近に介護が必要な人がいないから。 身の回りに介護の必要な人がおらず、自分自身も介護を仕事にしようとは思っていないから。 まわりにそういう人がいないから。 他になりたい仕事があるので、介護には関心ありません。 特になし。 興味がない。 特になし。 介護問題については、多少、興味はあるが、自分が介護をするとなると、別の問題であるように思うので。 介護を必要とする人がいないから。 あまり良いイメージがないから。 自分ではやりたいと思わないから。 介護をしたくないから。 大変な仕事だと思うし、今の仕事で満足しているから。 あまり気にしたことではないから。 将来就く仕事として考えていないから。 身近にいない。 テレビや本でしか見たことがないので、働くことを考えたときに、具体的なイメージがわかないから。 周りに介護を必要とする人もいないから、あまり興味がない。 自身にあまり、直接的な接触がないため。 自分でしたいとは正直思わないから。 周囲に介護を必要としている人がいないから。 大変で難しそうだから。 周りに介護度が高い高齢者がいないので。 大変そう。 今、やりたい仕事があるから。 大変そだし、賃金が安いため。
Q2「4.あまり関心がない」「5.ほとんど関心がない」 → Q4「5.ほとんど関心がない」	自分は現在、薬学部に通っており、将来、医療に携わる身として、お年寄りに携わる仕事(薬剤師など)に就く可能性はあるが、お年寄りのケアや世話そのものを中心にするというのは少し違うかな、と思うため。 労働とそれに対する賃金が割りに合わないから。 介護が必要な人、介護している人が身近にいないから。介護の仕事に関わりたいと思わないから。 世話をするのが苦手だから。 介護の仕事に就く予定はないから。 特になし。 介護を必要とする人が身近にいないから。 介護に対して、ハードな仕事というイメージが強すぎるから。 人手が足りない現場でやっていける自信がない。人の世話をしたりするのが、苦手だから。 大変そだから。 わからない。 現在、自分自身に介護があまり身近ではないので。 仕事がキツそう。 現状の仕事で十分に満足しているから。 興味が持てないため。 地味な仕事で貢献度の割りに報酬が少なうそだから。 将来、介護の仕事に就くことはないと思うから。 自分の身近なこととは思えない。いざ、必要となったとき調べればよいと思う程度。 テレビでは見るが、実際にしたことがない。 就きたいと思わないし、まだ必要と思わないから。 身近に介護が必要な人がいないため。 良く知らないし、今の自分にあまり関係がないので。 仕事としては、したくないから。 まだ関係ないと思っているので。 周囲に介護する人がいないから。 身内に介護が必要な人がいないから。 介護士は現在、少ないようで、大変だと聞いているから。

介護が必要な人が身近にいないから。自分に向いていると思わないから。	大学では、理工学部で学んでおり、内容として、介護とは関係なく、将来的に仕事で関わる可能性が低いため。
介護を必要とする人が、周りにいないから。	大変な力仕事だし、給料も少ないから。
身近に介護を必要とする人がいないから。	介護自体が嫌い。
今のところ、介護に関わる必要がないので。	人の身の周りの世話をするなどの仕事はしたくないから。
近くに介護が必要な人がいないので。	周りに介護を必要としている人がいないので。
身近に介護が必要な人がいないし、自分には合わないと思うから。	介護というものが、まだ身近に感じられないから。
キツそうだから。	身のまわりに介護を必要としている人がいないから。
大変な仕事であるというイメージから、あまり自分の仕事にしたいという意識がない。	自分の身の回りに介護をされていたり、介護の仕事をしている人がおらず、危機感がわかないから。
この仕事をあまりやりたくないから。	身近に介護が必要な人がいない。
なんとなく。資格をとるのが難しそうだし、仕組みがよくわからない。	他人のお世話はできないと思うから。向いていないと思うから。
今は介護が必要な家族と一緒に住んでいないため、あまり身近なことではないし、介護の仕事は大変そうだから。	学生時代に体験させてもらったが、1日だけでも、その大変さや辛さがあり、良い面よりも嫌な面ばかり知ってしまったから。
良いイメージがない。	身のまわりに介護が必要な人間がいないため。
今のところ、家族に介護が必要な人がいないから。	割りに合わない仕事だと思うので。
必要ないから。	今現在、家族に必要性を感じないから。
身内に介護が必要な人がおらず、また将来就く職業として介護を考えていないから。	現在の自分の周りに必要としている人がいないため。友人の間で、介護関係の人がないため。
大学の授業で、介護とは関係のない分野を専攻しているため。介護より、他に興味のある仕事があるから。	老人が好きではないので、老人と関わる仕事である介護には興味がないため。
体力がいる仕事だし、大変だというイメージしかないから。	介護とは別の職に就きたいと考えているため。
大変そう。	身近じゃないから。
希望の分野の仕事でない。	今のところ、介護の必要性がないから。
身内などに介護を必要としている人がいない。	身近にそのような人がいないため。
重労働のこと。	自分の普段の生活と関わりがないから。
自分の事もありできていないので、介護は私にはできないと考えているから。	現在、自分の周りに介護が必要な人がいないので、まだ関係がないと思っているから。
介護は重労働というイメージがあるし、お年寄りとの会話も苦手なので、自分がその仕事に就くことはないと思うから。ただ、誰もが、無関係でないということで、最低限知っておかなければ、という考え。	3K職場だと言われているし、実際、それが正しいと思うから。低賃金で昇給もなければ、独立もできない。金持ち老人（何億円もの資産のある人）は相応の負担をすべきだと思う。
身近に感じることができない。	介護関係の仕事は大変なイメージがあるから。
興味がないことと、面倒そうだというイメージから。	興味がない。
身近にいないので、実感がない。	今している仕事が好きだから。
介護の仕事へ就きたいとは思っていないから。身近に介護を必要とする人がいないから。	大変そうなイメージがあり、自分自身得られるモノが少ない印象だから。それ以外にやりたいことがあるから。
正直、他人事と思っている部分がある。	福利厚生・労働条件・環境を考えると、働きたいとは思えないから。
介護について関わる機会がほとんどなく、他のことに興味を持っていたので。	体力的に大変なわりに給料が安いから。高齢者と毎日関わるのは疲れそうだ。
身近に介護を必要とする人がいないから。	仕事内容が、ハードであるため、自分には向いていないと思うから。
よくわからないので。	身近に介護が必要な人がいないから。
現在、必要性を感じないため。	大変なお仕事だと思うので、あまりやりたくないと思っているから。
介護は自分にとって、あまり差し迫った問題ではない。	普段の生活に接点がないから。
差し迫っていない。	身近に要介護者がいないから。
今、学校で介護の勉強をしていないから。	大変そうだから。
浪人中につき。	老人はくさい。重労働。
介護の仕事にもいろんな種類の仕事があると思うが、どれも精神的に大変な仕事だと感じるから。	激務薄給として有名。体力が続かない限り、仕事として成り立たないため。
仕事への知識がほとんどないので。	身近に介護を必要とする人や介護の仕事に就いている人もいない。
身近に介護の人がいない。	特になし。
特に理由はない。	自分の周りに介護が必要な人がいないから。
特になし。	興味がない。
他の事で忙しいし、興味がないから。	介護は大変なことだと思うから、全くやる気が起きない。
将来、福祉関係の職に就くことは考えていないから。	大変そうだが、お金もあまりもらえないイメージがあるから。
一度体験したことがあるのですが、とても大変で自分にあまり合っていないと思ったので、介護や介護の仕事には関心がないです。	身近に介護の必要な人がいないので。自分には、とてもできない仕事だと思うので。
良くわからない。	自分にとっては、身近でなく、興味もないから。
他にやりたいことがあるので。	仕事がきつそうだし、給料が安いから。
身近に介護の必要な人がいないから。	人の介護はしたくないから。
あまり介護について関わりを持つことがないので。	介護職は仕事の割りに、給料が厳しく大変ということをよく聞くので。
身の回りで、介護をしている人があまりいないため。	人の世話は苦手だから。
介護そのものが、よくわからないから。	介護の必要な家族がおらず、関心が湧かない。
介護が必要な人が周りにいないから。	大変そうだから。
特になし。	社会的にも重要な仕事であるが、あまり身近に感じられないから。
職業として考えていないから。	介護に関する接点がないから。
経験がありません。	どのような仕事をするのか分からないから。自分には、向いていないと思うから。
私は、将来の夢があるので、今は、介護の仕事に興味・関心はありません。	まだ介護される年齢ではないし、介護をすることについても興味がないから。
親の介護が必要になったら考える（関心をもつ）かもしれないが、今はあまり関心がない。	体力重視なことや、人の世話をすることが好きな人を採用しそうなため。
大変そうだから。	激務薄給なイメージが強いから。
身のまわりにいない。	将来、介護の職に就く予定はないし、親もまだ元気だから。
特になし。	重要な仕事だとは思うが、自分にはやれそうもないから。
他の興味に熱中しているから。	自分が大学で学んでいる事とかけ離れているから。
また両親が元気なので、あまり考えたことない。	特に知ろうとは、思わないから。
今のところ、あまり魅力を感じないから。	身近に介護が必要な年配の方がいなかった。
あまり良く知らないけれど、キツそうだから。	周囲に介護する人がいないから。
まだ身近な事として考えられないから。	関係がないから。
身近に情報が入らないので。	特に理由ではなく、単に関心がないから。
老人と接するのが苦手だから。	自分の周囲に介護を必要とする人がいないから。
あまり知らないから。	興味がないから。

介護について関わったことも深く考える機会もほぼなかったので、あまり身近に感じることができない。	身近に介護を必要とする人がいないこと、また、将来の就職先として介護職を考えていないので。
受験のことでの頭がいっぱい。	あまり考えたくないから(大変そうなので)。
興味ない。	家族に介護を必要な人がいないため。
身近に関係する機会がない。	身近に介護を必要とする人がいないから。
介護より他の事の関心があるから。	大変そう。
あまり身近な問題ではないから。	自分の周りに介護が必要な人がいないから。
介護の仕事よりも、エレクトロニクスに興味があるため。	興味がないから。
自分の周りに介護の仕事に関わる人がいなくて、情報もあまりなかったから。	自分には向いていないと思うし、80歳を超えた二人の祖母が元気なので、実感がないから。
親が元気。	老人の世話を嫌いだから、大変そだから。
身近に介護が必要な人がいないから。	まだ実感が持てない。
大変だという話を聞いたから。	仕事が大変そだから。
今の給料では生活できない。	大変なわりに、給料が安いから。
まわりに介護が必要な人がないので、よくわからない。	大変な割りに給料が悪そう。
良くわからないから。	自分には、向いていないと思うから。
他の分野に進路を考えているから。	高齢者との関わりがあまりないので。
内容を知る機会がないから。	大変そだから。
私などにはとてもできそうにない仕事だと思い、あまり関心をもってはいません。	周りに介護する者がないので。興味がないし、知る必要性を感じていない。
身近に介護する人がまだいないので。	身近に介護関係者がいないから。
あまりキレイな仕事と思えない。	興味がないから。
自分には向いていないと思うから。	他にやりたい仕事が決まっているため。
まわりに介護する者がいないから。	特になし。
他にやりたい仕事があるから。	あまり身近ではないので、関心が向かない。
看護学部に通学しており、将来看護師になるから。	実感がないから。
仕事の内容をあまり理解していないので。	ご老人に興味がない。
親がまだ若いので。	今の自分に全く関係がないから。
まわりにいないから。	介護の仕事は、私には絶対に向いてなく、興味が湧かない。
何をするかわからない。大変そう。	介護の仕事は大変だと思う。
介護の職に興味がないから。	かなりのブラック業界だと聞くから。
以前、要介護の人が家族にいたとき、老いだから仕方がないと分かっていても、気が短い私はストレスにしかならなかった。そのため、介護はできるだけしたくないと思っているから。	祖父が介護を受けているが、私は今現在一人暮らしをしているので、介護の現場を直接見ることが少ない。なので、介護についての関心はあまりない。
触れる機会がないから。	身近に必要を感じたら少しは…。
身近な人に介護が必要な人がないので、あまり関心がない。仕事が大変なイメージがあるので、就きたいとも思わない。	介護は大変そだから。
あまり良いイメージがない。労働が大変なわりに、お給料が安いとよく聞く。	周りにいないから。
自分には向いていない職業だと考えているから。	介護というものは、大変だということがわかるので、あまり関心がない。
まだ身近な人に介護を必要としている人がいないから。	自分の身近に介護を必要とする人がいないから。
自分とは違う世界というか、あまり身近に感じられないというのが、正直なところ。	身近に介護の必要な人がないので、どういった内容の仕事なのかわからないうから。
つらい仕事なので、興味がない。	人助けは苦手だから。
身近に介護の必要な人間がいないから。	仕事がきつくて、大変そだから。
自分の周りに介護を必要とする人がいないので、自分にはあまり関係ないことのように思えるから。	厳しい仕事、汚い仕事。
受け取る側としては興味はあるが、する側としての興味はない。	興味がないため。
大変そだし、給料が少ない。	身のまわりで必要としている人がいないから。
人と接することが苦手だから。	仕事が大変そだから。
介護は老人ホームにまかせたい。	あまり人の接触が得意ではないから。
いずれ自分の親とかを介護しなければいけなくなるので、知っておいたほうがいいのは分かっているが、今はあまり実感がないから。	全く違う分野の大学へ通っている(工学系)。
激務なイメージがあり、大変そうな仕事だから。	他に就きたい仕事があるから。
どのようなものがあるのか、よく知らないから。身近なものでないから。	必要なことだと知っているが、自分の身近にはいないので、関心がない。
今のところ縁がないから。	興味がないため。
自分で手いっぱいだし、周囲に介護を必要とする人がいないので。	自分の身のまわりで、それを必要とする人がいなく、イメージが湧かないから。
特に興味はないから。	興味がない。
興味がないから。	見たことがない。
家族で介護を必要としている人がないため、あまり関心がない。	介護の仕事をしたいと思わないでの。
まだ私が介護されるという実感がなく、また人に奉仕をする仕事より、物やサービスを創り出す仕事に興味があるから。	職業にする気もないし、介護を受けている人が身近にいないから。
いずれ自分の身に振りかかってくる問題だと分かっているが、目をそらすことで逃げているから。	身内に介護を必要とする人がないことと、自分はそういう分野は苦手だから。
仕事に魅力を感じないから。	大変そだし、あまりいいイメージがないので。
身近に介護が必要な人間がいないから。	興味がないから。
給料が安く仕事がきついことは知っているので、自分の仕事にしたいとは思いません。しかし、国家の産業のひとつとして考えると、一定の関心があります。	現在、スポーツ関係の仕事をしていて、さらに来年4月から資格をとってスキルアップするため、スポーツの専門学校に行くことが決まっているため。
身近ではないから。	介護の仕事が好きではないから。
介護を必要とする人間がいないため。	関心がない。
体力的にも精神的にも厳しい仕事というイメージがあり、あまり関心をもつとうことがないから。	自分が将来、就きたい職業とは違うので、関心がありません。
身近に必要とする人がいないから。	人を世話することが得意ではないから。
今のところ、身近ではないし、大変そだから。	周りにそういう人がいないから。
もし自分の周りの家族が介護が必要になっても、兄がやってくれるので安心している。	自分には関係ないから。
介護が必要な人が身近にいないから。	老人が苦手だから。
自分の身の回りに介護が必要な人、または、介護関係に関わっている人がいないので。	給料が安く、重労働だという印象のために、積極的に情報を集めたり、興味をもったりはしないため。
労働に見合った賃金が、支払われていないから。	大変そうで自分にはできない。
介護が必要な家族がないので。	介護にはなぜか興味がない。
介護が必要な人が近しい人にいないから。	老人の相手は嫌いだから。

大変そうだから。 興味がない。	自分が介護にあたるのは、だいぶ先だと思っているから。 理由はないが、興味はない。
母親がホームヘルパーをやっており、勧められるままに自身もホームヘルパー2級の資格を取得したが、その際の体験学習や母親の仕事ぶりを通して、やはり介護の仕事はキツくて、お給料も割りに合わないというイメージが強いので、介護の仕事自体にほとんど関心がない。	自分の親に対しては、将来的にも介護というものを考えるけど、まだ先のことだと思っているし、仕事としては、介護というのを一度も考えたことがない。きついと思うし……。
身近なものでないから。	とても大変な仕事だと聞いたことがあるから。
自分にはまだ介護をする人もいないし。そういう仕事に就くつもりはないので。	地球工学を学んでおり、将来は環境問題の研究を役立てられる職に就きたいと考えているから。
自分には介護の仕事は向かないと思っているから。	トイレの世話ができるかわからない。
身内に介護の必要な人がいないから、イメージも湧かない。	特になし。
自分は将来やりたいと思わないから。	介護の仕事をやりたいとは一度も思ったことがないから。
身の回りに、介護が必要な人がいないから。	他の事に関心があるから。
周りが関係する環境ではない（職場、親戚も必要とする人がいない）。	全く興味がない。
介護の仕事に就きたいとは思わないが、友達が福祉の専門に行っていて、少しは話を聞いたことがあるので。	両親ともまだ介護が必要な年齢ではないので、深く考えたことがない。
特に関心がない。	介護の仕事に興味がないから。
ボランティアでやって興味は持てたが、今は関心が薄れている。	身近に感じられないから。
大変な仕事の割りに給料が安いと聞いたことがあるので、私は絶対就きたくないから関心がない。	興味はないが、祖父が介護施設に入っているので、身近に感じ、介護について、知っておいたほうがいいなあとは感じる。
興味がないから。介護をすることが好きじゃないから。	興味なし。
老人の世話をしたくないから。	人の介護はあまりしたくないと思うから。
今、違う資格取得に向けて勉強しているので。	体力的に自分には向いていないと思っているから。
現場に立ち会ったことがないから。	周りに介護の必要な人がいないので。
介護というものが身近なものでないから。	今、目指しているものが、他にあるから。
介護はしんどいから。	自分には向いていないと思うので。
友人が介護士だが、仕事がきつく、待遇も悪いと聞いているから。	身の周りに介護を必要とする人がいないから。
きつそうな仕事だから。	興味がない。
身近に介護する人がいないからですかね。	人の世話をあまりしたくないと思ってしまうため。
大切な仕事だとは思うけど、やりたい仕事ではないし、詳しく知りたいとも思えない。	お年寄りの人とコミュニケーションを取れる一方で、介護は簡単なものではなく、精神的にも体力的にも困憊してしまいそうで嫌だから。
現在、自分にはあまり関係がないから。	現在、周囲に介護を必要とする人間がいないため。
周囲に、介護が必要な人がいない。	特になし。
自分はまだ若く、関係のない仕事に思えるから。	特になし。
介護をする必要が今のところないから。	体力・精神的にキツそう。賃金が安いイメージがあるから。
あまりいいイメージがないから。	特になし。
介護自体は、とても重要な仕事だと思うが、自分的には、あまり他人に介護されたいとは思わないから。	介護の仕事のきつさというのを一度、聞いたことがあり、今後、仕事の業種を決める上でないなと思ったから。調べる気にもならないから。
自分には向いていないと思うから。	自分と接点がないから。
給料が安い上、仕事が大変と聞いたから。	自分には、とてもできそうにない仕事だから。
特になし。	全く考えたことがないから。
まだ必要にかられていないため、身近で介護を必要とする人がいないため。	自分の周りに介護を必要としている人や、介護の仕事をしている人がいないので、実感がないから。
まだまだ先のことかなあとと思うから。	介護は大変だというイメージがある。
介護の仕事を間近で見たことがあまりないから。	興味がない。
大変そうだと思うので。	あまり興味が持てないから。
家族や身近な人に介護を必要とする人がいない。	身近に介護関係者がいないから。
自分の学部、及び進路の方向として、ほとんど関係がないから。	大変そうだから。
他に興味を持っていることがある。	興味がない。
周囲に介護を必要とする人間がいないから。	今の生活に直接関わることがないから。
大学で経営学を学んでいて、その方面的仕事に就きたいと思っているので。	高齢者とあまり接したことなく、考えたこともなかった。また、進みたい道も別にあります。
身近ではない。	興味がないから。
大変だと思うので。	難しそうだから。大変そうだから。
現在、自分自身が介護のことと関係が薄いから。	必要性を感じないから。
私生活において、介護と縁がないから。	良くわからないから。
親族で介護をしたり、受けている人がいないから。	

N=802

Q30 あなたは介護や介護の仕事について、どのようなことをお感じになりますか。どのようなことでもけっこうですので、ご自由にご記入ください。	
Q28 「1.かなり魅力があると考えていると思う」「2.やや魅力があると考えていると思う」の回答者（N=95）	
決して、お金として得をする仕事ではないですが、やりがいや経験、人からの感謝など、お金では買えないものが得られる職業だと思います。ただし、いいことが多いが、辛いことも多そう。働く人が健康な人、体力がある人じゃないと就けない職業だと思っています。	介護が必要ということは、人の手が必要だということなので、困っている人がいるのなら役に立ちたいと思う。介護の仕事は、ますます厳しい目で見られているような気がするが、どんな人も人の役に立てることができる仕事だと思うので、やりがいを求める人などは、ボランティアからでもいいのでしてみてほしいと思った。
特になし。 給料が安いイメージ。やりがいはあると思う。最低賃金を上げるべき！	大変そう。 大変な仕事だと思うが、これからの時代にとても必要な仕事だと思う。
特になし。	大変そうなイメージがある。
肉体的、精神的にも大変な仕事なのに、それに対して、給料が見合っていないと思う。でも、やりがいのある仕事だと思う。	高齢化社会になる時代にあって、弱者に該当する要介護者を世話する仕事は重要なものになってくる。ただ、若い人が高齢者と関わろうとしないと、少数の人達で介護をしなければならなくなるときつくなると思う。
閉鎖的で冷ややかな部分を無理に明るくみせている。	大切な仕事。
大変な仕事だとは思うが、やりがいはあると思う。	厳しい仕事ではあると思うが、看護ほど厳しくない感じ。
まだ待遇があまり良いとは思えない。しかし、大切な仕事であることは、まちがいないと思う。	これから介護が必要になってくる時代なので、知識を得て、実際にできれば良いとおもいます。
楽しそうだが、介護した相手が病気でなくなるのがつらそう。	重労働で給料が安い。
友人が介護の仕事に就いていますが、けっこう大変だと聞いているので、介護の仕事への考え方へが変わりました。	できることはご自分でやっていただき、できないことをお手伝いする仕事。
特になし。	大変な仕事だと思う。
これからの日本はどんどん高齢化が進み、介護をされる人たちが増え続けていくことでしょう。介護される側はもちろん、する側も皆が笑顔の絶えない精神的にも肉体的にも負担が少ない介護ができるような器具が開発されることを望みます。	非常に必要な仕事であると思いますが、制度や環境がまだまだ整っておらず、生涯の仕事にすることは、なかなか厳しいのが現状だと思います。しかし、対人援助には、様々なやり方があるので、自分なりの方法を探していくたいと思います。
やりがいはあると思うが、大変な仕事だと思う。	人の温かみを肌で感じられそうな業界だと思います。
仕事の内容からすれば、給料が安い。	体力的・精神的にきついのに給与が安い。
割りに合わない。体調を崩す。	大変。
大変そうな感じがする。	仕事がなかつたら介護の仕事につきたい。
必要なものだと思う。	特になし。
介護はとても必要であり、大切な仕事だと思うが、やはりそれに見合った給料がない。待遇がないとやる人は少ないと思う。また、将来、自分の体が動かなくなったりときに働き口を見つからないという心配もある。	給料や勤務時間などの条件が他の仕事と比べると、あまり良い方ではないという印象があるが、やりがいがあって、とても人の役に立つ仕事だと思う。
とても大変。給料が安い。人の出入りが頻繁。	必要な仕事だが、働く人に対して、給料が低すぎる。
色々と難しいと思う。人を扱う仕事なので、大変そうだけどやりがいがあってよさそう。	給料の割りにきつくて大変な仕事だと思う。同じ給料なら保育の仕事がいいと思う。
大変そうだけど、やりがいは感じられそう。	とても大変で、簡単な気持ちでは、続けられない仕事。
誰でもできるイメージがあり、専門性が求められない仕事だと感じる。でも、本当はきちんと学んでいなければ精神的に大変になってしまうと思う。	給料がかなり少ないのである。しかし、高齢者が増え続けているからこそ、これからはとても重要な仕事だと思う。介護の仕事の待遇がよりよくなればいいと思う。
1年、365日、休みがなく大変だと思う。しかし、人生の先輩として、多くのことを学ぶことができると思う。	ボランティアのイメージが強い。だから、収入が多くもらうこと相反するイメージ。お年寄りからお金をもらうのは申し訳ない。
働いた分だけ、見返りがあるとは正直思えないが、やりがいや、人との交流をとても実感できる仕事だと思う。	よく聞く話は、汚物の処理が日常茶飯事で、それに睡眠があまりとれないなどがあるので、大変なイメージしかない。
給料が安くて厳しいイメージだけど、今後必要な仕事だと思うので、勉強してみたい。	とても大変な仕事だけど、少し給料が安い。でも、とてもやりがいがありそうな仕事。
今の介護の仕事は、内容の過酷さ、勤務時間の不規則さが目立ち、その仕事ぶりに対する給料が安すぎると思う。そのことが、若者の介護の仕事に対する意識が低い原因だと考えられます。	今すぐ必要とされているのに、魅力的に感じていない若者が多いと思う。私の周りでもそうですし、給料などの待遇を良くして、関心をもたせるべきだと思います。
世の中において、かなり重要であるが、それに見合う評価を受けていないと思う。	体力が必要だと思う。私は介護に关心はあるが、人より体力がないから向いていないと思う。
介護士になるなら、看護師の方が給料的にも、将来的にもよさそう。	特になし。
とても必要とされている仕事で、素敵な仕事だと思うが、労働内容の割りに、待遇が悪いイメージがある。また、自分には、他にやりたいことがあるため、介護の仕事には就かないと思う。	近年の老人増加の為に、需要が増えてきているが、介護をする人の方が不足しているような感じはする。資格は早ければ、年ぐらいでとれるイメージ。知人がいるので、話を聞くと、割と老人との会話は素敵。
責任感のある仕事だと思う。	労働力に対して、収入が見合わない。離職率No.1という不安がある。
やいがいを感じる事はかなりできると思いますが、それを仕事として生活していくには難しい面がたくさんあると思う。	体力的にきつそう。仕事の内容にもよるが、給料が割りに合わないイメージがある。これからの社会においても必要。
大変そう。	大変な仕事であるのに、給与が低く、ストレスがたまる。
昼も夜も赤ちゃんと同じようにしなければならず、何年間も続くと大変だと思う。	肉体・精神的にもキツい。患者さんのあたりが悪いと、ひどくいびられそう。セクハラもされかねない（母の友達の体験談）。
給与と仕事の内容が割りに合っていない。	お世話するのが大変だと思う。
現在人が足りてなく、給料が安く、割りに合わない仕事だが、人の役に立つ仕事でやりがいがある。これから時代にすごく重要な仕事の一つ。	人手が足りず、勤務体制や給与などの待遇が仕事量に見合っていない（条件が悪い）と思う。とても魅力的で社会貢献できる仕事なのに、少し残念。
すごく大変で、労働も厳しい状況におかれていると思う。もう少し、ケアマネージャーの質をあげるためにも、資格・手当をよくして、老人の方々が住みやすい、暮らしやすい町づくりが必要だと思う。	仕事量に対して、割りに合わないと思う。必要な仕事なはずなのに、そのためには就く人がいないのだと思う。国がもっと補償すべき。
きついが給料が安い。安い気持ちはなれるものではない。	なぜ介護に資格が必要であるのか疑問に感じました。
きつそう。体力いるわりに、給与安いし、休みが少ない。	特になし。
雇用状態が厳しく、さまざま人達を研修・指導して介護業界に人を回すべきだと思う。給料もまだ安いので、引き上げるべきだと考える。	人づてでは、仕事と収入が合ってない感じがする。良い仕事とは思うが、これがること。
実際に介護をやっている人は、本当にすごいと思う（精神面・体力面ともに）。ただ、その中でも、介護に疲れて、介護者を殺してしまうという事件も実際に起こっているので、相当厳しい仕事だということが伺える。	仕事が不規則で責任を求められる割に、給料が少ない。体力的・精神的にきついというイメージがある。高齢社会の中でとても必要とされている。興味はあるが、悪いイメージばかりがあり、なかなかやろうとは思えない。
人手不足をどうやって解消していくんだろう。	体力が必要に感じる。
体力的にしんどいと思う。	きつい、辛い、賃金が安い。
キツイ、給料が割りに合わない、やりがいがある、これから大切な事業。	大変そうだけど、とても素敵な職業だと思う。でも、給料が安いイメージ。
お年寄りが増えているのに、介護をする人はなかなか増えない。原因は給料の安さだと思う。	ニュースなどで仕事が厳しい割りに、お給料が安いというイメージがある。介護に興味はあるが、仕事内容はかなり多そう。
きついわりに給料も少ないと聞くし、きっとすごく大変だと思うけど、やりがいのある仕事だと思うし、なくてはならないものだと思う。	介護をする側の待遇がよくならなければ、仕事に就く人は、増えないと思う。
仕事がつらそう。	安い賃金なのに大変。
人手が少なく、お年寄りの体をいたわるほど余裕がない感じがする。	時給または日給を増やしてほしい。または、施設の整備を整える。
想像以上に厳しいと思う。体力勝負。きれいな仕事ではない。	

Q28 「3どちらともいえないと考えていると思う」の回答者(N=162)

必要だけど大変な仕事。	身の回りの世話が大変そう。
家族や友人が介護の仕事をしているのを見ると、長時間拘束されるわりには、給料もそんなによくないだろうし、休みもなかなかとれないみたいで、疲れなんかとれないだろうなと思います。他人の役にたてる素晴らしい仕事だとは思うのですが、一人の人が長く続けられる仕事ではないように感じます。	自分を含めて、介護に対して良いイメージを持っている人は少ないとと思う。イメージだけで仕事を判断するのはよくないが、もっと良いイメージをもてるようになれば、働いている人の待遇なども改善されるよう、行政が業界で働きかけてほしいと思う。
体と気持ちがついていけない感じがする。	特になし。
やりがいを感じる仕事であると思うが、かなり体力が必要になると思う。精神的にも強くなくてはダメなのではないだろうか。	大変な割りに、給料が安い印象。高齢者が増える中で、人手は減っていってるような気がします。
人のためにがんばる、役に立つことはすばらしいし、やろうとしても一線を越えて、その業界に入るのはとても強い意志がないと、できないと思っている。しかし、中には、「信用できない」「自分の事を他人に任せるのは不安だ」と感じて、介護を受けられない方もいると思う。介護の中身ばかりではなく、介護を受ける側の精神的ケアへの対策にも期待したいと思っている。	介護という言葉イコールお年寄りというイメージがある。現在、祖父母と同居しているが、同居している身でも介護していくのは、大変ではないかと考えている。祖母の友人が認知症となり、介護を必要としていく様子を見ていて、幼い子供と同じかな?とも思うけれど、子供はどんどん吸収していくなかで意味が出てくるが、お年寄りは長い人生を生き抜いてきて、物事の考えも行動も決まっていて、容易には変えられないだけに、接し方1つが難しい。我が家のお父も周囲の言葉にも耳を貸さない。そういう人を介護していくのは、難しいことだと思う。
大変で厳しそうだと思います。	やりがいはあると思うが、精神的・体力的にも厳しい仕事だと思う。
医療と似ていて、人の為に働いている仕事なのに、少しのミスで職を失う(生活ができなくなる)可能性があり、割りに合わないイメージがあります。	精神的にも体力的にもきつくて、その割にはお給料が安く、大変だとよく聞くので、そのような環境や条件が改善されない限り、できれば携わりたくないなと思ってしまいます。
特になし。	かなり体力がいる仕事。
人不足で、一人当たりの仕事量が多そう。	給料は安定していると思うが、内容のわりに安いと思う。
人の役にたつ、とても良い仕事だとは思うけど、テレビなどの報道を見ていると、体力的にも給料的にも大変だと思います。	介護する相手とのコミュニケーションがうまくとれなかったりすると、精神的にもキツイと思う。
体力的には大丈夫だと思うが、接し方が難しい。	つらい仕事だと思う。
疲れそう。	大変だけど素敵な仕事。
介護する相手によって感じ方が違うと思う。必要な仕事であると思うが、自分のような人間には合わない職業だと感じている。	これから先、すごく必要になってくると思う。体力がなければきつそう。
決してきれいな仕事ではないし、大変だと感じる。	仕事に対して給料が安い。
いつ仕事があるかあまりはっきりせずに急に呼び出されたり。また、かなり労力をつかう。	介護=老人の介護です。介護はますます必要ですし、資格を取ろうか考えています。
体力がないとやっていけそうもないと感じます。	しんどい。
介護の仕事は、労働環境、条件を考慮すると、かなり薄給であると思う。今後、更に高齢化が進むが、待遇が良くならない限り、進んで自ら介護の仕事に就こうとする人は増えないとと思う。	過剰介護はボケ助長になると思うし、介護に従事する人の外での行動内容に疑問をもつこともある。簡単な事まで介護の必要はない。
人のためにやっている仕事なので、とても立派だと思う。でも、人と人の仕事だからとても大変なことだと思う。	給料や労働時間をもっと充実しないと介護関係の仕事に就きたいと思う人は増えないと思う。
介護が必要な現状ではあるが、自分がその業界に適さないと思うので、違う形で関わる仕事をしたい。私自身、身体的な疾患があったり、人の死に直面したり、血を見ることがあると思うので、やはり介護に向かない性質だなと感じる。	精神的・肉体的にもかなりきつい仕事だと思いますし、その割にお給料はかなり少ないから、辞める人も多いということを知り、介護という分野に希望を持つことは難しいなあと思っています。
大変な仕事だと思う。	休日などが制約されそう。不規則な生活になりそう。
立派。きつい。	よく分からぬけれど、大変そうだと感じた。
腰に負担がきそう。体験してみないとわからないかも。お年寄り相手の仕事で楽しそう。ためになりそう。相手の期待通りの仕事ができないといけない。きつそう。大変そう。	他人の介護以外にも、身内の介護もいざというときにできるから、仕事に就くことはいいことだと思う。私からみると、すごく尊敬できる仕事だ。
友達が腰を痛め、少し辛そうに見える。	今は別の分野に興味があるので、介護には関心がない。
介護はとても大変なので、家族の介護はするけど、他人の介護はあまりしたくないです。	とても大変な仕事だが、やりがいがあると思う。私は他に将来の夢があるので、なりたいとは思わないが、すべきな仕事だと思う。
体力が必要で若いときだけ働く。	現実を知らないといけないと思った。
前向きな仕事。	根気が必要であること。
将来のイメージがわからない。一生続けられる仕事かどうかも不明。	仕事としてでなくとも、将来、介護しないといけないときが、必ずあると思うので、学ぶ必要はあると思う。
精神的にも肉体的にもつらそう。	収入と仕事が合っていない。
仕事に見合う給料がないと駄目だと思う。人手が足りてないイメージ。体力がかなり重要そう。	高齢化などにより、必要とされているのに、いつまでたっても、労働環境及び条件が改善されてこないイメージ。
これから人が足りてこないと思います。	少子高齢化が進む今の時代に必要な存在。
知り合いに介護の仕事をきっかけに、うつ病になった人がいます。やりがいのある仕事ではあるけど、必ずしも感謝されるとは限らない。やってあげたいことも規定があってできない、介護の仕事に就くには、大変な覚悟をして勤めないといけないんだなと思っています。	介護の仕事に就くためには、ある程度の体力と忍耐力が必要であり、お年寄りとのコミュニケーションが好きな人でないと成り立たないと思います。これから、介護を職業として定着させるためには、給料の値上げ、福利厚生、教育の充実を早急に政府や企業が取り組まないといけないと思います。
介護の仕事は、外見から見たら、簡単そうに見えるが、実際に介護をしている人は、そう簡単ではないというイメージを持つ。	非常にやりがいのある仕事だと思いますが、体力がいること、賃金が安いことです。そのわりに、社会的責任が大きな職場だと思います。
将来のために少しずつ勉強していきたいと思いました。	特になし。
すごい大変そう。	仕事がきつい。給料が安いので、続けられない人がいる。
給料が安く、体力的にも精神的にもきつい仕事のように感じます。	必要だと思うけど、とても体力がいり、生活リズムが不安定になりそう。
大変な仕事なのに給料が非常に安い。	特になし。
考えているより、かなり厳しい仕事だと思うから。	人が足りてなさそう。
介護の仕事をもっと幅広く知ってもらう必要がある。	特になし。
ニュースを見ていると、仕事がきつくて給料も割りに合わない。人手が足りないと聞く。しかし、だからといって、このまま良いわけではなく、国や自治体が労働環境を整えていくべきだろう。そして、仕事(介護)をしている人は大変だと思うので、少しでも楽にしてあげられれば良いのではないか。	介護職は、これから老年人口が増え、ますます伸びていく分野だと思います。それに対して、介護の現場では、人手不足で夜勤も多くなり、ヘルパー1人1人の負担が重くなっているというのをニュース等で聞いたことがあります。常に明るく、前向きに取り組まなくてはならないから、強い思いや相当な覚悟がなければ続けられそうにない仕事だと思います。
介護といっても、人ととの付き合いが大切になると思うので、大変なことが多そう。体力的にもきつそうなイメージがある。	人を介護することは、他の仕事に比べても大変。肉体的にも精神的にもきつい仕事だと思う。
大変そうな仕事。	きついと思う。
無いと問題になりそう。	具体的によく分かっていない。
お年寄りを相手にする仕事なので、ジェネレーションギャップなどうまくいかないこともあります。決まった休みがもらえないなさそう。仕事と自分の生活を両立できるか心配。コミュニケーション能力がないと難しそう。	祖母が同居しています。脳梗塞など繰り返し、寝たきりの状態の時もありました。母が介護する姿を見ると、非常に大切な仕事だとは思いますが、大変な仕事だと感じました。
温かううではあるけど、大変なことが多そうで、自分の仕事としては、正直あまり考えられない。	社会的に意義があると思うますが、給料面が低く、年を重ねてもあまり昇給するイメージがありません。
人を相手にする仕事なので、神経を使いそう。	体力的にきつい仕事。給料が安い。
特になし。	大変そう。
大変そう。	仕事が大変。

最初はやりがいのある仕事だと思っていたが、ボランティアや体験学習などを経験して、難しくきつい仕事だと思うようになってきた。	必要な事(仕事)だと思うが、実際に自分が介護の仕事を続けていくかわからない。身内に介護を必要とする者がいたら、考えも変わるかも。
大変な割りに給料が安い。	特になし。
精神的にも体力的にも大変そう。	激務の割りに、報われない。
厳しい状況らしいので、国はもっと介護事業を支援していくべきだと思う。	慣れれば、楽しくなり、やりがいを感じると思うが、それまでが本当に辛く(普通の仕事より)、辞めてしまう人が多いと思う。
今の時代に絶対必要な仕事だと思う。	大変でつらい仕事。
自分の祖母でもあまり会ったり話すことがないので、お年寄りの方を相手にコミュニケーションをとるのは難しく感じるし、もっとオープンな感じになったら、若い人も働きたいと思うようになると思う。	絶対的に社会に必要なものだが、介護する側もされる側も、十分納得できるサービスや待遇を受けられていないと思う。もっと環境がよくなればと思う。
もう少し働きやすいイメージになれば良いと思う。	特になし。
仕事の内容のわりには、給料が少なそうだが、人の為に働くやりがいのある仕事だと思う。	非常に社会の人のためになる仕事だと思うが、その一方でその苦労や成果が認められないイメージがある。
仕事内容と条件、給料などが合っていないと思う。体力的にも精神的にもきつそう。	やりがいがありそうで、人からも凄く、感謝されそうだが、やはり汚いため。
大変な仕事だと思いますが、必要な仕事であると思う。	特になし。
介護は今現在もこの先も必要な仕事だが、実際、介護は大変な仕事なので、自分が仕事としてやるとしたらしんどいと思う。	介護の仕事を実際体験して大変だと感じました。自分が仕事としてできるのかわかりません。
収入の割には、仕事の内容がきつく、労働時間が不規則でなかなか就職するには覚悟がいると思う。	社会において重要な位置を占めていると感じる一方、給与や将来性の点で、正直なところ、あまり就きたくはない。
これからもっと大変な仕事になっていくと思う。仕事の内容に対して、給料が見合っていないと思う。	体力的に辛うじて、人の世話をするのは、不得手なので、あまり興味がない。
その人のことを理解する必要がある。	自分の時間があまりになさそう。
大変で難しい仕事だと思う。	きつくて大変そう。
厳しくて精神的に疲れそうなイメージがある。世話好きな人にはぴったりだと思う。	優しい気持ちだけでは、できない。精神的にも体力的にも大変な仕事。
とにかく仕事に対しての給料が割りに合わないとテレビでやっていたので、その印象が非常に強い。	高齢化しているのに、介護をしている人も高齢な人が多くて大変。若い人がもつと参加すればいいとは思うけれど、ふみきる一步がないのもよくわかる(給料などの点で)。
給料が安い。	世の中に必要で、重要な仕事。
これから人手不足になっていきそうなイメージ。	大変。
体力的にも精神的にもきつそうな仕事だと思う。日常生活の中で、人を助ける仕事なので、やりがいを見出せれば、自分の天職だと思える職種だと思う。	お年寄りの方が年々と増えてきてるので、介護の仕事がとても重要になってきてる気がします。体力も使う仕事なので、長くは、やっていくには難しい仕事な気もします。
専門知識は必要だが、仕事がとても厳しいと感じる。	介護される方のマナーに振り回されそうでイヤだ。
勤務内容にあった給料が支払われていないと思う。	特になし。
身体的な問題のある方ならともかく、アルツハイマーなどボケのある方の介護をするのは、体力的にも精神的にも辛いと思うので、自分にはできない仕事だと感じる。	お年寄りが増えている今、介護など必要だと思う。でも、TVなどで、介護士が足りていないこと、給料が少ない(あんなに大変な仕事なのに)ことなどを聞いてみて、苦しく思います。給料だけでも、上げてくれてもいいのでは…?と思う。
体力が必要で、精神的につらそうなイメージ。やりがいは、とてもありそう。	体力が必要で、大変そう。
一生懸命に働いているのに、それに見合った額がもらえないと思う。高齢者が増えている中、介護の仕事はますます増えて(必要になって)くるのではないか。賃金面を改善することができれば、介護の仕事は増えていくはず。	やはり、職場体験など、いくつか体験はしましたが、体力的にきつい仕事が多かったし、思っているより厳しかった。それに比べ、給料は16万円くらいで安かった。しかし、介護士の方は偉いと感じます。尊敬します。
体力が要りそう。	よくわからない。
現状の介護をとりまく状況では、働きたいと思う人もあまり出てこないと思うので、制度面や待遇面などで抜本的な改善が必要だと思う。	やりがいはあるけど大変。責任が重い。でも、誰かが、やらなければいけない事。
介護の仕事は、体力がいるし、人手も足りていないのに、給料は安いというイメージがある。社会的に冷遇されているイメージがある。政府はもっと介護の仕事についてよく考えるべきだと思う。すごく感謝されていいと思うのに、トラブルが起きやすい。	ある意味、誰にでも適しているようにも思う。人の為になるという実感はやりがいを生みうるもあるし、人手が足りていないイメージも現代の学生たちとの利害が合う気もする。ただし、介護をお金のためにやるというイメージがなさすぎた面では、介護というものの、「仕事」というワードが当てはまらないという気もする。
介護の現場は決して甘い世界ではなく、つらく、厳しい世界だと思います。そのような中で、働いている人たちは、とてもすごいと思います。	人の役に立つことができるといいけど、それに見合った報酬はないと思う。でも、これからの時代には必要だと思う。
自分たちも将来必要になる可能性があるので、必要な仕事だと思う。	これからとても必要になる仕事だと思う。
特になし。	肉体的に負担が大きいが、それ以上に精神的にきつそう。
一人ひとりに合わせた介護をしなければならないため、大変そうだ。人が好きで、人を助けることが苦にならないような人でなければ、続けられないだろう。	仕事が大変な割りに、待遇が悪そう。高齢化社会なので、大変重要な仕事。
待遇がよければやってよい。	重労働で大変。
特になし。	体力的にきつく、自由時間が少ない。
Q28「4.あまり興味がないと考えていると思う」「5.まったく興味がないと考えていると思う」の回答者 (N=545)	
人の為に自分の時間を削って働くのはもったいないと感じてしまう。一所懸命働いても、毎日がいつも同じになり、セクハラ等の被害もよく聞くので、やりがいがなさそう。	かなりの苦労をすることになると思うが、心が通じ合ったときに味わえるであろう喜びは、他に替え難いものであると思う。ときに会話すら成立しない状況で、介護しなければならず、気持ちがネガティブになることもあるが、前向きな気持ちに切り替えて介護しないと、持続は難しいと思われる。
実際、肉体的にも大変な仕事だと思うので、それに見合った給料、もしくは、それ以上の給料がないと、なり手も少なくなるし、そうすると、人手不足で過労働を強いられ、悪循環になる。	仕事の大変さと待遇はつり合っていないように思う。これから、ますます必要とされる仕事であると思うから、その点がうまく改善される必要があると思う。
色々な方と会うと思うので、自分磨きができると思う(人として成長できると思う)。ただ、汚物処理などやらなくてはいけないと思うと、介護の仕事に魅力を感じない。	どうしても人手不足でつらそうなイメージや給料が少なそうな気はします。人との出会いは多そうな気はします。私のいとこは介護関係で来年、結婚するみたいですから。
割りに合わないと思う。	給料が安い。休みがとれない。残業が多い。
給料が安く、きつくて、汚くて、職場の人間関係もギスギスしていそう。ストレスがたまりそう。疲れそう。	体・心の疲れがたまる仕事だと思います。自分にはできないなと思っています。
仕事内容の割りに、給料が安い。仕事が汚い。肉体的・精神的に辛い。命を扱うので、責任が強く感じられる。失敗できない。	これから先にますます必要になってくると思います。
現職の人に対して、待遇をあげていくべき。	キツイ。
仕事内容に対して、給料が少なそう。	仕事内容は大変だが、やりがいはある。
3K(キツイ・キタナイ・キケン)。	苦しい仕事だと思う。
仕事がきつそうなのに給料は安いので、給料を上げない限り、働く人はあまり増えないとと思う。	暗い、キツイとのイメージが強い。大事な仕事とは思うが、できれば避けたい。
老人ホームや訪問介護などの介護サービスの選択がほとんどの場合、本人ではなく、親族が決めていることに違和感を感じる。まだ元気なうちに、あらかじめそれについて、本人が選択することが望ましいと思う。	忍耐力も必要。学校の授業で老人ホームの職場体験をした際、痴呆のある方の話し相手を20~30分しただけで、疲れてしまった。対応の仕方等を含め、専門知識が必要だと感じた。
給料が安い。辛い。	大変。キツイ。

世の中に必要である仕事だとは認知されてきているのに、労働環境や賃金などの面で、「介護の仕事がしたい！！」と思わせるには、不十分なところがあると思う。	社会的に必要なことだとは認識されているが、今までの状況では、「貧乏くじ」のように思われる、誰もやりたがらないと思う。
あつたほうがいいと思う。	国のサポートを強化するべきである。
介護の仕事はきつく、給料が安い、休みがとれない、他にも老人ホーム入居者から嫌がらせを受けたという話も聞いていて、あまり良いイメージを持てない。介護と簡単に言うけれど、実際、これほど大変な仕事をこなすのは人一倍の忍耐力が必要だと思う。	仕事が大変な割には、給料が安い。子育てが落ち着いてきた人がパートで働いている。これから先、もっと必要な仕事となっていくと思う。
特になし。	人が足りていないし、これからどんどん必要とされてくる職業だと思う。体力的にも精神的にも強ないとできない。
生涯の仕事としては、不安定。給料が低い。	人間関係が悪そう。
大変そう。	大変なのに給料が安そう。
介護の仕事に就くには、私には奉仕の精神が足りないと思う。もし、就くなら、フェアな立場で働きたい。介護してあげるでもなく、貢献するでもなく、相手と1対1で私にできることをする感じで。	大変そう。休みが少なそう。人が足りていない。
介護の仕事そのものは、とても素晴らしいことだと思いますし、良いイメージを抱いています。ですが、介護の仕事をすることによって、逆に病気になってしまったり、腰を痛めてしまったりという、友人や知り合いを見てきたので、体力的に厳しいのだろうか？というイメージがどうしてもあります。元々、病気をもっている私は難しいだろうなあと、あまり就こうとは思えません。給料なども、あまり多いイメージがありません。やりがいがある人以外は、魅力がなさそうと思うてしまうのが正直なところです。	今の時代にとって、介護の仕事は必要とされていて、とてもやりがいがある仕事だと思いますけれど、老人が苦手で人のコミュニケーションをとるのも苦手な私にとっては、縁がない職業だと思う。
自分にはできない仕事。	需要はあるが、離職率が非常に高い、やはり勤務条件がハードであり、お給料もそれに見合ったものがもらえていないのが現実なのだと思う。直接相手に感謝してもらえるので、やりがいを感じる素晴らしい仕事ではあると思うけれど、自分が正社員として一生介護の現場で働くことは考えられない。
社会的には重要な仕事だが、仕事内容に魅力を感じる機会がなく、あまり興味が湧きづらい。	社会には絶対不要だが、できれば自分ではしたくない。
働きと収入とのバランスが悪い。	これからの高齢社会の進行によっては、ますます需要が多くなっていくため、ぜひ業界が充実していってほしい。
社会にとり、絶対に必要不可欠な職種なのだから、もっと待遇etcの面で、働く人が報われるようすべきだと思う。自分も、将来、お世話をになることがあるだろうから、来春の就職前に、一度、仕事を体験してみたい。	おむつを取り替えるの大変そう。お風呂に入れるのも大変そう。体力仕事だと思う。
厳しそう。	体力的にも精神的にもかなりきついと思う。要領よく何でもこなせる人でないと大変だと思う。これからの社会には絶対に必要なことだけで、自分がやりたいとは、全く思わない。
少子高齢化が進行する中、確かに絶対現状の日本に必要とされているのに、「待遇が悪い」というイメージが先行して、若者世代を遠ざけていると思う。資格支援がもっと活発になったり、上場企業が運営して働き手の給与が上がるようになり、TVなど影響力の強い媒体で世間にもっとアピールする方が良い。	タフな仕事だが、誰かがやらなければいけない仕事もある。
もう少し待遇を良くしたほうが良いと思う。	介護は必要とされる仕事ではあるが、私にとって、介護は日常、慣れ親しんできたものであり(祖父母と同居してきました)、「仕事」としての位置づけではない。栄養士として働く上で、介護施設に携わる際には、介護の知識があればいいかなと思う。福利厚生がよければ、もう少しよいかなども思う。
仕事の大変さと給料のバランスが、あまり合っていないと思う。	体力がもたない。
給料の割りに仕事がとても大変そうなイメージ。人手不足な仕事。少子高齢化社会の日本には、必要不可欠な仕事なのに、需要が多いばかりで供給が少ない。改善策や給料面などの手当をもう少し高くしてもらいたいんじゃないかなと思う。	キツイ。
人間関係が複雑そうで、上辺だけの関係に思える。介護以前に信頼関係を築けるか不安。	働くとしたら給料が安く、過酷な労働条件である一方、介護される側もされる側で、介護施設に入るためのお金が高額で、家族が介護をしている家庭もあると思われる。国から補助金で入所料金を下げたり、労働条件を改善することが必要と感じる。
割りに合わない仕事。	大変な仕事だと思う。仕事の割りにお金が安いし、絶対にやりたくない。でも、やっている人はやりがいを感じて働いている。
厳しい仕事だと思う。	給料のわりには、大変そうなイメージがある。
すごく大切な仕事だと思うが、大変な仕事の割りに、給料・待遇があまり良くないし、人が足りていなさそうで、その分、一人一人の負担が大きそう。	とても大変そう。体力的にも精神的にも…。
体力的にきつそう。それ以上に、介護をしている相手から理不尽なクレームを受けたりなどが多くて、精神的にきつそう。相手のためを想って、行なうことができなくなりそう。	肉体労働のイメージ。私は働きたくないが、友人が何人か介護職に内定したので、なり手はたくさんいるような気がする(しかし、続くかどうか…)
赤の他人の世話ををするというのは、精神的にキツいと思います。その割りに待遇があんまりだとよく耳にします。	人が足りず、仕事も厳しく、精神的にもたない仕事だと思うが、やりがいは他の職よりもあると思う。
やりがいはある仕事だと思う。今も今後も絶対に必要な仕事だし。ただ自分がやりたいとかと言われたら、あまり興味はない。	お給料が安いのに、大変な仕事というイメージがとても強い。自分が介護の仕事を就くことを考えたことは全くない。
近くで見ていると大変なので、自分には向いていないと思う。	下の世話もあるので、まったく甘くなく、つらいことが多そう。
正直この仕事にやりがいを求めるのは難しいと個人的には思う。	とても立派な仕事だと思うが、自分でやろうとは思えない。
将来が不安であると思う。需要はあるが、従事する人のことをもっと考えるべき。	仕事のわりに給料が安い。体力的に厳しい仕事。地味な仕事。
人手不足で、高齢化社会の中で必要とされていくのは分かるが、精神的にも体力的にもきついとよく聞くので、自分がやろうとは思えない。	実際に体験して、よっぽどその職に対する意志のある人でないとできない仕事だと思いました。
仕事が大変なわりに、お給料が少ないと感じる。	社会的に必要な仕事ではあるが、地位が確立していないくて収入が少ない。介護業界が金儲け主義に走りすぎている。厚労省がさぼりすぎ。
苦労の多い仕事だと思います。	体力的にも精神的にもきつい。
今後の社会でますます活躍が期待される職種だが、現状はそれに見合った待遇ではなく、きつい仕事だと思う。	面倒くさそう。ストレスがたまりそうだと思う。
大変だと思う。	精神的にも体力的にもきつい仕事であるにも関わらず、給与も低く、休みもとれなさそう。
認めてもらえる仕事だと思うが、給料・勤務時間面で不安がある。先行きが見えない。	高齢化によって、現在人手不足だと思う。
内容に見合った評価がされていない。	相手が人なので、休みがとりにくく、仕事が大変そう。
体力的に大変で給料が安いイメージ。でも、人から感謝されたり、やりがいはあります。	国が率先して産業として大きくすべき。
体力・精神的にきつい仕事だと思う。	労働に賞金が合っていない。肉体的にも精神的にも疲れてしまいそう。人手不足を補う工夫があり見られない。
高齢者の割合が増え、必要とされている職なのに、仕事の辛さに見合った給与ももらえず、身を削って仕事をする介護職の方々が報われるよう政府はもう少し対策をとるべきだと思います。	大変そうで、責任が重そうだ。身近に感じることの少ない業界だ。
体力的にきつく、賃金が安いイメージがある。	介護の仕事は人員不足とされているが、実際に自分が働くことを考えると、体力的にも精神的にも不安があるので、就職の候補としては考えにくいという現状がある。
仕事の内容の割りにサラリーが少ない。	仕事の時間帯が不定期。
社会では、とても必要な仕事であるが、介護業界は働く人にとってきつすぎる仕事であると思う。もっと良い環境にしなければならないと思う。	仕事の内容のわりにきつそう。
介護される人も色々と問題を抱えているので、それを世話するのも肉体・精神的にも骨が折れる仕事だと思う。しかし、その割に貰える賃金が少ないとよく聞きます。自分が思うに、そこで働く人の為に、国が何らかの支援をしなければならないと思います。	これから成長すると思われる産業なのに、働きやすい環境が整っていないような気がする。一刻も早い法整備などを望む。
高齢化で今後ますます必要になってくるもの。介護の仕事をしている人は大変だろうし、すごいと思う。	少子高齢化と呼ばれている中、介護する人にかかる重責はすさまじいものがあると思う。桂川・親子心中事件ではないが、介護疲れで、死を選ぶ人がいるのは、嘆かわしいものがある。そういう人の救済のためにも、今後不可欠な仕事だと思います。
今まででは介護に全く関心をもっていなかつたけど、「任侠ヘルパー」というドラマを見てから、介護について考えるようになった。でも、やりたいとは思えない。	仕事としてやるなら、とても大変なことで、精神的にも肉体的にも自分には無理だと思う。
	介護保険の報酬が改定される前は、大分、割のいい仕事(職業)だと思っていたが、現在は(求人などを見る限り)働きにあまり報いられていないのではないかと思う。

赤ちゃんと違って、老人は口うるさいと思う。同じ人の世話をするなら、老人より赤ちゃんの方が良い。	すごく人のためになる事をしているにも関わらず、感謝されることが少ない。
かなりキツイ仕事だと思います。	すごく体力が必要な仕事だと思います。
体力的にきついのは仕がないと思うが、精神的にきつすぎるイメージがある。きつい割りに給与が低く、キャリアアップもできなそう。利用者さんからのセクハラの話を友人から聞いたことがあり、いいイメージがない。	暗く感じる面も多いと思うのですが、その反面、やりがいや温かい部分もあるのではないかと思います。介護では、介護される側だけでなく、家族も関係していることも多く、やはり重い仕事と感じてしまうのですが、担当する仕事で、その重さにも差があるのだろうなとも感じます。なかなか内部がわかりにくい業界だと思います。
きつそう。	つらそう仕事。
仕事が大変そう。	仕事内容は大変だが、やりがいのある仕事だと思います。
専門知識が必要で、人の命を預かる仕事なので、就職するのには、やや抵抗がある。ただ、人の為に尽くす仕事なので、すばらしいと思う。	自分は介護の仕事をしたいとは思わないけれど、介護の業界で働いている人はすごいと思うし、尊敬する。
介護を苦に自ら命を絶ってしまう人が、世の中、本当にたくさんいると思う。介護保険制度のあり方、介護福祉士不足問題を政府は見直さなければいけないのではないかと思います。	労働条件といいますか、給料が安いイメージをどうしても持ってしまいます。あとは、夜勤など勤務時間の不規則があると思います。なので、きつい感じです。
きつそう。	かなりハードな仕事。
汚い仕事、体力が必要、辛い、長く続けられない、給料が安い。	やりがいはあると思うが、体力・精神的にきついと思う。給料が安い。
現場では多忙すぎて、人手が全く少ない。入所している人たちが、生き生きしていない。給料が安すぎる。	厳しい。友人は自分に合っていたから続けていると言っていたが、合っていないとすぐに辞めていたらしい。
あらゆる仕事の中で誰もがやりがいを感じやすい素晴らしい仕事だと思うが、人手不足で休みがとれず、その上、給料が一人で暮らすには安いという印象がある。	とにかく大変そうで、ストレスもたまりやすそうで、私には向いていないだろうなと思うが、いつか親の介護をしなければならないと思うと、知識が必要だと思う。
思った以上に大変で割りに合わないと思う。	夜勤がある。女性が多い仕事。人手不足。賃金が安い。
ハードな仕事の割りに給料安すぎだし、福利厚生もしっかりしていない。	人手が不足しているので、1日を通して、忙しそうである。働く側の環境の改善も必要である。
社会に貢献できる必要な仕事だと思います。高齢化が進む時代の中で、今後さらに求められる職業。しかし、その一方で過酷なもの、給料が仕事内容の割には少ないといったイメージもあり、介護の仕事に就く人の不足が心配される。	周囲の若者で介護の仕事を目指す人が多くおり、皆まじめで勤勉な方が多い。介護の業界では、離職率が高く、待遇の良くないイメージがあるが、その様な若者の志を殺すことのないよう、働きやすい現場を作りたいと思う。
すごく体力がいって、とても大変そう。	身体的にも精神的にも大変そうなイメージ。
やりがいはあると思うけど、体力的・精神的にかなりきついと思う。	将来は必ず受ける立場になるが、自分がやる立場は想像できない。
体力が要りそう。仕事に見合った給料がもらえない。休日が少なそう。	仕事に対する得が見当たらない。
仕事内容の割りに、給料が引くそう。	体力が必要というイメージ。感謝される喜びがありそう。
普通のオフィスワークなどの仕事に比べて、やりがいはあると思うが大変だと思う。	高齢化社会といわれているこの世の中なので、介護が必要なことはわかっているが、老人を介護することにあまり良いイメージがない。
需要は多いと思う。	人の世話をするわけだから、心身ともに大変な職だと思う。
仕事の大変さと給与がつりあってないと思う。	大変そう。
特になし。	精神的・体力的に大変だと思う。
自分にはあまり合わない仕事だと思います。祖母の家へ行って、世話をするだけでも大変に感じる。	人手が足りないと騒ぎながら、給料水準を低いままで放置するのは矛盾していると思う。
人のためになるとは思うが、精神的にも肉体的にもかなりつらそうなイメージがあり、自分がその職に就くことはあまり考えない。	人間関係が大切な仕事だと思います。肉体労働だと思う。夜勤がきつそうだ。私は介護を仕事にはしたくない。
これから日本の日本で必要な仕事だが、魅力に欠ける。	仕事が老人相手で大変そう。給料が安く、勤務時間が長い。
テレビや新聞で人不足が懸念されていること。	介護は体力的に大変そうだ。
とても根気がいる仕事。	介護の仕事をしている人は、本当にえらいと思います。
きつそう。	きついのに、給料が安いので、かわいそう。
相手の対応によって、様々に行うことを選ばねばならないので、大変だと思う。とはいっても、必要不可欠な仕事なのだろうと思う。	人の感情が大きく出る場所だと思うので、並たいていの気持ちじゃやっていけない職だと思っている。
介護は人の役にたつので、良い仕だと思います。でも、重労働の割りに、お給料が安いと聞くので、自分はあまり働きたくないと思います。	初めは看護師を目指していたが、看護師の勉強をしている友達や先輩から、あまりきれいな仕事ばかりではないことを聞き、ちょっとショックだった。介護の仕事はもっときれいじゃなく、大変な仕事だと思う。
大変な仕事のわりに、給料が安すぎると思う。	報われない。
母が祖父の介護をしているのを見していく、大変なことを身内ではなく他人にすることは、お金をもらうにしても厳しい仕事だと思います。	毎日、大変な仕事の割りに、給料が安い。そのため、働く人が少なく、とても大変なイメージ。
労働条件が悪く、安定していない。	時間のわりには、給料が少ないと思う。
社会には必要とされている人が多くて、大切な仕事だと思います。社会全体で、働く手助けをするべきであろう。自分は、これまでの学習が活かせないので、就く気はない。	高齢社会の中で、重要な職業であると思うが、重労働・薄給・非生産的というイメージがあり、自分がやりたい職業ではない。
ハードなわりに給料が安い。	特になし。
とても大変そう。	とにかく大変そう。
仕事はやりがいがあると思うが、給料は安く、しんどい。	給料が少ない。
給料が安く、時間が不規則。	介護は自分に利益がないと思う。
大変な割には、給料が少なそう。	仕事が大変なわりに、待遇が悪いイメージがある。
業界にもっと国の援助が必要だと思う。	大変な仕事だというイメージ。
介護はとてもキツそうである。ボケてしまったりする人を世話できる自信は自分にはない。	社会で必要とされる仕事だと思いますが、労働環境等、恵まれていないと思います。
仕事がきつそうなので、続けられそうにない。	仕事がとにかく大変。自分の時間がほとんどもてない。
特になし。	特になし。
介護の仕事をしている人は、すごいと思う。尊敬できる。優しい気持ちと体力がないとできないと思う。	仕事や資格のわりに、給料が安く、ボランティア精神の人のみに支えられた仕事のような感じで、魅力にかける。
特になし。	特になし。
とても大変そうだと感じます。やさしくしてあげたいという気持ちと、そもそもしきれない自分で、疲れてしまいそうです。	きつい割りにお給料が安いということをよく聞く。介護する側の人をもう少し楽にしてあげる制度などを整えて欲しい。
人手が少なく、大変そう。	今は勉強のこと、介護のことをあまり考えたことがない。
特になし。	特になし。
社会的には必要な仕事であるとはわかるが、待遇がそれに見合っていないと思う。	低賃金・重労働なので、政策により、社会の動向が変われば、介護の仕事も良い方向に行くのでは…。
3K。	社会の底辺に位置する仕事。
きつそう。エライと思う。	人の世話をするのは、とてもスゴイと思う。
高校に介護福祉コースがあって、国家試験が大変そうだった。	お年寄りにとっては必要なことだが、自分には体力的に無理だと思います。
体がつらそう。	精神的に強くないとできないと思います。
大切なことはわかっているが、いざ、自分がとなると考えてしまう。	立派な仕事であると思いますが、自分には向いていないと思います。
資格とか難しい。	特になし。

相手の立場や気持ちを察したり難しそう。忙しく、体力も必要なのに、給料が上がらないらしいので、所帯を持ったり、体がぎくくなってきたら大変なのではないか。	介護が必要な人の数に対して、介護の仕事をしている人が足りない。これからさらに介護が必要な人は増加するため人手不足は悪化する。
きつい仕事なので、高い給料をもらえるようにして欲しい。	厳しい世界(いろいろな意味で)。
労働環境と、やりがい、社会への貢献と収入(給料)がアンマッチ。	自分には向いていないそう。
高齢化社会の進行の中で、重要性は増すと思う。	あまり勤めようとは思わない。自分の希望職とは全く違う。
特になし。	特になし。
仕事がぎつすぎる割に、給料が安すぎる。	体力的にきつくて、暗いイメージがある。
労働条件が悪いが、やりがいはあると思う。	相手と密に接することになるので大変そう。
お年寄りの命がかかっているので、責任が重そう。	苦労の割りに、報われないような気がします。
高齢化が進んでいるので、今よりもっと必要になると思う。	今は身近に感じられない。
必要な仕事だが、きつい仕事。	もっと皆が仕事のひとつとして選択できるような環境の整備とかが必要だと思う。
自分には、あまり向いていないと思う。障害を持った人とのコミュニケーションが難しそう。	祖父が入所している老健に行くことがあるが、どのスタッフも、僕には絶対にできないようなことを含め、一生懸命、祖父の世話をしてくれている。ただ、入所している人のたちの数に対して、スタッフの数が足りないような気もする。命を預かる仕事なので、もう少し十分な人手が確保されなければ良いと思う。
ニュースなどで見る限りのイメージですが、お年寄りに対して心遣いがあまりできていない現状があると思う。それは、介護のあり方にも少し問題があるからだと思ったので、あまり良いイメージがなかった。	とてもハードな仕事だと思う。
社会保障の中で、もっと仕組みを整備して、幅広い対応が必要だと思います。	特になし。
自分には向いていないと思う。	労働に対して、給料が低い。政府が頼りない。
厳しい仕事だと思う。	体力的・精神的にきつそうである。
わからない。	介護の仕事は肉体的にも精神的にも大変だと思います。
マイナーな職業(一般的にやりたくない仕事)のイメージがあります。	介護は必要だと思うけど、仕事としてはしたくない。
待遇が悪すぎるでの、進みたくない。	収入が低い割には、仕事がきつく、資格についてもそれほど効力があるとは思えない。普通のおばちゃんがパートでやっているレベル。
寝る間もなく、呼び出しに応えて動き回る。休みが取れなさそう。休日があっても、ゆっくり休めない。	仕事がつらいが、給料が安いイメージが強い。
大変だと思う。	体力的にきつい仕事。自分の将来が不安。
介護をする人が少ないわりに、仕事量が多いと思う。	大変そうに思う。仕事のわりには、給料も安いときいている。
重労働の割りに、給料が安い。	絶対必要な仕事だだと思いますが、強い意志がないと、やり遂げられなさそう。
必要な仕事だと思うが、大変で、給与が安いというイメージがある。	きつい。夜勤が多い。給料が少ない。
給料が安くつきつい。	先日、介護の仕事についている人の実情を語る番組を見て、重労働の割りに低賃金であることなどを知り、ますます介護の仕事に就く意欲をなくしました。
これからますますお年寄りが増えてくるのだから、介護の仕事についている人が満足できるように環境や給料体系を整備しないといけないと思う。	介護は必要な仕事だと思うが、自分の将来や仕事のことを考えれば、やっていきなさそうなイメージが強い。
これからからの社会にとって、必要性がますます高くなると考えているが、外国人が入ってくる分野。	大変な仕事だと思う。
割りに合わなさそう。	介護は責任感が必要。
きつい安い。	社会には必要だが、仕事の割には、給料が安い。
体力的にすごく大変そう。生活が不規則になる(遅出・早出・夜勤etc)。	仕事の内容をあまり理解していませんが、老人相手の仕事だと思いますので、精神的にかなりきつい仕事だと思います。
やりがいのある仕事だと思うが、体力的にきついことが多い。また、給料が安く感じる。	重労働だ。
特になし。	給料が安い上に、仕事量が多く、きびしい。
世の中のために必要な仕事だと思う。	社会的に人手不足で必要とされていると思う。しかし、人の世話をする仕事なので、かなり精神的にも肉体的にも辛いと思うので、よほど世話好きで忍耐がなければ続けれれないと思う。
体力的にも精神的にもきつく、自分にはできない。若い人でも年輩の人でも介護の仕事をしている人やしようとしている人、資格をとろうとする人はえらいと思う。	大変でしんどい。
特になし。	高齢化が進む中で、世の中に必要な職種であると思うが、その必要度ほど、周囲の環境が整っていない。
絶対に必要とされている仕事でありながら、人手が足りず、また、お金になりにくい(民間企業が続けにくい)業種だと思う。	きつそう。
大変な仕事だと思う。忍耐力がないといけない。	特になし。
将来は嫌でも、仕事でなく介護はいると思います。	重労働の割には、給料が安い！！人の絆はできる。
特になし。	大変だけど、収入が少ない。
大切な仕事だと思うので、もっと環境をよくしてもらいたい。	興味がないので、わからない。
老人が多くなってきて大変な仕事だと思う。	体力的に厳しく、忍耐がいる仕事だと思います。自分が我まだから、向いていないと思います。
体力仕事なので、若いうちしか働きず、給料が安いという話を人から聞いていて大変な仕事だなと思います。	特になし。
体力的に厳しく、安月給で苦しそう。	厳しい仕事だと思う。
障害者の気持ちがわからないので、不安に感じる。	激務薄給のイメージが強い。
体力的にキツそう。	一生懸命介護の仕事をしても報われない仕事だと思う。介護された人からの感謝の言葉が少なかつたり、給料が安く、全く魅力を感じない。しかし、介護を必要としている人は増える一方だし…。誰かがやらなくてはならない仕事なので、これから就職難の若者が仕事につくしかないのではと思う。
これからもっと必要な仕事になってくると思う。しかし、働く人の労働環境・条件が悪いイメージが強くあり、介護の仕事に就きたいという人を増やすためには、環境や条件をもっと整えていかないといけないと思う。	大変なわりに、報われない仕事というイメージ。
きつくて大変そう。	夜勤をしないと月15万ももらえないと聞いた。不景気で仕事はなく、しかたなく介護の仕事に就く人が増えたと思う。
仕事力に対して、見合った給料が支払われてない。慢性的な人手不足。	まだまだいいイメージとは言えない。
つらい仕事だと思う。	かなり重労働だと思う。
かなりキツイと思う。休みがとれない。	特になし。
正当に評価を受けていない(世の中的に)。	テレビの報道やインターネットの情報を見る限り、良いイメージはなく、直近の親類以外の人間を介護したいと思えない。
最近、介護業界では人手が足りないみたいなので、国による支援が必要だと思う。	人の役に立つという意味では、とても魅力的だと思う。ただ、同年代との交流や仕事の将来性・発展性が全く期待できず、世界が狭ううので、仕事としての魅力は感じられない。
大変な割りに給料が安い仕事だと感じる。日本は高齢社会で今後さらに介護の仕事は需要が増えると考えられるため、介護の仕事の価値を見直すべきだと思う。	とても大変な仕事だと思う。
精神的な苦痛を味わいそう。大変。	精神的・体力的にきついが、資格をもっていても給料は低く、自分が病気になつたら、続けれれない仕事だと思う。
きつく、つらい、自由な時間がつくれない、給料が圧倒的に少ないなど、悪いイメージしか感じない。	興味がないので分からぬ。
つらくて大変。	高齢化社会で役に立つ仕事とは思うが、24時間体制で介護をしないといけない場合は、体力・精神的にもきつく、自分自身がダメになりそう。
やりがいがありそうで感謝もされそうだが、財政的には厳しく、職業として選ぼうとは思わない。	老い先短い老人を相手にするその性質上、「介護立国」はあり得ない。介護は労働集約産業であり、出稼ぎ外国人へアウトソーシングしていくべき。国内の労働者(国民)は、知識労働者へと振り分け、介護職人材はコア人材のみを育成していけばいい。
政府は介護事業を国の産業として成長させたいようだが、老人世代から介護職員への正当な対価の移転なくして実現させるのは無理がある。老人はケチで、体を健康に保とうという努力を怠る人が多いような気がする。介護されなくていいような健康維持をしようという老人がいさなすぎる。	

体力的にも精神的にもきつい。	特になし。
少子高齢化が進む中で、重要とされてきているが、先行き不安な業界である。	キツイのに報われない(理解のない利用者・家族に文句をつけられる)。体力をつかう。かなりの力仕事。薄給。
人手が必要とされていて、高齢者の数も増えているが、ハードで給料が割りにあってないような気がするので、できるなら就きたくない職業である。	とても大変で、安い給料だと思う。現在は、就職難や不景気のため、介護の資格学校などに通う人が増えているため、人不足は将来解決されると思う。
需要に対して、働き手が不足しているように感じる。	人に尽くす仕事。これから日本に必要な仕事、日常生活の補助。
きつそうだし、やりたくない。	辛い仕事だと思う。給料の割には、報われないと思う。
仕事が精神的・体力的にもとても重労働であるが、それに見合った報酬を得ることができない。	内容はかなりきついものだが、そのわりに給料が低いイメージがある。私にはとうていできない大変な仕事だと思う。
体力的にきつそう。かなり求められている職業だが、従事する人が少ないので、休みが本当にさう。友人に働いている子がいるが、とても充実しているらしい。好きな人なら、できそただけど、自分には無理かも。	介護の仕事をしている友人から、よく愚痴を聞きます。お給料や職場での待遇、特に上司の方がどうひいきめに聞いても、良い方のように思えず、「仕事にやりがいはあるのに、これじゃ、やってられない」といつも言っています。それでも、続いている友人は本当にすごいと思いますが、私には絶対にできないと聞かたびに思います。
自分も精神的にきつそう。	労働の割りに、給料が安すぎると思う。
簡単になろうと思える仕事じゃない。なんとなくマイナスのイメージを持ってしまったがち。	必要なことだと私は思いますが、自分はやりたいことがあるため、自分でやろうとは思わない。
大変そう。	きつくて給料が安いイメージ。
介護の仕事は大変そうに思う。	大変だと思うから、自分では無理です。
努力が報われない仕事。	大変そう。
必要な仕事ではあるが、やりたいことは異なる。なので、就職したいとは思わない。また、いずれ向き合わなければならない問題だと感じている。	祖母がお世話になっているので、非常にありがたいと思っています。もう少し負担がなくなれば、仕事に就く人も増えるかもしれません。
今後、絶対に必要だし、成長する分野だと思うけど、「自分がやる」となったら、絶対にやりたくない仕事。嫌なところ、悪いところは分かっても、介護の魅力が分からぬ。	給料の面が改善されても、介護の現場あまり働きたいとは思わない(肉体的にも精神的にもきつい仕事だと思うから)。
つらい。賃金安い。魅力はある。汚い。	力仕事であり、精神面も強くなくてはならないこと。
人の世話をするのは難しいし、大変な仕事だと思います。精神的・身体的にも。	行っている事は、すごいと思うのですが、体力的・精神的にきつい仕事だと思います。
一生懸命働いている人は、立派だと思うし、今の社会に必要だと思うけれど、自分自身あまりかかわらないと感じる。	少子高齢化社会といわれる現代において、介護の仕事は必要不可欠である。
仕事の割りに報われないと思います。	3K。苦労しそう。
人の為になる仕事だと思う。	しんどい。
やりがいがあり、社会に貢献できる仕事だと思う一方、体力的にかなりきつい仕事だと思う。また、若いうちはよいが、40代、50代となったあと、どういった仕事をしていられるのかが心配。	社会的には必要な仕事だけど、「他に何も仕事がない」という状況くらいになるとやりたいとは思わない。
仕事の厳しさに比べて、給料が安いと思う。もっと国が補助をするべきだ。	大変な仕事の割りに、給料は安く、報われない仕事というイメージがある。
フリーターのデメリットは十分に知っているが、それでもフリーターが介護の仕事を選べと言わなければ、迷わず、フリーターを選ぶくらい介護職が嫌だ。	想像以上にきつくてしんどい仕事。体力も精神的にも大変そうな感じがする。本当に介護をする気がないとやっていけなさそう。
きつそう。感染病とかにかかりそう。	現実的な仕事で大変そう。
お年寄りが増えているこの世の中で介護をする人はどんどん増えていくことになる。しかし、介護は予想以上に大変だと思うし、家族であろうと、介護のせいで心が折れてしまう人も少なくないような気がするので、介護の世界のプロの人々がどんどん増えていけばいいと思う。	介護の仕事は、これから時代は大変重要な職業として扱われるであろう一方で、まだこれから問題も抱え込んでいると思うので、政府をあげて人手不足問題など取り組んでいってもらいたいと思う。
必要ではあるが、環境が整っておらず、整う見通しも非常に少ない。	好きな人にとっては、良い仕事だが、介護が必要な人が身近にいるため、つらさも知っているので、あまり関心がない。
専門的仕事ではあるが、報酬が安すぎる。	きつい、しんどい、給料安い。
特になし。	仕事が大変な割に、評価されない。
職場の中でもかなり重要なものであり、これからも必要とされていく仕事だとは思うが、先のない仕事というイメージも強い。仕事の過酷さと給料が見合っていないという現状は、早く変えるべきだと考えている。	とても大切な仕事。だけど、体力的にも精神的にもとても大変だと思うし、お年寄りの方にも必ずしも感謝されるわけじゃない。なのに給料が安すぎる。仕事としてやっている人は尊敬します。私には無理です。
私は無理。	とにかくきつくて、大変そう。
きつくてものすごく大変なのに、見返りの少ない辛い仕事だと思っている。	厳しく、しんどい仕事だと思う。
とても大切で必要な仕事だとは思うが、今の体制では、自分が働く環境・職場ではないと思う。	自分にはもうやりたい仕事があるので、介護の仕事には興味はないが、介護は今の社会にとても必要な仕事だと思う。
体力・精神面でとても大変な仕事だと思います。	昔の「3K」のような業界、というイメージが強い。
仕事のきつさに対して、給料が安すぎると思う。介護するのに、体を支えたり等するために、腰を痛めたりして、通院する人もいると聞いたので、介護の仕事に就こうと思う人は半端な気持ちではないと思った。	人手不足の上に給料が安くて大変そう。リストラなどはなくて、就職難の心配はないのはひかれけど、キツすぎてすぐやめるらしいし、大体、自分は絶対、介護とかすぐにギップアップするだろうから無理だ。でも、人手不足だから友達には勧める。
仕事が大変なのに、給料が安い。精神的・体力的にもキツく、辞める人が後を絶たない。	高齢化の日本で必要な職種である。私には当分、縁のない存在だろう。
給料が悪いし、狭い業界での仕事で、やりがいはあるが、キツそう。	人手が足りていない。仕事量の割には、給料が安い。仕事がきつい。
大変そうだ。	かなり厳しいといったイメージが強い。
国がもっと介護分野にお金をかけてもいいと思う。	キツい、汚い、しんどいなどの悪条件の割には、給料が安いと思う。
絶対に大変な仕事であることがわかっているのに、他人のために率先して、それをやろうとする人がいるのが、すごいと思う。	介護の仕事は社会に必要だと思うけれど、自分が介護の仕事に就くことは、大変なことだと思います。
母が介護の仕事をしているため、話を聞いてみると、大変なわりに給料も安く、とてもじゃないけど、自分には勤まらないし、できない仕事だと思った。そして、結婚していないければ、暮らしていくけない。	体力的のことよりも、精神的にきつそうだと思う。あまり良いイメージは持っていないし、介護の仕事よりも、もっと楽しくて、給料も良い仕事があるように感じる。
特になし。	大変そう。しんどそう。
介護の業界の先行きが明るくなるような制度が必要と感じている。	体力を使い、とても大変な感じ。
精神的にきつそうなイメージがある。	まだ業界として、しっかりとした仕組みや制度が整っていないと思う。
人手不足の話をよく聞くため、厳しいイメージがある。ただ、今後、確実に伸びる業界だとも思う。	汚い、きつい、厳しいの3K。家に老人が2人もいるので、もう十分。仕事まで老人相手は絶対にイヤ。
現状のままでは、外国人労働者に頼る時代がくると思う。	とても大変だが、必要な仕事だと思う。一番高給とりでもいいと思う。
介護職に就く人が少なく、一人当たりの労働が多くて大変そうである。	辛い割りに給与が低く、人に感謝されることが少ない。
仕事が大変。給料が安い。求人数が多い。	世の中に必要だが、給料が安く、きつい。
給料が低いのに、仕事がきつい。	特になし。
体力的にきつそうな割に、給料が少ないと思う。	労働と賃金のバランスが悪い。
きつくて給料安い。割りに合わない。	きつい。給料が割りに合わない。
少子高齢化のこともあり、今後しばらく需要は、増え続けていくのだろうと考えている。	他人の汚物の整理や、お風呂の手伝いなど、私には絶対にできない仕事だと思う。
大変なのに給料が安い。	特に意識したことはない。
介護の仕事は重労働で、給料が少ないんじゃないかなと思いました。	安いしきつそう。

正直、面倒で大変な仕事で、できれば就きたくない仕事だと思う。自分には、向かない仕事。	すごく立派な仕事だと思うけど、体をよくこわして辞めるという話も聞きます。お給料もかなり安いイメージで、きつい安いで長く続けられない仕事だと思います。
3Kと言われている感じがする。	体力的にも精神的にも大変な仕事だと思う。
自分には向いていないと思うけど、確実に必要な職業。まだまだ人不足だと思うので、今就いている人の為にも、もっと就業者が増えるべきだと思う。	ご老人の方とどのような話をすればいいのか、あまりイメージがわかないの、仕事をする気にはならないけど、これからの時代にとても必要性の高い仕事だと思う。
安心して働ける環境にないと思う。	特になし。
大変、汚い、安い給料というイメージがあり、やってみたい仕事ではない。	介護の仕事は大変で、割りに合わないものだと思う。
精神的に大変そう。	必要な仕事だとは思うけど、したいとは思わない。
国がきちんと支援しないと成り立たない。	お年寄り相手の仕事はつまらなさそうだ。
給料がとても安いイメージがあります。	私には向いていない。
肉体的に大変そうだし、お給料も安そうで、続けていけないと思います。	人によっては、すごくやりがいがあるが、向き不向きが非常にあると思う。
自分には全く関係のない仕事。	尊敬はしているが、自分には向いていない。
特になし。	もうしたくない。
大変な重労働。	しんどい。給料が仕事内容に合っていない。人の役に立てる。
大変そう。赤の他人の世話はキツいと思う。	大変。
介護の仕事には就きたくない。	大変な仕事だと思う。自分にはできないと思う。
きつそう。人の世話が好きな人向き。	大変な仕事だと思う。体力がいる。
必要な仕事だが、報われないと思う。	面倒だ。ストレスがたまりそうだ。
大変な仕事である。	きついだけ。
とにかくきついイメージ。	責任が重い。
大変なわりに、給料が安い。体が大変で若いうちしかできない。	体力的、精神的に厳しく、その割りに給料は安い。
責任も重く、仕事も大変で、とて大事な仕事なのに、世間に冷遇されていると思う。	お年寄り相手で体力も使うし、夜勤もあるのでとても大変なのに、お給料が少なくて、嫌な仕事だと思う。
きつい、安賃金、大変な割りに評価されない。	必要だと思うが、自分にはできない。
将来、自分の親兄弟、自分自身必要になる可能性は高いが、自分が介護する側に積極的になろうと思えない。また、有料介護施設等の入居費が高いと聞いたが、それに対して、介護士の給与があまりに安すぎると思う。	将来(今も)必ず必要とされる職種であるにも関わらず、安い給料のため、人がいつかないので、かなり問題だと思う。国がバックアップして、求人が殺到するような体制にしないと、高齢化社会は成り立っていかなくなる。
割りに合わない。肉体労働。	重労働の割りに、お給料が安い。
暗くてキツイ。	「人の死」と直面することが多い。
体力的にきつい仕事だと感じる。	大変そう。
特になし。	大変な仕事だと思う。
社会的に必要とされているのは理解できるが、現状では、介護職に就きたいとは全く思わない。よほど、職がない人が、高潔な人でもない限り、あえて介護職を選ぶ人は少ないのではないかと思う。	仕事内容が精神的・肉体的にハードな割りに、あまり報われない。これから、ますます重要になっていくであろう職種であるのに、社会的地位が低い。
介護の仕事は興味がないので、全くわからない。	汚くて大変な仕事。
もう少し給料や社会的な立場を向上させる必要があると思う。	関心がない。
安月給のわりに、とても大変で厳しい。	汚い、忙しい、大変。
とても大変。心がついていかが不安。死と向き合う。	大変。給料安い。みんな辞めてしまう。
おむつ交換などが、自分にはできないと思う。毎日の仕事となると、やはり無理。	お年寄りを世話することは、赤ちゃんを世話するよりも難しいイメージ。自分よりも人生経験豊富な人を世話したくない。
イメージで休みがあまりとれない上に、給料も少ないという考えがあります。その会社、仕事場で大分変わるとは思います。	大変だと思う。資格と体力がいると思う。自分は、体が弱いので無理だと思う。
給料が安い。	自分自身には、全く関係がないと感じている。
ワーキングプア。	よくわからない。
きつく、汚い仕事である割に、待遇が悪いと感じる。	仕事が大変そう。
大変な仕事な割には、給料も安く、経済的に不安定な職業であると思う。	自分にはとても勤められない仕事だと思う。
完全介護は無理。手伝うくらいなら良い。	体力が必要。
介護はするほうが、精神的にもきついだろうと思う。人のためにはなるが、負担が大きいような気もするし、高齢化社会になっていく上で、もっと人出不足になる気がする。今は安くて、その上、きつい仕事としか感じない。	実際の業務以外に、お年寄りとの会話が必要な仕事だと思いますが、私はあまりお年寄りと接した経験がないので、どのように話をしたらよいのか自信がないと言えるかもしれません。給料がいくらというより、その問題の方が、ネックになって介護の道を考えることができません。
大変そう。	厳しい仕事。給料が安い。
あまりきれいなイメージがない。	特になし。
給料が高いからとかではなく、本当に介護の仕事をしたい人がやらなければならぬと思う。人の命に関わることなので、大切な仕事だと思う。	仕事がきつい割には、給料が安いので、できれば就きたくない仕事です。
仕事の割には、休日や給料が安い。	特になし。
介護は資格も必要な仕事であり、大変だが、人とのつながりのある、やりがいのある仕事である。	仕事の内容の割りに、給料が安く、仕事に対する正当な評価が与えられていない。
しんどい仕事。	暗いイメージなので、目指す人が少ない。できればやりたくない。
肉体労働で給料が安くて、大変な仕事。	きついわりに、手当てや給料が少ないイメージ。
これらの時代、介護の必要性は大きいと思うが、できるだけ、身内で介護したらいいと思う。家庭内で(家で)介護している人たちへの指導とか援助する制度が充実したらいいと思う。	社会的な労働システムが確立されていないので、オーバーワークの部分がかなりあるのに、給与に反映されていないのではないか。社会的に仕事が認められていない。パートの賃金などを見ても、仕事の割りに安すぎると思う。
きつい割りに報われない。	つらい仕事であることと離職率が高い。
必要なことだと思う。	仕事が給与の割りにハードである。
3Kの仕事だと思う。	大変である。
重労働で、あまりきれいな仕事ではない。	特になし。
必要な仕事だとは思うけど、実際、自分自身ではいつも平常心ではいられないと思う。きつい、汚いのイメージが強い。	誰かがやらなければいけないと思う。でも、自分には向いていないと思う。
3Kだと思う。	

## 介護分野における人材不足に関する調査研究委員会委員名簿

### 1. 委員

委員名	所 属	備 考
篠原 正治	(福) 横浜長寿会 上郷苑	法人施設経営者
深瀬 亮一	(福) 母子育成会 高齢者福祉施設しおん	法人施設経営者
小倉 徹	(福) 松緑会 松みどりホーム	法人施設経営者
三澤 京子	(福) 吉祥会 寒川ホーム	法人施設経営者
竹田 一雄	(福) 若竹大寿会 わかたけ青葉	法人施設経営者
阿部 正昭	(学) 東海大学 東海大学健康科学部	介護福祉士養成校
小林 根	(学) 聖ヶ丘学園 聖ヶ丘教育福祉専門学校	介護福祉士養成校
豊田 宗裕	(学) 国際福祉学園 横浜国際福祉専門学校	介護福祉士養成校
下村 英雄	(独) 労働政策研究・研修機構 キャリアガイダンス部門	学識経験者

(敬称略)

### 2. 事務局

氏 名	所 属	備 考
伊部 智隆	福祉人材研修部長	
井上 直	福祉人材研修部課長 (福祉人材無料職業紹介担当)	
荒田 一夫	地域福祉部長	
飯島 信彦	地域福祉部課長 (社会福祉施設・団体担当)	
藤嶋 裕子	地域福祉部 社会福祉施設・団体担当 主査	
大関 晃一	地域福祉部 社会福祉施設・団体担当 主査	
志田 淳一	地域福祉部 社会福祉施設・団体担当 主事	



## **介護業界および介護職に対する若者の介護イメージ調査報告書**

---

平成 22 年 3 月

発行 社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会  
介護分野における人材不足に関する調査研究委員会

〒221-0844 横浜市神奈川区沢渡 4-2 県社会福祉社会館内  
TEL 045-311-1424 (代表) FAX 045-314-3472 (代表)  
E-mail sisetu@knsyk.jp